

NEC

P C 9 8 -

NX

PC98-**NX** シリーズ

Mate NX
Mate NX[®]

(Windows 98 インストールモデル)

活用ガイド ソフトウェア編

アプリケーションの
概要と削除/追加

再セットアップする

他のOSを利用する

トラブル解決Q&A

本機に添付されているマニュアルを、目的にあわせてご利用ください

ご購入いただいたモデルによっては、下記以外のマニュアルが添付されている場合があります。『はじめにお読みください』『7. マニュアルの使用方法』でご確認ください。

- ◆ 添付品の確認、本機の接続、Windows 98のセットアップ
→『はじめにお読みください』
- ◆ 本機を安全に使うための情報
→『安全にお使いいただくために』
- ◆ Windows 98の基礎知識、基本的な操作方法
→『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』
またはWindows 98のヘルプの中にあるオンライン形式の
『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』
- ◆ 本機の各部の名称・機能、システム設定(BIOS設定)
→『活用ガイド ハードウェア編』



このマニュアルです

- ◆ 本機にインストール/添付されているアプリケーションの削除/追加、再セットアップ
→『活用ガイド ソフトウェア編』
- ◆ トラブル解決方法
→『活用ガイド ソフトウェア編』



- ◆ 本機の機能を拡張する機器の取り付け方、内部構造の説明
→『ハードウェア拡張ガイド』
- ◆ ディスプレイの利用方法
→ 液晶ディスプレイ、CRTディスプレイがあり、マニュアルが添付されています。ご使用のモデルによって異なります。
- ◆ 選択アプリケーション(ワードプロセッサ/表計算ソフトウェア)の利用方法
→ 一太郎9・花子9バック、Office 2000 Personal、Word 98 & Excel 97、一太郎9 & 1-2-3 2000があり、マニュアルが添付されています。ご使用のモデルによって異なります。
- ◆ ビジネスで使いになるお客様向けのメンテナンスとサポート情報の紹介
→『メンテナンス&サポートのご案内』
- ◆ パソコンに関するNECの相談窓口や受講施設、故障時のサービス網の紹介
→『NEC PC あんしんサポートガイド』



電子マニュアルの利用について

次のWebサイト(PICROBO)では、NEC製のマニュアルを電子マニュアル化し、ダウンロードできるサービスを行っています。また、NEC PCマニュアルセンターではマニュアルの販売を行っています。

<http://download.pc98.nec.co.jp/m/NX/index.htm>

Microsoft関連製品の情報について

次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用に、Microsoft関連製品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。

<http://www.microsoft.com/japan/info/press>



はじめに

このマニュアルは、本機にあらかじめインストールされているアプリケーション、添付されているアプリケーションの削除/追加、再セットアップの方法、さまざまなトラブルの解決、対応方法を説明しています。

このマニュアルは、フォルダやファイル、ウィンドウなど、Windows 98 の基本操作に必要な用語とその意味を理解していること、また、それら进行操作するためのマウスの基本的な動作が一通りでき、Windows 98もしくは添付のアプリケーションのヘルプを使って操作方法を理解、解決できることを前提に本機固有の情報を中心に書かれています。

もし、あなたがコンピュータにはじめて触れるのであれば、上記の基本事項を関連説明書などで一通り経験してから、このマニュアルをご利用になることをおすすめします。

選択アプリケーション、本機の仕様については、お客様が選択できるようになっているため、各モデルの仕様にあわせてお読みください。

仕様についての詳細は『活用ガイド ハードウェア編』の「PART3 付録」をご覧ください。

1999年 5月 初版

1999年 7月 二版

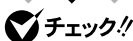
このマニュアルの表記について

◆このマニュアルで使用している記号

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



トラブル事例を示します。



チェック!

してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。また、全体に関する注意については、「注意事項」としてまとめて説明しています。



パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



利用の参考となる補足的な情報をまとめています。



マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

◆このマニュアルで使用している表記の意味

本機	次の機種を指します。 PC98-NX シリーズ Mate NXまたはMate NX R (Windows 98インストールモデル) 本機がどのモデルに該当するかは、型番を調べればわかります。型番の読み方については、『はじめにお読みください』をご覧ください。
本体	ディスプレイやキーボードなどの周辺機器を含まないPC 98-NX シリーズ Mate NXまたはMate NX R (Windows 98インストールモデル)を指します。
Mate NX	MA55J/M、MA50J/M、MA45J/M、MA55J/C、MA50J/C、MA45J/C、MA40H/C、MA55J/S、MA50J/S、MA45J/S、MA40H/S、MA40H/Lを指します。
Mate NX R	MA35L/Rを指します。
NetPCモデル	フロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブが搭載されていない状態でご購入いただいたモデルです。
アプリケーションなしモデル	選択アプリケーション(ワードプロセッサ/表計算ソフトウェア)がない状態でご購入いただいたモデルです。
一太郎モデル	一太郎9・花子9パックがインストールされた状態でご購入いただいたモデルです。

Office 2000モデル	Office 2000 Personalがインストールされた状態でご購入いただいたモデルです。
Wordモデル	Word98、Excel97、Outlook98がインストールされた状態でご購入いただいたモデルです。
一太郎9 & 1-2-3 2000モデル	一太郎9とロータス1-2-3 2000がインストールされた状態でご購入いただいたモデルです。
「スタート」ボタン→ 「設定」→「コントロール パネル」	「スタート」ボタンをクリックし、現れたポップアップメニューから「設定」を選択し、横に現れるサブメニューから「コントロールパネル」を選択する操作を指します。
【 】	【 】で囲んである文字はキーボードのキーを指します
『 』	『 』で囲んである文字はマニュアルの名称を指します

◆このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows、 Windows 98 Windows 95	Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows NT、 Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0 および Microsoft® Windows NT® Server Network Operating System Version 4.0
Windows NT Workstation 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0
Windows NT Server 4.0	Microsoft® Windows NT® Server Network Operating System Version 4.0
一太郎9	・一太郎モデルの場合 一太郎9・花子9パック(一太郎9、花子9、三四郎9、ATOK12、 Shuriken 2.0、Sasuke) ・一太郎9 & 1-2-3 2000モデルの場合 一太郎9
Office 2000 Personal	Microsoft® Office 2000 Personal(Microsoft Word 2000、 Microsoft Excel 2000、Microsoft Outlook® 2000、Microsoft/ Shogakukan Bookshelf® Basic)
Excel、Word、 Outlook Word & Excel	Microsoft® Excel 97 & Word 98 & Outlook™98 for Windows®、 Microsoft®/Shogakukan Bookshelf® Basicマルチメディア統合 辞典Version2.0(添付)

1-2-3 2000	ロータス1-2-3 2000
MS-IME 2000	Microsoft® IME 2000
MS-IME 98	Microsoft® IME 98
Internet Explorer 5	Microsoft® Internet Explorer 5
Internet Explorer 4.01	Microsoft® Internet Explorer 4.01
RSA SecurPC	RSA SecurPC™ for Windows® 95/98 version 1.1.3J
スーパーディスク	SuperDisk™

◆このマニュアルで使用しているイラストと画面

- ・このマニュアルに記載のイラストと画面は、実際のものとは多少異なることがあります。
-

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じて、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされている Windows 98および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご利用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、Active Movie、NetMeeting、Outlook、Bookshelf、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

「一太郎」「花子」「ATOK」「一太郎9・花子9パック」「Shuriken」「Sasuke」は、株式会社ジャストシステムの登録商標または商標です。

「一太郎9・花子9パック」「一太郎9」「一太郎8」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「一太郎9・花子9パック」「一太郎9」「一太郎8」にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ピーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

Lotusは、Lotus Development Corporationの登録商標です。

1-2-3は、Lotus Development Corporationの商標です。

VirusScanは、米国法人Network Associates, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。

pcANYWHERE32はSymantec Corporationの米国における登録商標です。

AnitoCrypt、Emergency Access、RC4ならびにGenuine RSA Encryption and Design、Interlocking Key Designのロゴマークは、米国Security Dynamics社の子会社である米国RSA Data Security社の商標または登録商標です。RSA SecurPCおよびSecurity Dynamicsは米国Security Dynamics社の商標または登録商標です。

Adobe、AcrobatおよびAcrobatロゴはAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。

Photo CD portions copyright Eastman Kodack Company 1995

Savage4は、S3社の商標です。

RageはATI Technologies, Inc.の商標です。

YAMAHAはヤマハ株式会社の登録商標です。

PS/2はIBM社が所有している商標です。

SuperDisk、SuperDiskロゴは、米国イメージーション社の商標です。

Intel、PentiumはIntel Corporationの商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation 1999

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

■輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等を行っておりません。

このマニュアルの構成・読み方

このマニュアルはPART1からPART4までの構成となっていますが、PART1から順に読んでいく必要はありません。

『はじめにお読みください』でセットアップが完了しましたら、必要に応じてこのマニュアルを活用してください。

また、このマニュアルは検索性を高めるため、目次の次に索引を記載しています。索引に載せてある用語は、目次、注意していただきたい内容（チェック!）、用語（用語）、メモ（メモ）を検索するのに都合の良い言葉を選んでいきます。

目次

索引

PART1 アプリケーションの概要と削除 / 追加

各アプリケーションソフトウェアの概要と削除および追加の方法について説明しています。

PART2 再セットアップする

本機に添付されている「システムインストールディスク」や「バックアップCD-ROM」を使って、本機のシステムやアプリケーションを出荷時の状態に復元する方法を説明しています。

PART3 他のOSを利用する

Windows98のMS-DOSモードを利用する際の注意事項や、本機でWindows NTを利用する場合のセットアップ手順およびアップデート手順について説明しています。

PART4 トラブル解決 Q&A

パソコンを使っていて、何かトラブルが起きたとき、何か疑問があるときはここを読んでください。

はじめに	i
このマニュアルの表記について	ii
ご注意	v
このマニュアルの構成・読み方	vii
目次(このページです)	viii
索引	xiv

アプリケーションの概要と 削除/追加 1

この章の構成	2
ヘルプについて	2
概要について	2
削除について	2
追加について	4
知っておきたい便利な機能とアプリケーション	6
一太郎9・花子9パック(一太郎モデルのみ)	8
概要	8
削除	8
追加	8
Office 2000 Personal(Office 2000モデルのみ)	9
概要	9
削除	9
追加	10
Word 98/Excel 97/Outlook 98(Wordモデルのみ)	13
概要	13
削除	13
追加	13
一太郎9(一太郎9 & 1-2-3 2000モデルのみ)	14
概要	14
削除	14
追加	14
ロータス1-2-3 2000(一太郎9 & 1-2-3 2000モデルのみ)	16
概要	16
削除	16
追加	17

Internet Explorer 5	18
概要	18
削除	19
追加	20
RSA SecurPC	21
概要	21
削除	22
追加	22
VirusScan	24
概要	24
使用上の注意	25
削除	26
追加	27
DMITool	29
概要	29
削除	30
追加	32
pcANYWHERE32 EX	33
概要	33
削除	34
追加	35
Masty Data Backup	36
概要	36
削除	37
追加	38
CyberAccess	39
概要	39
削除	41
追加	42
Timer-NX	44
概要	44
タイマ機能の設定を行う	45
リング機能の設定を行う	49

オフタイム機能	52
削除	53
追加	54
NEC Soft MPEG1.0	55
概要	55
削除	55
追加	56
プレーヤ-NX	58
概要	58
削除	59
追加	60
文豪DP/LANシリーズコンバータ	61
概要	61
削除	62
追加	63
Acrobat Reader 3.0J	64
概要	64
削除	64
追加	65
英語モードフォントを使用する	66
日本語モードフォント、英語モードフォントについて	66
英語モードフォントへの切り替え(追加)	67
日本語モードフォントへの切り替え(削除)	68
液晶ディスプレイ調整ツール	69
概要	69
削除	70
追加	71
Easy CD Creator Lite	73
概要	73
削除	73
追加	74
DirectCD	76
概要	76

削除 76

追加 77

再セットアップする 79

再セットアップについて 80

再セットアップが必要になるとき 80

再セットアップする前の注意 82

標準再セットアップとカスタム再セットアップ 83

工場出荷時と同じ状態にする

ー標準再セットアップ 85

標準再セットアップの手順 85

全領域を1パーティションにして再セットアップする

(カスタム再セットアップ) 92

「全領域を1パーティションにして再セットアップ」の手順 92

Cドライブのみ再セットアップする(カスタム再セットアップ) ... 96

「Cドライブのみ再セットアップ」の手順 96

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする

(カスタム再セットアップ) 100

ユーザ設定の手順 100

フォーマットできなかったハードディスクをフォーマットする 118

NetPCモデルを再セットアップする 119

再セットアップする前の注意 119

再セットアップの手順 120

FAT32ファイルシステムの利用 130

FAT32ファイルシステムについて 130

FAT32を使用する場合の注意 130

FAT32の設定方法 131

他のOSを利用する 133

Windows 98でMS-DOSモードを利用する	134
MS-DOSモードを利用する	134
CD-ROMドライバ(本機内蔵CD-ROMドライブ)	136
サウンド機能	139
Windows NT 4.0を利用する	140
Windows NT 4.0をセットアップする前に	140
Windows NT 4.0のセットアップとアップデート	151
本機でWindows NT 4.0を利用するときの注意	172
スーパーディスク3モード対応ドライバと 専用フォーマットユーティリティについて	174

トラブル解決 Q&A 177

トラブルが起きたとき	178
トラブルを解決するには(ヒント)	179
お問い合わせの前に(トラブルチェックシート)	182
はじめて電源を入れたら…	184
電源を入れたが…	186
電源を切ろうとしたが…	195
スタンバイ機能を使おうとしたら…	197
パソコンがこわれそう…	199
画面がおかしい…	201
画面の設定を変えようとしたら…	202
ファイル、フォルダがおかしい…	206
音がおかしい…	208
マウスを動かしても…	209
文字を入力しようとしたら…	211
ファイルを保存しようとしたら…	214
LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続しようとしたら… ..	216
FAXモデムを使おうとしたら…	218
印刷しようとしたら…	219
フロッピーディスクを使っていたら…	221

ハードディスクを使っていたら… ..	225
CD-ROMを使っていたら… ..	229
周辺機器を取り付けようとしたら… ..	235
アプリケーションを使っていたら… ..	239
タイマ機能を使おうとしたら… ..	246
日付の設定を変えようとしたら… ..	247
コンピュータウイルス対策について	248
その他	251
トラブルを予防するには… ..	254
アフターケアについて	256

索引

ページ太字:説明や作業のあるページを指します。

ページ細字:図や文章に出てくるページを指します。

英数字

「_」(アンダースコア、アンダーバー)	213	DP	61
「~」(チルダ)	212	Easy CD Creator Lite	73
1-2-3 2000	14	Excel 2000	9
1Gバイト	228	Excel 97	13
1Mバイト	228	FAT	130
2000年問題	251	FAT16	101
2線式	218	FAT32ファイルシステム	130
3モード	174	FAXモデム	218
Acrobat Reader 3.0J	64	FDISK	102
Administrator	144	File Allocation Table	130
ATOK12	242	High Color	205
BIOSセットアップメニュー	194	Internet Explorer3.02	245
BIOSブラウザ	31	Invalid system disk Replace the disk...	184, 192
CD-ROM	3, 229	LAN	216
CD-ROMドライバ	136	LANシリーズ	61
CD-RW	73, 76, 215	Masty Data Backup	36
CRT	187	MIFブラウザ	29
CyberAccess	39	MPEGファイル	55
DDC	201, 203	MS-DOS	135, 206
DirectCD	76	MS-DOSプロンプト画面	201
DMITool	29	MS-DOSモード	134
DMTF	29	MS-IME 2000	9
		MS-IME 98	13
		Office 2000 Personal	9

Operating System not found	192
Outlook 2000	9
Outlook 98	13
PC-NF-U001	119
PC-NF-U002	119
pcANYWHERE32 EX	33
PCIボード	236
PK-CA101	236
PK-CA102	236
PS/2互換マウスポート	209
README	180
RGBケーブル	186
RS-232C変換アダプタ	236
RSA SecurPC	21
S.M.A.R.T	36
Safe mode	190
Sasuke	8
Soft MPEG1.0	55
Timer-NX	44, 246
True Color	205
VirusScan	24
Windows 3.1	206
Windows NT Server 4.0	140
Windows NT Workstation 4.0	140
Word 2000	9
Word 98	13
WWW Extension	29

ア行

アイコンの表示	205
圧縮	224
アプリケーション	239
暗号化	21
異臭	199
異常	199, 200, 208
一太郎9	14
一太郎9・花子9パック	8
印刷	219
ウイルス	248
英語モードフォント	66
液晶ディスプレイ調整ツール	69
エラーメッセージ	193
大文字	212
音飛び	231
オフタイマ機能	52

カ行

海外	252
会社名	185
回線	218
拡張MS-DOS領域	102
拡張子	207
画面	201
漢字	212
キーボード	211
キーボードエラー	187
記号	213

起動ディスク	121, 148, 255
基本MS-DOS領域	102
休眠ファイル	31
強制的に電源を切る方法	196
共有	217
煙	199
高解像度	203
ごみ箱	206, 226
小文字	212
コンピュータウイルス	248

サ行

再セットアップ	80
再入手方法	257
削除の準備	3
雑音	253
三四郎9	8
時刻	247
システムスイッチ	172
システムスタンバイ	198
システムビューア	29
システムファイルチェッカー	207
修復	257
周辺機器	235
重要な情報	180
消磁	187
状態監視	29
省電力	202
譲渡	257
シリアル機器	236

スーパーディスク	170
スーパバイザパスワード	194
スタンバイ機能	197
スピーカ	208
西暦2000年問題	251

タ行

ディスククリーンアップ	225, 254
デガウス	187
電源	184, 186
電池	247
添付品	257
問い合わせ	181
動画がとぎれる	232
ドライバのアップデート	160
トラブルチェックシート	181, 182

ナ行

長いファイル名	206, 215
名前	185
日本語入力	212
入力できない文字	213
ネットワーク	216

ハ行

ハードディスク	225
ハウリング	208
廃棄	253
パスワード	194
バックアップ	36, 140

バックアップの方法	222
パワーボタン	172
ハングアップ	179
被害届	250
日付	247
表示位置	201
標準再セットアップ	85
ひらがな	212
ヒント	179
ファイル	206
ファイルを保存	214
フォーマット	170, 222
フォルダ	206
復号化	21
フリーズ	179
プリンタ	219
プリンタインターフェース	
変換アダプタ	236
プリンタドライバ	220
フルカラー	239
フルスクリーン	201
プレーヤ-NX	58
プロダクトの選択	5
フロッピーディスク	221
文豪DP/LANシリーズコンバータ	61
ヘルプ	2, 180
補修用性能部品	256
保守サービス	256
補足説明	181

マ行

マウス	209
マニュアルセンター	252
メモリ	235
メンテナンス	254
文字	211
文字コード表	213
モニタ	202

ヤ行

ユーザパスワード	194
予防	248

ラ行

ライトプロテクト	214
リモート電源制御	29
リモートパワーオン機能	29
リング機能	49
ロータス1-2-3 2000	16
論理MS-DOSドライバ	102

ワ行

割り込みレベル	235
---------	-----

1

アプリケーションの概要と 削除/追加

本機に標準でインストールまたは添付されているアプリケーションの概要と削除方法および追加方法について説明します。削除や追加をする場合、Windows 98およびインストールされているアプリケーションについての知識が必要になります。

この章の読み方

次ページの「この章の構成」と「知っておきたい便利な機能とアプリケーション」(P.6)を読んだ後に、各アプリケーションの概要と削除/追加をお読みください。

この章の内容

この章の構成	2	VirusScan	24
知っておきたい便利な機能とアプリケーション ...	6	DMITool	29
一太郎9・花子9バック		pcANYWHERE32 EX	33
(一太郎モデルのみ)	8	Masty Data Backup	36
Office 2000 Personal		CyberAccess	39
(Office 2000モデルのみ)	9	Timer-NX	44
Word 98/Excel 97/Outlook 98		NEC Soft MPEG1.0	55
(Word モデルのみ)	13	プレーヤ-NX	58
一太郎9		文豪DP/LANシリーズコンバータ	61
(一太郎9 & 1-2-3 2000モデルのみ)	14	Acrobat Reader 3.0J	64
ロータス1-2-3 2000		英語モードフォントを使用する	66
(一太郎9 & 1-2-3 2000モデルのみ)	16	液晶ディスプレイ調整ツール	69
Internet Explorer 5	18	Easy CD Creator Lite	73
RSA SecurPC	21	DirectCD	76



この章の構成

この章では各アプリケーションの概要と削除、追加について説明します。

ヘルプについて

各アプリケーションにはヘルプ機能があります。
用語、操作の方法や手順など、わからないことが起きたときに活用します。

ヘルプの起動方法

1 各アプリケーションの「ヘルプ」メニューをクリック 「ヘルプ」の画面が表示されます。

概要について

アプリケーションの概要、起動方法などについて説明します。

削除について

本機にあらかじめインストールされているアプリケーションまたは購入後にインストールされた本機添付のアプリケーションの削除の手順を説明します。

ご自分でインストールされた別売のアプリケーションの削除については、そのアプリケーションに添付されたマニュアルをご覧ください。
次のような場合にアプリケーションを削除してください。

- ・ ハードディスクの空き容量を増やしたい場合
- ・ 通常使わないアプリケーションがある場合

一部のアプリケーションでは、次の「削除の準備」を行ってから削除します。



チェック!!

- ・「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」で、アプリケーションを選択して「追加と削除」ボタンをクリックした後は、途中で中断してもそのままではアプリケーションを使用できない場合があります。その際にはWindowsを再起動後、アプリケーションを使用してください。
- ・削除する場合は、ご利用にならないことをよくご確認の上、削除してください。
- ・NetPCモデルでCD-ROMを使用して削除する場合は、あらかじめネットワーク上の任意のコンピュータのCD-ROMドライブをネットワークドライブに割り当ててください。
- ・CD-ROMを使用して削除する場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。
- ・一部のアプリケーションは、CyberAccessがエキスパートモード、アドバンストモード以外のときは削除できません。その場合は、エキスパートモードまたはアドバンストモードに変更してから削除を行ってください。

参照

「CyberAccess」(P.39)

削除の準備

コントロールパネルを使って削除する場合は、以下の手順を行ってください。

CD-ROMを使用する場合と、アプリケーションのアンインストール機能を使う場合は必要ありません。

1 Windows 98を起動する

2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

3 「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。

4 「インストールと削除」タブを選択する



チェック!!

- ・削除したとき、アプリケーションによってはフォルダおよびデスクトップやスタートメニューにショートカットが残る場合があります。その状態でも、本機を操作する上では支障ありません。
- ・アイコンを削除するには、各アプリケーションの削除方法に従ってアプリケーションの削除を実行してから、アイコンを削除してください。

アイコン削除の準備

アプリケーションを削除した後、デスクトップに残ったアイコンを削除する場合、アイコンを削除する前に、次の手順を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリック
- 2 「表示」メニューの「フォルダオプション」をクリック
- 3 「表示」タブをクリックし、「すべてのファイルを表示する」をクリック
- 4 「OK」ボタンをクリック

この後、各アプリケーションの削除方法でアイコンを削除します。

追加について

添付の「アプリケーションCD-ROM」から、本機にあらかじめインストールされているまたは添付されているアプリケーションを追加する場合の手順を説明します。

一部のアプリケーションでは、下記の「プロダクトの選択」を行ってから追加します。

追加の際、アプリケーションが表示するメッセージが他の画面に隠れてしまう場合があります。このような場合には、タスクバーをクリックして他の画面を最小化してください。



チェック!!

- NetPCモデルをお使いの場合は、あらかじめネットワーク上の任意のコンピュータのCD-ROMドライブをネットワークドライブに割り当ててください。
- 終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。
- 一部のアプリケーションは、CyberAccessがエキスパートモード、アドバンスモード以外のときはインストールできません。その場合はエキスパートモードまたはアドバンスモードに変更してから追加を行ってください。

参照

「CyberAccess」(P.39)

プロダクトの選択

本機に添付の「アプリケーションCD-ROM」を使用して追加する場合は、以下の手順を行ってください。

- 1 Windows 98を起動する
- 2 CD-ROMドライブに本機に添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 3 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 4 「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック
- 5 「インストールと削除」タブを選択する
- 6 「インストール」ボタンをクリックして「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」を起動する
- 7 「次へ」ボタンをクリック
- 8 「インストールプログラムの実行」の画面の「インストールプログラムのコマンドライン」が「<CD-ROMドライブ名>:\NSETUP.EXE」となっていることを確認する
例 CD-ROMドライブ名がQの場合
Q:\NSETUP.EXE
- 9 「完了」ボタンをクリック
「プロダクトの選択」が表示されます。

この後は、各アプリケーションの追加方法でアプリケーションの追加を行ってください。

知っておきたい便利な機能と アプリケーション

機 能	工場出荷時の状態	アプリケーション	
文章を作成する	○	一太郎9またはWord 2000、Word 98	(☆)
HTMLを作成する	○	一太郎9またはWord 2000、Word 98	(☆)
表計算する	○	三四郎9、Excel2000、Excel 97 または1-2-3 2000	(☆)
図形処理する	○	花子9またはDraw 98	(☆)
予定やスケジュールを管理する 住所録を作る ファイルを管理する 社内にメールを発信する	○	Outlook 2000、Outlook 98 またはSasuke	(☆)
インターネットへ接続する ソフトをダウンロードする 電子メールを送受信する	○	Internet Explorer 5 Internet Explorer 4.01 Outlook Express Shuriken	(☆)
ファイルやフォルダの暗号化/復号化を行う	△	RSA SecurPC	
コンピュータウイルスを検出して除去する	△	VirusScan	
タイマ機能を使う	△	Timer-NX ※2	
本機や本機に接続されているパソコンの情報を管理する	△	DMITool ※1 ※2	
遠隔地からパソコンを操作する	△	pcANYWHERE32 EX ※1 ※2	
ハードディスクをバックアップする	△	Masty Data Backup ※1 ※2	
操作可能なアプリケーションやツールを、 ユーザのレベルに合せて制限する OSが必要とするファイルを保護する	△	CyberAccess	
音楽CD、ビデオCDなどの音と画像を再生する	△	プレーヤ-NX NEC Soft MPEG 1.0	
文豪DPシリーズ、LANシリーズで作成したデータを一太郎、三四郎で利用する	△	文豪DP/LANシリーズ コンバータ	

機 能	工場出荷時の状態	アプリケーション
pdf形式の電子マニュアルの表示、閲覧、印刷をする	△	Acrobat Reader
海外製アプリケーションを利用する	△	英語モードフォント
液晶ディスプレイの画面を調節する	△	液晶ディスプレイ調整ツール
CD-RWにデータを保存する	△	Easy CD Creator Lite DirectCD

(☆)

(☆)

○：工場出荷時にインストールされているアプリケーション

△：工場出荷時に添付されているアプリケーション

(☆)：ご使用のモデルによりアプリケーションが異なります。

※1：MA40H/Lには添付されていません。

※2：MA35L/Rには添付されていません。



一太郎9・花子9パック(一太郎モデルのみ)

概要

文章作成に一太郎9、図形処理に花子9、表計算に三四郎9、情報管理にSasukeを使用します。
機能の詳細や操作方法については、添付の一太郎9・花子9パックのマニュアルをご覧ください。

削除

一太郎9・花子9パックを削除するには、添付の一太郎9・花子9パックのマニュアル『一太郎9・花子9パック』をご覧ください。

追加

一太郎9・花子9パックを追加するには、添付の一太郎9・花子9パックのマニュアル『一太郎9・花子9パック』をご覧ください。

Office 2000 Personal (Office 2000モデルのみ)

概要

文章作成にWord 2000、表計算にExcel 2000、情報管理にOutlook 2000を使用します。

機能の詳細や操作方法については、添付のOffice 2000のマニュアルをご覧ください。

- ✓ **チェック!** Outlook 2000の初回起動時に表示される「Outlook 2000スタートアップ」の「メール サービス オプション」画面では、「企業/ワークグループ」を選択してください。

削除

- ✓ **チェック!** 他の日本語入力プログラムをインストールしていない場合、IME2000を削除してしまうと日本語入力できなくなります。MS-IME 2000は削除しないでください。

Word 2000、Excel 2000、Outlook 2000の削除

- 1 「削除の準備」の手順1～3を実行(P.3)
- 2 「インストールと削除」の画面の一覧から「Microsoft Office 2000 Personal」をクリックし「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「Microsoft Office 2000メンテナンスモード」の画面で「機能の追加/削除」ボタンをクリック

- ✓ **チェック!** Word 2000、Excel 2000、Outlook 2000全部を削除する場合は、「Office の削除」ボタンをクリックして、「Microsoft Office 2000を削除してもよろしいですか?」と表示されたら「はい」をクリックし、手順6に進んでください。

- 4 削除したいアプリケーションの  をクリックし「インストールしない」をクリック
- 5 「完了」ボタンをクリック
- 6 「Microsoft Office 2000 Personalのセットアップが正常に終了しました」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 7 本機を再起動する

追加

Word 2000、Excel 2000、Outlook 2000の追加

ここでは、工場出荷時と同じ状態にインストールする方法を説明します。

- 1 CD-ROMドライブに「Office 2000 Personal」のCD-ROMをセットする
- 2 「Microsoft Office 2000へようこそ」の画面で、必要事項を入力し「次へ」ボタンをクリック

 **チェック!!** CDキーは「Office 2000 Personal」のCDケース裏面に記載されています。

- 3 「Microsoft Office 2000使用許諾とサポート情報」の画面で「「使用許諾書」の条項に同意します」にチェックを付けて、「次へ」ボタンをクリック
- 4 「Microsoft Office 2000 インストールの準備」の画面で「カスタマイズ」をクリック
- 5 インストール先が「c:\Program Files\Microsoft Office\」となっていることを確認し、「次へ」ボタンをクリック
- 6 「Microsoft Internet Explorer5.0 アップグレード」画面のWindowsの更新で「Microsoft Internet Explorer をアップグレードしない」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

- 7 「Microsoft Office 2000 機能の選択」画面で「Microsoft Office」の  をクリックし「マイコンピュータからすべて実行」を選択する
- 8 「完了」ボタンをクリック
- 9 「インストーラ情報」画面で「はい」ボタンをクリック
自動的に再起動します。
- 10 再起動後、「IME 2000をインストールしますか？」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック



チェック!!

MS-IME 2000をインストールしない場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。これで追加の手順は終了です。

- 11 「Microsoft IME 2000 へようこそ」の画面が表示されたら「次へ」ボタンをクリック
- 12 「使用許諾契約書の確認」の画面で「使用許諾契約書」に同意します」にチェックを付け「次へ」ボタンをクリック
- 13 「ユーザ情報の登録」の画面で必要事項を入力し「次へ」ボタンをクリック
- 14 「オプション機能」の  をクリックし「マイコンピュータからすべて実行」を選択し「次へ」ボタンをクリック
- 15 「インストールしますか？」の画面で「インストール」ボタンをクリック
- 16 「セットアップが完了しました」の画面で「OK」ボタンをクリック
- 17 再起動を促すメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

18 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック

19 「再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリック

Word 98/Excel 97/Outlook 98 (Wordモデルのみ)

概要

文章作成にWord 98、表計算にExcel 97、情報管理にOutlook98、イラストなどの作成にDraw 98を使用します。
機能の詳細や操作方法については、添付のWord & Excelのマニュアルをご覧ください。

削除

Word 98、Excel 97、Outlook98、Draw 98を削除するには、添付のWord & Excelのマニュアル『セットアップについて』をご覧ください、行ってください。

削除後、デスクトップ上にアイコンが残った場合は、削除してください。

✓ **チェック!** 工場出荷時の状態からはじめてすべてを削除するときは、Outlook 98、Draw 98、Word 98、Excel 97の順に行ってください。

追加したWord 98、Excel 97、Outlook 98、Draw 98をすべて削除するときは、追加した順と逆順に削除を行ってください。

Word 98、Excel 97、Outlook 98の順に追加したときの削除は、Outlook 98、Excel 97、Word 98の順に行います。

追加

Word 98、Excel 97、Outlook98、Draw 98を追加するには、添付のWord & Excelのマニュアル『セットアップについて』をご覧ください、行ってください。

追加後、必要に応じてデスクトップ上にアイコンを追加してください。

✓ **チェック!**

- ・「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」のCD-ROMを利用して、MS-IME 98の追加はしないでください。
- ・ Outlook 98を追加した場合は、続けてOutlook 98セキュリティ問題修正パッチプログラムの追加を行ってください。



一太郎9(一太郎9 & 1-2-3 2000モデルのみ)

概要

文章作成に一太郎9を使用します。
機能の詳細や操作方法については、添付の一太郎9のマニュアルをご覧ください。

削除

一太郎9を削除するには、添付の一太郎9のマニュアル『セットアップ』をご覧ください。

追加

一太郎9を追加するには、添付の一太郎9のマニュアル『セットアップ』をご覧ください。

セットアップが終了したら、次の手順で一太郎9アップデートモジュールのインストールを行ってください。なお、次の手順は一太郎9をC:\JUSTフォルダにセットアップしたものとして説明します。異なるフォルダにセットアップした場合、フォルダ名を読み替えてください。

- 1 「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 3 「名前」に次のように入力し「OK」ボタンをクリック
＜CD-ROMドライブ名＞:\TAR09\UPDATE1\TAR09UP.EXE
- 4 「一太郎9アップデートモジュールのセットアップへようこそ」の画面が表示されたら「次へ」ボタンをクリック

- 5 「次へ」ボタンをクリック
- 6 「ファイルコピーの開始」の画面で「次へ」ボタンをクリック
- 7 「セットアップを開始します。よろしいですか？」と表示されたら「はい」ボタンをクリック
- 8 「セットアップが終了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 9 本機を再起動する
- 10 再起動後、エクスプローラ等で「アプリケーションCD-ROM」の「\TARO9\UPDATE2\JSENTRY.PCD」ファイルを「C:\JUST\JSLIB32」フォルダにコピーする
- 11 「このフォルダにはすでに"jsentry"ファイルが存在します。現在のファイルに次の新しいファイルを上書きしますか？」と表示されたら「はい」ボタンをクリック



ロータス1-2-3 2000 (一太郎9 & 1-2-3 2000モデルのみ)

概要

表計算アプリケーションです。
機能の詳細や操作方法については、添付のロータス1-2-3 2000のマニュアルをご覧ください。

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行する (P.3)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「1-2-3 2000」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「スーパーオフィス製品の選択」の画面から「すべてのスーパーオフィス製品をアンインストールする」を選択し、「OK」ボタンをクリック
- 4 「ロータス アンインストール」の画面で「はい」ボタンをクリック
- 5 「次のソフトウェアが削除されました」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 6 本機を再起動する

削除後、デスクトップ上に「1-2-3 2000」アイコンが残った場合は、削除してください。

- 1 CD-ROMドライブに「ロータス1-2-3 2000 CD-ROM」をセットする



「ロータス1-2-3 2000」の画面が実行されない場合、CD-ROMドライブのルートディレクトリの「INSTALL.EXE」を実行してください。

- 2 「ロータス1-2-3 2000」の画面で「インストールボタン」をクリック
- 3 「インストール方法をお選びください」というメッセージが表示されたら、「クイックインストール」ボタンをクリック
- 4 「C:ドライブにインストールします」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 5 「ロータス ソフトウェア契約書」の画面で契約内容をよく読み、「同意する」ボタンをクリック
インストールが始まります。
- 6 「インストールは正常に終了しました」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

追加後、必要に応じてデスクトップ上に「1-2-3 2000」アイコンを追加してください

Internet Explorer 5

概要

インターネットへの接続を行い、ホームページを表示します。



チェック!

Internet Explorer 5は、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」をご覧になりセットアップを行ってください。

起動方法

1 「スタート」ボタン→「プログラム」の「Internet Explorer」をクリック

Internet Explorer 5の画面が表示されます。



Internet Explorer には、次の追加コンポーネントがあります。詳しくはヘルプをご覧ください。

- Microsoft FrontPage Express
Web ページの作成や編集が簡単にできます。
- Microsoft NetMeeting 2.11
インターネットを通して会議を行ったり、アプリケーションを共有して共同作業を行うことができます。
- Microsoft Outlook Express 5
電子メールの送受信やインターネットニュースを見ることができます。
- Microsoft Web 発行ウィザード 1.6
インターネット サーバに Web ページを簡単にアップロードできます。
- Microsoft Windows Media Player 6.1
オーディオファイル(.WAV)、ビデオファイル(.MOV)などのインターネットのマルチメディアファイルの再生ができます。

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.3)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Microsoft Internet Explorer 5とインターネットツール」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「Internet Explorer 5とインターネットツール」の画面で「以前のWindowsの設定を戻す」にチェックを付け、「詳細」ボタンをクリック
- 4 「Internet Explorer 5とインターネットツール」の画面で「以前にインストールしたInternet Explorerおよび次に選択したWindowsのコンポーネントを元の状態に戻す」にチェックを付け、削除するコンポーネントにチェックを付けて「OK」ボタンをクリック
 - Microsoft FrontPage Express
 - Microsoft NetMeeting 2.11
 - Microsoft Outlook Express 5
 - Microsoft Web発行ウィザード 1.6
 - Microsoft Windows Media Player 6.1
- 5 「既にセットアップされているコンポーネントを検索しています」のメッセージの後に「以前のバージョンのInternet Explorerと共有コンポーネントに戻すには[OK]をクリックしてください。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 6 「以前のバージョンのInternet Explorerに戻しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック
削除が始まります。削除には数分かかります。

7 「以前のバージョンのInternet Explorerに戻すにはWindowsを再起動する必要があります。」と表示されたら、「Windowsの再起動」ボタンをクリック
自動的に再起動されます。

8 再起動後、次のコンポーネントの個人設定を削除するか表示されたら、必要に応じて「はい」「いいえ」ボタンをクリック

- Internet Explorer 5 とインターネットツール
- Microsoft Web 発行ウィザード 1.6
- インターネット接続ウィザード
- Microsoft FrontPage Express

追加

1 デスクトップ上の「IE5のセットアップ」をダブルクリック



チェック!!

アイコンを消してしまった場合は、エクスプローラー等で\Windows\Options\Cabs\IE5\ie5setup.exeをダブルクリックしてください。

2 追加使用許諾契約書の画面が表示されるので、「同意する」にチェックを付け、「次へ」ボタンをクリック

3 セットアップ方法を選択し、「次へ」ボタンをクリック
インストールが開始されます。

4 コンピュータの再起動画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

再起動後、Internet Explorer 5関連プログラムの設定、プログラムの個人用設定が行われます。

RSA SecurPC

概要

RSA SecurPCは、ファイルを暗号化および復号化するツールです。

RSA SecurPCは、次のような特徴があります。

- ・ RC4という暗号方式のアルゴリズムを使用しています。
- ・ マイコンピュータやエクスプローラのファイルメニューにコマンドを追加できます。
- ・ 共有パスワードでファイルを暗号化でき、ファイルを共有できます。
- ・ RSA SecurPCを持っていないユーザと共有することもできます。



チェック!!

RSA SecurPCは工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は後述の「追加」の手順を参照してRSA SecurPCをインストールしてください。

起動方法

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリック

2 暗号化/復号化するファイル/フォルダを選択し、右クリック



操作方法については添付の「アプリケーションCD-ROM」の次のファイルをご覧ください。

\\SecurPC\\SecurPC.pdf



チェック!!

上記のファイルを参照するためにはAcrobat Reader 3.0Jが必要です。「Acrobat Reader 3.0J」(P.64)を参照して、インストールしてください。

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行する (P.3)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「RSA SecurPC」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「RSA SecurPCをアンインストールしてよろしいですか？」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 4 「Windowsを再起動するまで、お待ちください。」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック
自動的に再起動します。
- 5 再起動後、「コンピューターからプログラムを削除」の画面に「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

追加

 **チェック!!** RSA SecurPCを追加する場合は、フロッピーディスクが1枚必要です。あらかじめ用意しておいてください。

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する (P.5)
- 2 「プロダクトの選択」で「RSA SecurPC for Windows 98」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
- 3 「ようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 4 「複写先を選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
ファイルのコピーが始まります。

メモ

インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 5 「RSA SecurPCへようこそ」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 6 「ランダム鍵の生成」の画面が表示されたら、鍵生成達成率が100%になるまでキーボードからキーを入力するか、またはマウスをダイアログボックス内で動かす
- 7 「ランダム鍵の生成が終了しました。」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 8 ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリック
- 9 「ユーザー参照ファイルをバックアップするドライブを選択し、フロッピーディスクを挿入してください。」というメッセージが表示されたら、フロッピーディスクドライブにバックアップ用フロッピーディスクを挿入し、「OK」ボタンをクリック
「userpref.!!!」ファイルがフロッピーディスクにコピーされます。



チェック!!

- NetPCモデルの場合は、「キャンセル」ボタンをクリックし、「ユーザー参照ファイル(userpref.!!!)バックアップができませんでした。確認してOKを押してください。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックしてください。
- NetPCモデルの場合は、RSA SecurPCをインストールしたフォルダ(通常は「C:\SecurPC\Userフォルダ」)にある「userpref.!!!」ファイルを、他のフォルダやネットワークドライブ上のフロッピーディスクなどにバックアップしてください。

- 10 「RSA SecurPCセットアップは完了しました。」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 11 「RSA SecurPCのインストールが完了しました。」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック



Virus Scan

概要

コンピュータウイルスの検出、識別、および除去を行います。
コンピュータウイルスを検出した場合は、「PART4トラブル解決 Q&A」の
「コンピュータウイルス対策について」をご覧ください。



チェック!!

VirusScanは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」(P.27)をご覧ください。セットアップを行ってください。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の
「McAfee VirusScanセントラル」をクリック
「VirusScanセントラル」の画面が表示されます。

VirusScanの利用方法、エマージェンシーディスクの作成方法、タスクの作成方法は、VirusScan のヘルプを参照してください。

使用上の注意

エマージェンシーディスク使用時の注意

VirusScanで作成したエマージェンシーディスクを、本機のメモリを96MB以上増設している状態でご使用になる場合は、エマージェンシーディスクの設定を変更する必要があります。(メモリ96MB未満の環境で運用している場合は、設定の変更は必要ありません。)設定の変更方法は、次のインターネット情報サービスをご覧ください。

ネットワークアソシエイツ社

<http://www.nai.com/japan/>

VirusScanにはWindows上で操作するファイルがウイルスに感染されていないか監視する機能があります。

ウイルス監視機能を有効にすると、ファイルをアクセスするたびにウイルスチェックを行うようになります。性能を優先する場合には、次の手順で無効にしてください。

ウイルス監視機能使用時の注意

■ウイルス監視機能を無効にする

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「McAfee VirusScanセントラル」をクリック
- 2 「VShield」をクリック
- 3 「システム スキャン プロパティ」の画面の「スキャン」タブの「システム スキャンを有効」をクリックし、チェックマークを外す
- 4 「システム スキャン プロパティ」の画面の「OK」ボタンをクリック
- 5 Windowsを再起動する

■ ウィルス監視機能を有効にする

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「McAfee VirusScanセントラル」をクリック
- 2 「VShield」をクリック
- 3 「システム スキャン プロパティ」の画面の「スキャン」タブの「システム スキャンを有効」、「システム スキャンのサスペンド可能」、「タスクバーにアイコンを表示」をクリックし、チェックマークを付ける
- 4 「システム スキャン プロパティ」の画面の「OK」ボタンをクリック
- 5 Windowsを再起動する

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.3)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「McAfee VirusScan v4.0.2 (プレインストール版)」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「McAfee VirusScanの削除が選択されました。本当にMcAfee VirusScanを削除しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 4 「削除後はシステムを再起動することをお勧めします。続行しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック
削除が始まります。



チェック!

「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックしてください。

- 5 「コンピューターからプログラムを削除」の画面に「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 6 Windowsを再起動する

追加

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する (P.5)
- 2 「プロダクトの選択」で「McAfee VirusScan v4.0.2」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
- 3 「セットアップへようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 4 契約内容に同意の上、「はい」ボタンをクリック
- 5 「セットアップ方法」の画面が表示されたら、セットアップ方法を選択し、「次へ」ボタンをクリック
ここでは「カスタム」を選択した場合の手順を説明します。

メモ

インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 6 「コンポーネントの選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 7 「オプションの選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

8 「ブート時にシステムをスキャン」、「エマージェンシーディスクを作成」のチェックボックスをクリックしてチェックを外す



- ・エマージェンシーディスクは「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「McAfee VirusScanセントラル」→「ツール」の「エマージェンシーディスク」をクリックして作成することができます。

9 「次へ」ボタンをクリック

10 「プログラムフォルダの選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

11 「インストール設定の確認」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

12 「システム領域のスキャンが完了しました。」のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック



- ・「この製品についての最新の情報を表示しますか？」のメッセージが表示されます。最新の情報を読む場合は「はい」ボタンを読まない場合は「いいえ」ボタンをクリックしてください。
最新の情報は「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「ウイルスデータベースの内容」をクリックして読むことができます。

13 「変更事項」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

14 「インストールが完了しました。」の画面が表示されたら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選び、「終了」ボタンをクリック

Windowsが再起動します。

追加後は、ウイルス監視機能(VShield)が有効になり、ファイルをアクセスするたびにウィルスチェックを行うようになります。本機の性能を優先する場合は、ウイルス監視機能を無効にしてください。ウイルス監視機能を無効にする場合は、前述の「ウイルス監視機能を無効にする」(P.25)をご覧ください。

DMITOOOL

概要

DMITOOOLは、パーソナルコンピュータや接続されているハードウェア情報およびインストールされているソフトウェア情報を管理するソフトです。管理方法として、標準化団体DMTF (Desktop Management Task Force)が規定したDMI (Desktop Management Interface)を採用しています。

DMITOOOLは以下の5つの機能により構成されます。

- ・ システムビューア
- ・ 状態監視
- ・ MIFブラウザ
- ・ リモート電源制御(リモートパワーオン機能)
- ・ WWW Extension

操作方法・表示画面の詳細についてはオンラインヘルプおよび「ご使用になる前に」(Readme.txt)をご覧ください。



チェック!!

- ・ DMITOOOLは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してDMITOOOLをインストールしてください。
- ・ MA40H/L、MA35L/Rには、DMITOOOLが添付されていません。
- ・ 電源管理のモードを「ACPIモード」で使用しているマシンに対してリモートパワーオンはできません。電源管理モードを確認しながらお使いください。

参照

モードの確認、モード切り替え→『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「電源」

- ・ 本機がネットワークに接続されている場合は、定期的にパケットが送信されることがあります。パケットの送信を行いたくない場合には注意が必要です。詳しくは「ご使用になる前に」(Readme.txt)をご覧ください。
- ・ 状態監視機能の「システムヘルス」で「監視方法」を「システムの監視をする」に設定していると、スキャンディスク実行時に著しく時間を要するか、エラーとなる場合があります。スキャンディスクを実行する場合は、「監視方法」を「システムの監視をしない」に設定してから実行してください。

- ・DMIToolをインストールすると、本機の起動時に毎回ダイヤルアップ接続の画面が表示される場合があります。この場合は、「キャンセル」ボタンをクリックし、ダイヤルアップ接続の画面を閉じてから運用してください。画面を表示したまま放置すると、エラーが発生し、DMIToolを使用できなくなります。

LAN経由でインターネット接続している場合は、以下の設定を行うことによりダイヤルアップ接続の画面が表示されなくなります。

- ①「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- ②「インターネット」をダブルクリック
- ③「インターネットのプロパティ」の画面の「接続」タブをクリックし「LANを使用してインターネットに接続」に切り替える

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Dmitool」の中から利用したい機能をクリック
選択した機能の画面が表示されます。

削除

DMITool WWW Extensionをセットアップしていない場合には、手順の7から始めてください。

- 1 PWS("Personal Web Server")を停止する
- 2 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.3)
- 3 「インストールと削除」の一覧から「DMITool WWW Extension」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 4 DMITool WWW Extension常駐プログラム終了を確認する画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 5 PWSプログラム終了を確認する画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック

6 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

これでDMITOOl WWW Extensionプログラムの削除が開始されます。

7 DMITOOl 関連のアプリケーションが起動されていないことを確認する

次のアプリケーションがDMITOOl関連のアプリケーションです。

- ・ システムビューア
- ・ 状態監視
- ・ システムヘルス
- ・ リモートビューア
- ・ MIFブラウザ
- ・ BIOSブラウザ
- ・ リモート電源制御(リモートパワーオン)
- ・ 休眠ファイル

8 「削除の準備」の手順1~4を実行する(P.3)

9 「インストールと削除」の一覧から「DMITOOl」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック

10 「DMITOOl削除」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック

11 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」というメッセージが表示されるので、「はい」ボタンをクリック
これでプログラムの削除が開始されます。

 **チェック!** 「いいえ」ボタンを選び、削除を中断した場合には、本機を再起動してからDMITOOlを使用してください。

12 削除を開始して間もなく共有ファイルの削除を確認する画面が表示されたら、「すべていいえ」ボタンをクリック

- 13 「コンピューターからプログラムを削除」の画面に「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 14 「リブート」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック自動的に再起動します。

追加

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する (P.5)
- 2 「プロダクトの選択」で「DMITool」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
- 3 「ようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 4 「登録」の画面が表示されたら、あなたの名前と会社名を入力し、「次へ」ボタンをクリック
- 5 「起動モード」の画面が表示されたら、起動モードを選択し、「次へ」ボタンをクリック
プログラムのインストールが開始されます。



チェック!

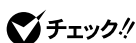
通常は初期設定(標準機能で利用)のままインストールを行ってください。
「起動モード」は「コントロールパネル」の「DMITool」で変更可能です。「起動モード」の詳細な説明はインストール後、「スタート」ボタン→「プログラム」→「DMITool」の「ご使用になる前に」を参照してください。

- 6 「情報」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 7 本機を再起動する

pcANYWHERE32 EX

概要

ネットワーク接続された他のパソコンに本機の画面を表示し、遠隔地から本機を操作することができます。遠隔地からの保守作業などに使用することができます。



チェック!

- pcANYWHERE32 EXは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してpcANYWHERE32 EXをインストールしてください。
- MA40H/L、MA35L/Rには、pcANYWHERE32 EXが添付されていません。
- 本機に添付されているpcANYWHERE32 EXを使用して、他のパソコンを操作することはできません。
- 他のパソコンから本機を操作するためには、相手側のパソコンに、別売の「DMITool (pcANYWHERE32 EXコンプリート版付)」または「pcANYWHERE」(Symantec社製)がインストールされている必要があります。機能説明や使用方法についても別売の「DMITool (pcANYWHERE32 EXコンプリート版付)」などのマニュアルをご覧ください。
- 接続デバイスはIPX (Windows NTを除く)、SPX、NetBIOS、Banyan VINES、TCP/IPが設定できます。
- モデム接続の場合は、ダイヤルアップ接続で利用してください。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「pcANYWHERE32 EX」の「pcANYWHERE32 EX」をクリック

削除

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「pcANYWHERE32 EX」→
「pcANYWHERE32 EXの削除」をクリック

2 「ファイル削除の確認」の画面で「はい」ボタンをクリック

 **チェック!!** 共有ファイルの削除を確認する画面が表示された場合、「すべてはい」ボタンをクリックしてください。すぐに削除の継続を確認する画面が表示されるので、「はい」ボタンをクリックしてください。

3 「コンピューターからプログラムを削除」の画面に「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

 **チェック!!** 共有コンポーネントの削除を確認する画面が表示された場合、すべて「はい」ボタンをクリックしてください。

4 「pcANYWHEREはコンピュータからインストール解除されました。今すぐに再ブートしますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する (P.5)
- 2 「プロダクトの選択」で「pcANYWHERE32 EX」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
- 3 「ようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 4 「ユーザーの情報」の画面で名前と会社名を入力し、「次へ」ボタンをクリック
- 5 「オンライン使用許諾契約」の画面が表示されたら、契約内容をよくお読みになり、同意の上で「はい」ボタンをクリック
- 6 「インストール先の選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック



インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 7 「セットアップレビュー」の画面で「次へ」ボタンをクリック
ファイルのコピーが始まります。
- 8 「セットアップの完了」と表示されたら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」がチェックされていることを確認し、「終了」ボタンをクリック
自動的に再起動します。



Masty Data Backup

概要

Masty Data Backup (マスティデータバックアップ)は、高機能バックアップツールです。

“ハードディスクが突然クラッシュ”このときの損害は計り知れないものがあります。そのため、データのバックアップは不可欠です。Masty Data Backupは、このような万一の事態にもデータを保全し、お客様の損害を最小限におさえるツールです。

Masty Data Backupには次のような特徴があります。

- ・ OSがサポートしている装置(MO、PD、HD、スーパーディスク、Zip、JazおよびTAPEなど)にバックアップできます。
- ・ 日付/曜日/時間を指定すれば、好きなときに自動実行するスケジューリングができます。
- ・ データの圧縮を行いながらバックアップができます。
- ・ 複数枚の媒体に分けてバックアップができます。
- ・ 世代管理ができます。
- ・ S.M.A.R.T機能を利用した自動バックアップができます。



チェック!!

- ・ Masty Data Backupは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してMasty Data Backupをインストールしてください。
- ・ MA40H/L、MA35L/Rには、Masty Data Backupが添付されていません。
- ・ 自動実行を行うには「スタート」ボタン→「プログラム」→「Masty Data Backup 1.0」→「Readme」をクリックし、「はじめに」をお読みください。

起動方法

1

「スタート」ボタン→「プログラム」→「Masty Data Backup 1.0」→「Masty Data Backup 1.0」をクリック

- 1 **Masty Data Backupを終了する**
タスクバーの右下に時計アイコンが存在する場合は、時計アイコン上で右クリックして、「閉じる」をクリックしてください。
次に、タスクバーのMasty Data Backupを右クリックし、「閉じる」を選択して終了してください。
- 2 「削除の準備」の手順1～4を実行する (P.3)
- 3 「インストールと削除」の一覧から「Masty Data Backup /F」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 4 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 5 「コンピューターからプログラムを削除」の画面に「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック



チェック!!

- ・アンインストーラ(アンインストールをするプログラム)は、Windows 98の登録情報とプログラムファイルを削除します。お客様が作成されたログファイル等は削除しません。このため、アンインストーラがディレクトリの削除に失敗することがあります。この場合には、エクスプローラ、またはファイルマネージャなどを使用して削除してください。
- ・再セットアップ時以外にMasty Data Backupにて作成されるファイルにはログファイル以外にもいくつかあります。ログファイル以外はすべて隠しファイルとなっています。

追加

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する (P.5)
- 2 「プロダクトの選択」で「Masty Data Backup/F」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
- 3 「ようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 4 「インストール先の選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック



インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 5 「READMEファイルを読みますか？」で「はい」ボタンをクリック
メモ帳が起動し、READMEファイルが表示されます。読み終わったら終了させてください。
- 6 「情報」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック

CyberAccess

概要

CyberAccessは以下の機能があります。

- CyberAccess機能 「モード」を作成してシステム設定ツールへのアクセスを限定します。
 - CyberWarner-NX機能 Windows 98の動作に影響を与えてしまうファイルを監視します。
 - その他エキスパートモードへのアクセスを制限するセキュリティ機能や、起動時のモードを指定できる機能などもあります。詳しくは「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」の「CyberAccessヘルプ」をご覧ください。
- ✔ チェック!!
- CyberAccessは工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してCyberAccessをインストールしてください。
 - ネットワークを利用したリモート管理を行うためには別売の「CyberAccess Ver1.0」が必要です。

CyberAccess機能

CyberAccessは、「モード」を作成してシステム設定ツールへのアクセスを限定し、デスクトップを単純化したり、操作可能なアプリケーションを限定することができるアプリケーションです。使用者のレベルに合わせて機能を制限できるので、システムへ影響を与えてしまうような操作を未然に防ぐことができます。

■ モードの種類

CyberAccessをインストールすると、以下のモードを利用することができます。

- ・ エキスパートモード : CyberAccessのすべての機能を利用することができます。
- ・ アドバンスドモード : コンピュータのシステムをすべて利用することができます。モードの作成、編集など、CyberAccessの設定を変更することはできません。
- ・ ベーシックモード : システムへ影響を与える機能の動作を制限し、コンピュータのハードウェアやソフトウェアへの予期しないダメージを防ぎます。
- ・ 新規作成モード : CyberAccessインストール後、新規に作成するモードです。新規にモードを作成するためには、エキスパートモードで起動する必要があります。

■ 起動方法

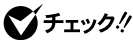
- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」→「CyberAccess セットアップ」をクリック
「CyberAccess ローカルのプロパティ」が表示されます。

CyberWarner-NX機能

Windows 98の動作に影響を与えてしまうファイルを監視し、ユーザが操作中に削除または変更しようすると警告のダイアログを表示します。また、ログファイルを採取して保守時に使用することができます。

■ CyberWarner-NXを起動/常駐させる方法

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「CyberWarner-NX」をダブルクリック
- 3 「スタートアップ」タブの「開始」ボタンをクリック



チェック!!

常駐させる場合は「オプション」→「起動時にCyberWarner-NXを実行する」にチェックを付けてください。

- 4 「OK」ボタンをクリック

削除

■ CyberAccess

CyberAccessは、エキスパートモード以外のモードからは削除できません。削除する前に、エキスパートモードに変更してください。次の手順でCyberAccessを削除します。

- 1 「削除の準備」の手順1～3を実行する(P.3)
- 2 「CyberAccess」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「CyberAccessアプリケーションとその全てのコンポーネントを削除しますか。」のメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

■ CyberWarner-NX

- 1 「削除の準備」の手順1～3を実行する (P.3)
- 2 「CyberWarner-NX」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「選択したアプリケーションとそのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 4 「インストールを有効にするために再起動する必要があります。」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック

追加

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する (P.5)
- 2 「プロダクトの選択」で「CyberAccess」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
- 3 「CyberAccessセットアッププログラムへようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリック
- 4 「CyberWarner」の画面で、「次へ」ボタンをクリック



チェック！

CyberWarner-NXをインストールしない場合は、「CyberWarnerをインストール」のチェックを外してください。

- 5 「インストール先ディレクトリを選択」の画面で「次へ」ボタンをクリック



インストール先ディレクトリを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、インストールしたいディレクトリを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 6 「セットアップ開始」の画面で「次へ」ボタンをクリック
- 7 「CyberAccessのセットアップに成功しました。」というメッセージが表示されたら「完了」ボタンをクリック
- 8 「CyberWarner-NXインストレーション」の画面で「次へ」ボタンをクリック
- 9 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリック



インストール先ディレクトリを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいディレクトリを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 10 「セットアップへようこそ!」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 11 「インストールを有効にするために再起動する必要があります。」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック

Timer-NX

概要

Timer-NXには以下の機能があります。

1. タイマ機能により、指定した時刻に電源を入れる、またはスタンバイ状態から復帰し、アプリケーションを起動することができます。
2. リング機能により、電話やFAX受信時に本機がスタンバイ状態から復帰し、アプリケーションを起動することができます。
3. オフタイマ機能により、本機の電源を指定した時刻に切る、またはスタンバイ状態にすることができます。



チェック!!

- Timer-NXは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。Timer-NXをお使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してTimer-NXをインストールしてください。
- MA35L/Rには、Timer-NXが添付されていません。
- 本機の電源管理のモードを「ACPIモード」で使用しているときは、タイマ機能を使用して自動的に電源を入れることはできません。電源管理のモードを確認してから、お使いください。

参照

モードの確認、モード切り替え→『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「電源」

- スーパバイザパスワード、ユーザパスワードを設定している場合には、「起動時のパスワード」を「使用しない」にしてください。

参照

『活用ガイド ハードウェア編』「PART2 システム設定」「セキュリティの設定」

タイマ機能の設定を行う

タイマ機能は、自動的に本機の電源を入れたり、スタンバイ状態から復帰させる時刻の設定/解除ができます。また、そのときに起動するアプリケーションの指定や電源を切る、またはスタンバイ状態にする時刻を設定できます。

チェック! ACPIモードでは、自動的に電源を入れることはできません。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Timer-NX」をクリック
「Timer-NX」の画面が表示されます。



- 2 曜日を指定する
「Timer-NX」の「曜日指定」欄で曜日をクリックします。毎日のときは「毎日」をクリックします。指定した曜日は黄色で表示されます。
- 3 タイマプログラムの番号を指定する
タイマプログラムとは、予定表のようなものです。ユーザーが作成したこの予定表(タイマプログラム)に従って「Timer-NX」は動作します。タイマプログラムは、1つの曜日に3つまで指定することができます。

4 起動するアプリケーションを指定する

起動するアプリケーションを「Timer-NX」の「実行ファイル」メニューで指定します。メニューに起動したいアプリケーションが無い場合はメニューの一番下の「任意指定」をクリックし、アプリケーションを指定します。

5 「オン」と「オフ」の時刻を指定する



「オン」とは、電源を入れる、またはスタンバイ状態から復帰することを指します。

「オフ」とは、電源を切る、またはスタンバイ状態になることを指します。

①「Timer-NX」の「オン」ボタンをクリック

「オン」ボタンが赤色の枠線で囲まれ、「現在時刻」の右に時計のアイコンが表示され、タイマーが設定されたことを表わします。

②自動的に電源を入れる、またはスタンバイ状態から復帰したい時刻を設定

数字の上を左クリックすると時刻表示が1ずつ大きくなり、右クリックすると1ずつ小さくなります。

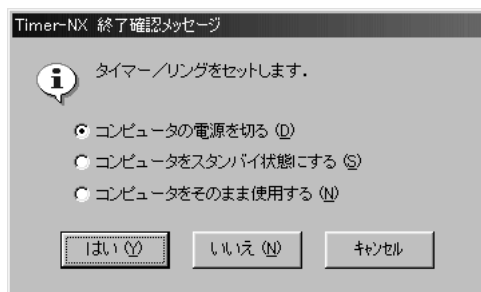
③「オフ」ボタンをクリック

「オフ」ボタンが赤色の枠線で囲まれます。

④「オフ」する時刻を設定

時刻の設定のしかたは、手順②と同じです。

6 各項目の指定が終了したら、「OK」ボタンをクリック 次の画面が表示されます。



●オプション

- ・ コンピュータの電源を切る
「Timer-NX」を終了して、Windowsを終了した後、本機の電源を切ります。
- ・ コンピュータをスタンバイ状態にする
「Timer-NX」を終了して、本機をスタンバイ状態にします。
- ・ コンピュータをそのまま使用する
「Timer-NX」のみを終了して、本機はそのまま使うことができます。



コンピュータとは、本機のことを指します。

7 オプションを選択し、「はい」ボタンをクリック

タイマプログラムの設定が有効になります。

「いいえ」をクリックすると、設定を廃棄して「Timer-NX」を終了します。

「キャンセル」をクリックすると、設定画面に戻ります。



タイマ機能を解除するには、「オン」ボタンまたは「オフ」ボタンをクリックし、ボタンが上がった状態にすると設定が解除できます。すべての設定を解除すると「現在時刻」の右の時計アイコンの表示が消えます。その後、「OK」ボタンをクリックしてください。

タイマ機能を利用するときの注意

(1) タイマプログラムで「オン」/「オフ」を設定するときの注意

「オン」時刻を設定すると、指定した時刻の本機の状態によって次のようになります。

- ・ 本機の電源が切れている場合
タイマプログラムで指定した時刻に本機の電源が入り、指定したアプリケーションを起動します。
- ・ 本機の電源が入っている場合
タイマプログラムで指定した時刻に、指定されたアプリケーションプログラムを起動します。

- ・ 本機がスタンバイ状態の場合
タイマプログラムで指定した時刻に本機がスタンバイ状態から復帰し、指定されたアプリケーションを起動します。

「オフ」機能は、「オン」機能が働いたときの本機の状態に戻す機能です。必ずしも本機の電源を切るわけではなく、「オン」機能が働いたときの本機の状態により次のようになります。

- ・ 本機の電源が切れていた場合
アプリケーションを終了し、本機の電源を切ります。
- ・ 本機の電源が入っていた場合
本機の電源は入ったままになります。アプリケーションも終了しません。
- ・ 本機がスタンバイ状態の場合
本機をスタンバイ状態にします。アプリケーションは終了しません。

(2) タイマプログラムで指定できる時刻

タイマプログラムでは2日間にまたがる設定が可能です。

例えば、当日の23:00にスタンバイ状態から復帰し、翌日の3:00にスタンバイ状態にする場合は、次のように設定します。

「オン」23:00

「オフ」27:00←翌日の午前3時を表します。

この設定では、最大次の設定が可能です。

「オン」00:00

「オフ」47:59←翌日の午後11時59分を表します。

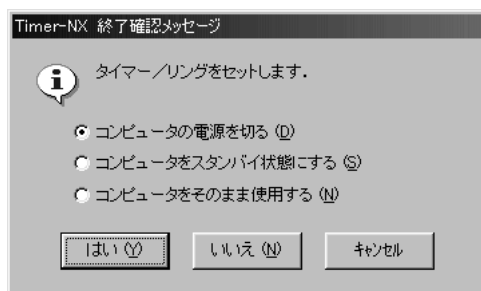
(3) その他の注意

- ・ 「オフ」時刻を指定しない場合は、自動的に電源を入れる、またはスタンバイ状態から復帰しても、自動的に電源を切るまたは、スタンバイ状態にすることはできません。
- ・ 自動的に電源を切らない、スタンバイ状態にしない場合は、「オフ」ボタンをクリックせずに、ボタンが上がった状態にしてください。
- ・ タイマで指定した時刻とほぼ同じ時刻に、手操作でスタンバイ状態から復帰した場合には、タイマ起動と判断される場合があります(2～3分の誤差があります)
- ・ 「オフ」の時間から、次の「オン」の時間は5分以上あけてください。

リング機能の設定を行う

内蔵FAXモデムボード搭載モデルではリング機能で、電話/FAX受信時にスタンバイ状態から復帰させるための設定/解除と、そのときに起動するアプリケーションやスタンバイ状態にする時間を指定できます。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Timer-NX」をクリック
Timer-NXが起動します。
- 2 起動するアプリケーションを指定する
起動するアプリケーションを「Timer-NX」の左下の「実行ファイル」ボタンで指定します。
- 3 電話の絵のボタンをクリック
電話が黄色く表示されます。
- 4 「OFF」ボタンをクリック
「自動電源断の設定」の画面が表示されます。
10分間隔で終了時間を設定します。自動的にスタンバイ状態から復帰した後、設定した時間が経過するとスタンバイ状態にします。
「通信ポートを監視する」をチェックすると、アプリケーションでFAXモデムボードの通信ポートが使われているかどうかチェックし、使われていない場合のみスタンバイ状態にします。
- 5 各項目の指定が終了したら、「OK」ボタンをクリック
「Timer-NX」の画面に戻ります。
- 6 「OK」ボタンをクリック
次の画面が表示されます。



●オプション

- ・ コンピュータをスタンバイ状態にする
「Timer-NX」を終了して、本機をスタンバイ状態にします。
- ・ コンピュータをそのまま使用する
「Timer-NX」のみを終了して、本機はそのまま使うことができます。



チェック!

リング機能では電源が切れた状態から電源を入れることはできません。リング機能を使用する場合は、「コンピュータの電源を切る」は選択しないでください。



コンピュータとは、本機のことを指します。

7 オプションを選択し、「はい」ボタンをクリック

タイマプログラムの設定が有効になります。

「いいえ」ボタンをクリックすると、設定を廃棄して「Timer-NX」を終了します。

「キャンセル」ボタンをクリックすると、設定画面に戻ります。



リング機能を解除するには、手順3で電話の絵のボタンをクリックし、電話が白で表示されるようにします。その後、「OK」ボタンをクリックしてください。

リング機能を使用するときの注意

- ・ Timer-NXでは、リング機能でスタンバイ状態から復帰した後、一定時間が経過すると自動的にスタンバイ状態にする設定を行うことができますが、通信中にスタンバイ状態にしないようにスタンバイ状態にするまでの時間を十分に長く設定してください。通信中にスタンバイ状態にした場合、回線が接続されたままになります(電話機の受話器をあげた状態と同様です)。このため、長時間本機から離れる場合には、自動でスタンバイ状態にする設定にはしないでください。
- ・ リング機能は、スタンバイ状態のときに動作します。本機の電源が入っているときまたは切れているときには、動作しません。
- ・ リング機能を使用する場合は、発信側からの呼び出し回数は十分余裕をみて(5、6回程度)鳴らしてください。呼び出し回数が少ないと、指定したアプリケーションの起動ができない場合があります。

- ・ Timer-NXのリング機能は1回線のみ対応しております。本機にモデムが接続されている場合、本機に最初に接続したモデムに対してリング機能が有効になりますので、先に接続したモデムにつながっている回線を利用してください。
- ・ 内蔵FAXモデムボード搭載モデルでリング機能をご使用になる場合、BIOSセットアップメニューの「省電力管理」-「人力装置によるレジューム」が「オン」になっていることを確認してください。MA40H/Sの場合はこの項目がないため、確認の必要はありません。

FAXソフトウェアなどの通信ソフトウェアと組み合わせてリング機能を使用するときの注意

- ・ 一部の通信ソフトウェアを起動した状態では、リング機能によるスタンバイ状態からの復帰が行われても、Timer-NXで指定したアプリケーションを起動できない場合があります。通信ソフトウェアを起動した状態でリング機能を使用する場合は、あらかじめ以下の手順で指定したアプリケーションが起動できることを確認してからご使用ください。
 - ① Timer-NXのリング機能を設定し、起動するアプリケーションを指定する
 - ② 通信ソフトウェアを起動し、電源スイッチを押してスタンバイ状態にする
 - ③ 本機に電話をかけて、本機がスタンバイ状態から復帰して指定したアプリケーションが起動することを確認する
- ・ 一部のソフトウェアでは、「通信ポートを監視する」を設定していても、通信状態が監視できない通信ソフトウェアがあります。リング機能でスタンバイ状態から復帰後に通信を行う場合、あらかじめ、以下の手順で、ご使用になる通信ソフトウェアとTimer-NXとを組み合わせると通信状態が監視できることを確認してからご使用ください。
 - ① Timer-NXのリング機能を設定する
起動するアプリケーションとして通信ソフトウェアを指定し、「通信ポートを監視する」を設定してください。
 - ② 電源スイッチを押してスタンバイ状態にする
 - ③ 本機に電話をかけて、本機がスタンバイ状態から復帰後、指定した通信ソフトウェアが通信中に、スタンバイ状態にならないことを確認する

オフタイマ機能

オフタイマ機能を使うと、指定した時刻に本機の電源を切る/スタンバイ状態にすることができます。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Timer-NX」をクリック
Timer-NXが起動します。
 - 2 「オフタイマ」ボタンをクリック
「OffTimer」の画面が表示されます。
 - 3 画面の数字上をマウスでクリックし、時刻設定を行う
数字上を左クリックすると時刻表示が1ずつ大きくなり、右クリックすると1ずつ小さくなります。表示時間は24時間モードです。
 - 4 「OK」ボタンをクリック
「OffTimer終了確認メッセージ」の画面が表示されます。
- ✓チェック!! 「キャンセル」ボタンをクリックすると、タイマが解除されます。
- 5 電源を切るかスタンバイ状態にするかを選択する
 - 6 「はい」ボタンをクリック
(「いいえ」ボタンをクリックすると「OffTimer」の画面に戻ります。)

オフタイマ機能を利用するときの注意

オフタイマ機能を設定した時間に電源が切れず、メッセージが表示される場合があります。その場合はメッセージに従って処理を終了させ、Windowsを終了させてください。

タイマ設定を行っても、以下の場合はタイマによる自動電源OFFはできません。

- ・ 無条件に終了できないアプリケーションが起動されていた場合
- ・ OffTimerを終了されてしまった場合

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.3)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Timer-NX」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「Timer-NXとそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」のメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
削除が始まります。



チェック!!

削除中、Timer-NXが使用している共有ファイルの削除確認メッセージが表示される場合があります。これらの共有ファイルが他のアプリケーションでも使用されている場合は、「保存」ボタンをクリックしてください。使用されていない場合は、「削除」ボタンをクリックしてください。使用されているか不明な場合は、「保存」ボタンをクリックしてください。

- 4 「削除されました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

追加

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する (P.5)
- 2 「プロダクトの選択」で「Timer-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
- 3 「Timer-NXのセットアップを始めます。」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 4 「セットアップを開始するには大きなボタンをクリックしてください。」というメッセージ表示されたら、パソコンの絵が描かれているボタンをクリック
インストールが始まります。



インストール先フォルダを変更する場合は、「ディレクトリ変更」ボタンをクリックし、「ディレクトリ変更」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 5 「Timer-NXのセットアップが完了しました。」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック

NEC Soft MPEG1.0

概要

プレーヤ-NXなどで、MPEG1のファイルやVideo CDのファイルを再生するときに、データをデコードするために必要です。
MPEGファイルとしては拡張子が".mpg"のものの他にビデオCD内の拡張子が".dat"のものを再生することができます。

参照

「プレーヤ-NX」(P.58)



チェック!!

- ・NEC Soft MPEG1.0は、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してNEC Soft MPEG 1.0をインストールしてください。
- ・プレーヤ-NXでプルダウンメニューを表示すると再生が停止します。再生中にキーボードから【Alt】を押したときも同様に停止します。

削除

NEC Soft MPEG1.0の削除は「コントロールパネル」の「マルチメディア」を使用して行います。

- 1 動作中のアプリケーションをすべて終了する
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 3 「マルチメディア」をダブルクリック
- 4 「マルチメディアのプロパティ」から「デバイス」タブを選択する
- 5 「メディアコントロールデバイス」の左のプラス記号(+)をクリックし、デバイスドライバの一覧を表示させる

- 6 「NEC Soft MPEG1.0」をダブルクリックし、「NEC Soft MPEG1.0のプロパティ」で「削除」ボタンをクリック
- 7 「削除」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 8 「デバイスは削除されました」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 9 削除後、再起動を促すメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 10 本機を再起動する

追加

NEC Soft MPEG1.0の追加は「コントロールパネル」の「ハードウェアの追加」を使用して行います。

- 1 CD-ROMドライブに本機添付の「アプリケーションCD-ROM」をセット
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 3 「ハードウェアの追加」をダブルクリック
- 4 「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 5 「次へ」ボタンをクリック
- 6 「インストールするデバイスは一覧にありますか？」というメッセージが表示されたら、「デバイスは一覧にない」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 7 新しいハードウェアを自動的に検出する選択画面で「いいえ」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

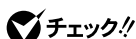
- 8 インストールするハードウェアの種類に「その他のデバイス」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 9 「ディスク使用」ボタンをクリックし、「ディスクからインストール」ダイアログでコマンドラインに
＜CD-ROMドライブ名＞:\NECMPEG
と入力し、「OK」ボタンをクリック
- 10 画面に「NEC Soft MPEG1.0」と表示されるので、「次へ」ボタンをクリック
- 11 「完了」ボタンをクリック
ファイルのコピーが開始されます。
- 12 ファイルのコピー終了後、再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
自動的に再起動します。



プレーヤ-NX

概要

音楽CD(オーディオCD)、Video CD、カラオケCD、Photo CDを再生表示します。



チェック!

- ・プレーヤ-NXは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。プレーヤ-NXをお使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してプレーヤ-NXをインストールしてください。
- ・プレーヤ-NXでMPEG1のファイルやVideo CDのファイルを再生する場合には、NEC Soft MPEG1.0が必要です。NEC Soft MPEG1.0(P.55)を参照して、インストールしてください。
- ・プレーヤ-NXでビデオCDを再生しているとき、ビデオ画面の表示サイズを変更するには、プレーヤ-NXのビデオCDウィンドウをマウスでドラッグして、表示サイズを変更してください。
- ・「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」でCDプレーヤーを削除または再追加すると、音楽CDをセットしても「プレーヤ-NX」は自動起動しません。音楽CDをセットして「プレーヤ-NX」を自動起動させる場合は、CDプレーヤー、プレーヤ-NXの順で再追加してください。
- ・「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」でプレーヤ-NXを削除すると、音楽CDをセットしてもCDプレーヤーは自動起動しません。音楽CDをセットしてCDプレーヤーを自動起動させる場合は、CDプレーヤーを再追加してください。

対応するCD

音楽CD(オーディオCD)、Video CD(Ver1.1) /カラオケCD(Ver1.1)、Video CD(Ver2.0)、Photo CD、Photo CDポートフォリオ

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「エンターテイメント」の「プレーヤ-NX(CDプレーヤ)」をクリック
プレーヤ-NXの画面が表示されます。



チェック!!

詳しくは、「Option」ボタン→「Help」ボタンをクリックして「プレーヤ-NXのヘルプ」をご覧ください。

削除

- 1 「削除の準備」の手順1~4を実行する(P.3)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「プレーヤ-NX」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
削除が始まります。



チェック!!

「共有ファイルを削除しますか？」の画面が表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックしてください。

- 4 「コンピューターからプログラムを削除」の画面に「アンインストールが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

追加

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する (P.5)
- 2 「プロダクトの選択」で「プレーヤ-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
- 3 「ようこそ! プレーヤ-NXの世界へ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 4 「Folder Selection」の画面で「次へ」ボタンをクリック
インストールが始まります。
- 5 「情報」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック

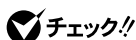
文豪DP/LANシリーズコンバータ

概要

NECワープロ(文豪シリーズ、文豪DPシリーズ、LAN(N5200、PC-PTOS)シリーズ)やWindows版LANシリーズの文書を一太郎や三四郎のデータ形式に変換を行います。

操作の説明や変換における制限事項等については、添付の「アプリケーションCD-ROM」の次のファイルをご覧ください。

<CD-ROMドライブ名>:\\$dpconv¥説明書.jtd



チェック!

- ・文豪DP/LANシリーズコンバータは、工場出荷時の状態では、インストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照して文豪DP/LANシリーズコンバータをインストールしてください。
- ・文豪DP/LANシリーズコンバータは、スーパーディスクドライブでは使用できません。
- ・文豪DP/LANシリーズコンバータは文豪ミニシリーズ、文豪JXシリーズの文章を変換することはできません。
- ・文豪DP/LANシリーズコンバータをご使用になる場合は、一太郎8以上もしくは三四郎8以上のソフトウェアが必要です。また、上記のファイル(説明書.jtd)を参照するには一太郎8以上が必要です。

起動方法

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「文豪DP/LANシリーズコンバータ」をクリックし、変換を行いたいユーティリティをクリック

変換を行いたい文書形式に該当する変換ユーティリティを起動します。

- 「DP-CARD→三四郎文書変換」 … NECカード型データベースソフトウェアの文書を三四郎文書に変換します。
- 「DP-PLAN→三四郎文書変換」 … NEC表計算ソフトウェアの文書を三四郎文書に変換します。
- 「DP-WORD→一太郎文書変換」 … NECワープロの文書を一太郎文書に変換します。
- 「NECAI→ATOK辞書移行ツール」 … 学習単語をATOK登録形式に変換します。

削除

1 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.3)

2 「インストールと削除」の一覧から「文豪DP/LANシリーズコンバータ」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック

3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック



チェック!! 「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックしてください。

4 「コンピューターからプログラムを削除」の画面に「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

5 Windowsを再起動する

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する (P.5)
- 2 「プロダクトの選択」で「文豪DP/LANシリーズコンバータ」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
- 3 「セットアップ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 4 「お使いのコンピュータの機種を選択してください。」というメッセージが表示されたら、「PC98-NXシリーズ」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 5 「セットアップは次のディレクトリに文豪DP/LANシリーズコンバータをインストールします。」というメッセージが表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
インストールが始まります。

メモ

インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 6 「セットアップが完了しました。」というメッセージが表示されたら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、「OK」ボタンをクリック
自動的に再起動します。



Acrobat Reader 3.0 J

概要

PDF (Portable Document Format) 形式の電子マニュアルの表示、閲覧、印刷を行うことができます。

- ✓ **チェック!** Acrobat Reader 3.0Jは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してAcrobat Reader 3.0Jをインストールしてください。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Adobe Acrobat」→「Acrobat Reader 3.0J」をクリック
Acrobat Reader 3.0J の画面が表示されます。

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行する (P.3)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Adobe Acrobat Reader 3.0J」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 4 「コンピューターからプログラムを削除」の画面に「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する (P.5)
- 2 「プロダクトの選択」で「Acrobat Reader」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
- 3 「Adobe Acrobat Reader 3.0Jインストール」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 4 「ようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 5 「使用許諾契約書」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 6 「インストール先の選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
インストールが始まります

メモ

インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 7 「セットアップの完了」の画面が表示されたら、「終了」ボタンをクリック
メモ帳が起動し、READMEファイルが表示されます。
読み終えたら終了させてください。
- 8 「Adobe Acrobat 3.0Jセットアップ」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック

英語モードフォントを使用する

日本語モードフォント、英語モードフォントについて

日本語モードフォントのままで、海外製Windows 98アプリケーションをWindows 98で利用する場合、著作権(©)や登録商標(®)、(＼)が正しく表示されません。そのため、使用するフォントの一部を英語モードフォントに切り替えて正しく表示する必要があります。また、その逆に英語モードフォントのままで、日本語版Windows 98アプリケーションをWindows 98で利用する場合も、正しく表示されない文字があります。

それぞれのモードでの表示状態については、次の通りです。

	海外製Windows 98 アプリケーションを使用	日本語版Windows 98 アプリケーションを使用
日本語モードフォント	「©」→「㊞」、 「®」→「㊟」、 「＼」→「\\」	正しく表示される
英語モードフォント	正しく表示される	「㊞」→「©」、 「㊟」→「®」、 「\\」→「＼」



チェック!!

英語モードフォントは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。
「英語モードフォントへの切り替え」の方法でインストールしてください。

英語モードフォントへの切り替え(追加)

使用するフォントを日本語モードフォントから英語モードフォントに切り替えます。

- 1 CD-ROMドライブに本機添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 3 「フォント」をダブルクリック
- 4 「Fonts」の画面が表示されたら、「ファイル」→「新しいフォントのインストール」をクリック
- 5 「フォントの追加」の画面が表示されたら、「ドライブ」にCD-ROMドライブ(通常は「Q:」)を指定し、「フォルダ」で「usfont」フォルダをダブルクリック
- 6 「フォントの一覧」のリストボックスに「EnglishModeFixedSys (Set#6)」「EnglishModeSystem (Set#6)」「EnglishMode Terminal (Set#6)」が表示されることを確認してから、「すべて選択」ボタンをクリックし、「OK」ボタンをクリック
「Fonts」フォルダ内に英語モードフォントが追加され、英語モードフォントに切り替わります。



チェック!!

使用しているフォントが英語モードフォントのままで、日本語版Windows 98アプリケーションをWindows 98で利用すると、「り」、「ヨ」、「\」が正しく表示されなくなります。この場合、英語モードフォントを日本語モードフォントに切り替えてください。

日本語モードフォントへの切り替え(削除)

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「フォント」をダブルクリック
- 3 「Fonts」の画面が表示されたら、「フォント」フォルダ内の「EnglishModeFixedSys (Set#6)」「EnglishModeSystem (Set#6)」「EnglishModeTerminal (Set#6)」(実際には名前が短く表示されることもあります)を選択し、「ファイル」の「削除」を選択する
- 4 「これらのフォントを削除してもよろしいですか?」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
英語モードフォントが削除され、日本語モードフォントに切り替わります。

✔ **チェック!!** 使用しているフォントが日本語モードフォントのままで、海外版Windows 98アプリケーションをWindows 98で利用すると、著作権(©)や登録商標(®)、(™)が正しく表示されなくなります。この場合、日本語モードフォントを英語モードフォントに切り替えてください。

液晶ディスプレイ調整ツール

概要

液晶ディスプレイ調整ツールは、液晶ディスプレイの画面を調整する場合に利用します。お使いの液晶ディスプレイにより、操作方法が異なりますので、お使いの液晶ディスプレイの型番に合わせてお読みください。



チェック!!

- ・CRTディスプレイでは、ご利用になれません。
- ・デジタルTFT液晶ディスプレイ(F15T31W、F15S21W)をご利用の場合は、本ツールを使用して、画面調整する必要はありません。
- ・液晶ディスプレイ調整ツールは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照して液晶ディスプレイ調整ツールをインストールしてください。
- ・必要に応じて液晶ディスプレイに添付されているマニュアルもご覧ください。

起動方法

■ F14T41W, F15T2W, F18S1Wをご利用の場合

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の「液晶ディスプレイ調整ツール1」をクリック

■ F15R42W をご利用の場合

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の「液晶ディスプレイ調整ツール2」をクリック

削除

■ F14T41W, F15T2W, F18S1Wをご利用の場合

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.3)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「液晶ディスプレイ調整ツール1」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「液晶ディスプレイ調整ツール1'とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」のメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 4 「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

■ F15R42W をご利用の場合

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.3)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「液晶ディスプレイ調整ツール2」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「液晶ディスプレイ調整ツール2とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」のメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック



チェック!

共有ファイルの削除確認メッセージが表示された場合は、「すべていいえ」や「すべて残す」などを選び、ファイルを削除しないでください。

- 4 「削除されました。」または「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

追加**■ F14T41W, F15T2W, F18S1Wをご利用の場合**

- 1** 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する (P.5)
- 2** 「液晶ディスプレイ調整ツール(F14T41W/B, F15T2W, F18S1W)」をクリックして、「インストール」ボタンをクリック
- 3** 「ようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 4** 「ファイルコピーの開始」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
セットアップ画面が終了したら、セットアップは終了です。

■ F15R42W をご利用の場合

- 1** 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する (P.5)
- 2** 「液晶ディスプレイ調整ツール(F15R42W)」をクリックして、「インストール」ボタンをクリック
- 3** 「液晶ディスプレイ画面調整ツール2 セットアップ」の画面が表示されたら、液晶ディスプレイの「PROCEED」ボタンを押す
- 4** 画面中央に表示されたOSDメニューと手順3で表示されたOSDメニューが同じデザインであることを確認する
- 5** 確認したら、液晶ディスプレイの「EXIT」ボタンを押す
画面中央のOSDメニューが消えます。
- 6** 「OK」ボタンをクリック

**チェック!!**

「システムにある一部のシステムファイルが最新ではないので、セットアップを続行できません。」というメッセージが表示された場合は、「OK」ボタンをクリックし、本機を再起動後、手順1からやり直してください。

7 「液晶ディスプレイ調整ツール2のセットアップを始めます。」のメッセージが表示された場合は、「OK」ボタンをクリックし、手順8へ進む
「ようこそ」の画面が表示された場合は「次へ」ボタンをクリックし、手順11へ進む

8 「セットアップを開始するには次のボタンをクリックしてください。」のメッセージが表示されたら、パソコンの絵が描かれているボタンをクリック



インストール先フォルダを変更する場合は、「ディレクトリ変更」ボタンをクリックし、「ディレクトリ変更」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

9 プログラムグループの選択画面が表示されたら、「継続」ボタンをクリック
インストールが始まります。

10 「液晶ディスプレイ調整ツール2のセットアップが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

これで追加の手順は終了です。

11 「ファイルのコピーの開始」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

12 「セットアップの完了」の画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

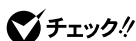
これで追加の手順は終了です。

Easy CD Creator Lite

概要

Easy CD Creator Liteは、CD-RおよびCD-RWへ大量のデータやプログラムを記録することができます。

機能の詳細や操作方法についてはEasy CD Creator Liteのヘルプをご覧ください。



チェック!!

- Easy CD Creator Liteは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してEasy CD Creator Liteをインストールしてください。
- Easy CD Creator Liteは、CD-RWドライブ搭載モデルのみ添付されています。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Adaptec Easy CD Creator Lite」の「Easy CD Creator Lite」をクリック
Easy CD Creator Liteの画面が表示されます。

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行する (P.3)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Adaptec Easy CD Creator Lite」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

- 4 「共有ファイルを削除しますか？」というメッセージが表示されたら、「すべていいえ」ボタンをクリック
- 5 「アンインストールが完了しました」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック

追加

- 1 本機を起動し、CD-ROMドライブに「Easy CD Creator Lite / DirectCD CD-ROM」のCD-ROMをセットする
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 3 「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック
- 4 「インストールと削除」タブを選択する
- 5 「インストール」ボタンをクリックし、「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」を起動する
- 6 「次へ」ボタンをクリック
- 7 「インストールプログラムの実行」の画面の「インストールプログラムのコマンドライン」に次のように入力し、「完了」ボタンをクリック

例 CD-ROMドライブ名がQの場合
Q:\EASYCD\DISK1\SETUP.EXE
- 8 「Adaptec Easy CD Creator Lite」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 9 「製品ライセンス契約」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリック

10 「インストール先の選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

インストールが始まります。



インストール先ディレクトリを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックして、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいディレクトリを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

11 「セットアップの完了」の画面が表示されたら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」がチェックされていることを確認し、「終了」ボタンをクリック

自動的に再起動します。



DirectCD

概要

DirectCDは、CD-RおよびCD-RWへ大量のデータやプログラムを記録することができます。

機能の詳細や操作方法についてはDirectCDのヘルプをご覧ください。



チェック!!

- DirectCDは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してDirectCDをインストールしてください。
- DirectCDは、CD-RWドライブ搭載モデルのみ添付されています。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Adaptec DirectCD」の「Adaptec DirectCD」をクリック
DirectCDの画面が表示されます。

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.3)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Adaptec DirectCD」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック



チェック!!

共有ファイルの削除を確認する画面が表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックしてください。

- 4 「コンピューターからプログラムを削除」の画面に「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

追加

- 1 本機を起動し、CD-ROMドライブに「Easy CD Creator Lite / DirectCD CD-ROM」のCD-ROMをセットする
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 3 「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック
- 4 「インストールと削除」タブを選択する
- 5 「インストール」ボタンをクリックし、「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」を起動する
- 6 「次へ」ボタンをクリック
- 7 「インストールプログラムの実行」の画面の「インストールプログラムのコマンドライン」に次のように入力し、「完了」ボタンをクリック
例 CD-ROMドライブ名がQの場合
Q:\DIRECTCD\SETUP.EXE
- 8 「Master Setup」の画面が表示されたら、「DirectCD」をクリック
- 9 「Adaptec DirectCDインストール」の画面で「次へ」ボタンをクリック
- 10 「DirectCD ライセンス契約書」の画面で内容を確認し、「はい」ボタンをクリック

- 11** 「インストール先の選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
インストールが始まります。



インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックして、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 12** 「Master Setup」の画面が表示されたら、「終了」ボタンをクリック

- 13** 「セットアップの完了」の画面が表示されたら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」がチェックされていることを確認し、「終了」ボタンをクリック

自動的に再起動します。

2

再セットアップする

本機に添付されている「システムインストールディスク」や「バックアップCD-ROM」を使って、本機のシステムやアプリケーションを工場出荷時の状態に復元する方法を説明しています。

なお、「再セットアップについて」は必ずお読みください。

この章の読み方

必ず次ページの「再セットアップについて」を読んだ後に、再セットアップ方法を選択し、該当するページをご覧ください。

この章の内容

再セットアップについて	80
工場出荷時と同じ状態にする－標準再セットアップ	85
全領域を1パーティションにして再セットアップする （カスタム再セットアップ）	92
Cドライブのみ再セットアップする（カスタム再セットアップ）	96
ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする （カスタム再セットアップ）	100
NetPCモデルを再セットアップする	119
FAT32ファイルシステムの利用	130



再セットアップについて

再セットアップを行うと、こわれてしまった本機のシステムを復旧することができます。ただし、ハードディスクに保存したファイルが消えてしまいます。時間もかかる作業なので再セットアップが必要かどうかをよく確認してから始めてください。

再セットアップが必要になるとき

次のようなとき、本機の再セットアップが必要です。

1. トラブルによるシステムの復旧をするため

- ・電源を入れても電源ランプは点灯するが、Windows 98が動作しない。
- ・ハードディスクの中のプログラムが正常に動作しない。
- ・ハードディスク内のシステムファイルを誤って消してしまった。
- ・スキャンディスクを行っても修復できない。
- ・Safeモードで起動しても問題が解決できない。

2. ハードディスクの設定を変更するため

- ・Cドライブの容量を変更したい。
- ・FAT32を利用したい。
- ・ハードディスクを1つのパーティションにしたい。

3. Windows 98の設定を変更するため

- ・Windows 98を購入時の状態に戻したい。
- ・登録した名前や会社名を変更したい。

再セットアップ

本機のシステムがこわれてしまったときに、CD-ROMに入っているデータをもとに、工場出荷時と同じ状態に戻す作業のことです。

ハードディスクの構成を変えるときも、ハードディスクをフォーマット(初期化)し直すとシステムが消えてしまうので、再セットアップが必要です。

Safeモードで起動して問題を解決する

SafeモードはWindowsの正常な起動を行えるようにするための、特殊な診断モードです。以下の手順でSafeモードを起動させてください。

- 1 問題のあるWindows 98を起動する
- 2 「NEC」のロゴの画面で「<F2>:BIOSセットアップメニューを起動します、<F12>:ネットワークブートします。」と表示されたら、すぐに【Ctrl】を「Microsoft Windows 98 Setup Menu」が表示されるまで押し続ける
- 3 「3.Safe mode」を選択し、【Enter】を押す
- 4 キーボードのタイプを判定しますと表示されたら、【半角/全角/漢字】を押す
- 5 「WindowsはSafeモードで実行されています」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック
Safeモードが起動します。

Safeモードで起動して解決できる問題は、ネットワークまたはハードウェアの設定に問題があります。コントロールパネルで設定を確認してから、Windowsを再起動してください。



チェック!!

Safeモードで実行しているときは、いくつかのデバイスが利用できなくなることがあります。

再セットアップする前の注意

- NetPCモデルをお使いの場合は、後述の「NetPCモデルを再セットアップする」(P.119)をご覧ください。再セットアップを行ってください。
- データをバックアップしてください。
ご自分で作成されたデータは再セットアップによってすべて消去されます。再セットアップを始める前に、必ずバックアップをとってください。ただし、「Cドライブのみ再セットアップする」を選択した場合はDドライブ以降のデータは消去されません。
- パソコンの設定を控えてください。
再セットアップを行うと、ネットワークの設定などはすべて工場出荷時の状態に戻ってしまいます。再セットアップ後も現在と同じ設定で使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。
- 必要なものを準備してください。
再セットアップの作業にはいる前に、このパソコンに添付されている、次のCD-ROM、フロッピーディスク、マニュアルを準備してください。

「バックアップCD-ROM」

「システムインストールディスク」

『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』

選択アプリケーションのあるモデルのときは、それぞれのアプリケーションのCD-ROMも必要です。また、本機購入後に自分でインストールしたアプリケーションを使うときは、そのインストール用のディスクが必要です。

準備するものは、モデルによって異なりますので、再セットアップ中に表示される「再セットアップの準備」の画面で確認して、すべて準備するようにしてください。

- 別売の周辺装置は取り外してください。
『はじめにお読みください』をご覧ください。本機に添付されていた機器のみを接続した状態で再セットアップを行ってください。再セットアップ後、別売の周辺機器の接続を行ってください。
- 再セットアップは途中でやめないでください。
再セットアップを始めたら、本書の手順通りに、最後まで行ってください。途中でやめた場合は、最初から再セットアップを行ってください。

- ・ 別売のアプリケーションは再セットアップ完了後にインストールを行ってください。

別売のアプリケーションも再セットアップによってすべて消去されます。再セットアップがすべて完了してから、インストールを行ってください。

- ・ カスタム再セットアップを行う場合、ハードディスクのボリュームラベルが全角文字または半角カタカナで入力されているときは、領域の削除ができません。

「マイコンピュータ」でハードディスクドライブのアイコンを右クリックして「プロパティ」で半角英数字に入力し直すか、ボリュームラベルを削除してください。

Windows 98が起動しない場合は、「起動ディスク」を使って本機を起動し、コマンドプロンプトから以下のように入力してボリュームラベルを変更してください。

C:\WINDOWS\COMMAND\LABEL<ドライブ名>:[Enter]

標準再セットアップとカスタム再セットアップ

再セットアップには、「標準再セットアップ」と「カスタム再セットアップ」の2つがあります。ここでは4つのパターンと、NetPCモデルの場合に分けて、再セットアップの手順を説明します。

標準再セットアップ

ハードディスクを工場出荷時と同じ状態に戻します。初心者の方およびハードディスクについての知識のない方は、必ずこの方法で再セットアップしてください。



チェック!!

標準再セットアップでは第2パーティションも工場出荷時と同じ状態に戻ります。また、2台目の内蔵ハードディスクを増設している場合、2台目もフォーマットされます。データのバックアップを忘れずに行ってください。



参照 工場出荷時と同じ状態にする (P.85)

カスタム再セットアップ

■全領域を1パーティションにして再セットアップする

第2パーティション(Dドライブ)を作成しないですべての領域をCドライブ(FAT32ファイルシステム)にして再セットアップします。Cドライブのハードディスク容量を最大にすることができます。自動的にFAT32ファイルシステムになりますので、利用する前に、「FAT32を使用する場合の注意」(P.130)をご覧ください。

参照▶ 全領域を1パーティションにして再セットアップする(P.92)

■Cドライブのみ再セットアップする

Cドライブの容量を変更しないで、Cドライブのみを再セットアップするときに、この方法で再セットアップします。Cドライブ以外のハードディスクのデータを残しておくことができます。

参照▶ Cドライブのみ再セットアップする(P.96)

■ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする(ユーザー設定)

FDISKコマンドを使って、ハードディスクの領域を変更して再セットアップすることができます。Cドライブのハードディスク容量を変更したいときにはこの方法で再セットアップします。

参照▶ ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする(P.100)

NetPCの再セットアップ

NetPCモデルの場合は、別売の管理者用FDドライブキット(PC-NFU001)を使用して再セットアップします。FDISKコマンドを使用しますので、ハードディスクの領域を変更して再セットアップすることができます。

参照▶ NetPCモデルを再セットアップする(P.119)

工場出荷時と同じ状態にする ー標準再セットアップ

「標準再セットアップ」を行うと、本機を工場出荷時と同じ状態に戻すことができます。

標準再セットアップの手順

標準再セットアップは次の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。

1 システムを再セットアップする(約1時間10分)



再セットアップにかかる時間は、モデルによって異なります。それぞれ再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

2 Windows 98の設定をする(約20分)

3 選択アプリケーションのあるモデルの場合は、各アプリケーションを再セットアップする(約15分)

4 購入後に行った設定をやり直す



チェック!!

再セットアップは途中で中断しないでください。もし、中断したときは、最初からやり直してください。

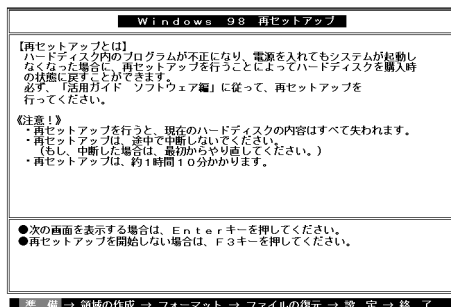
1. システムを再セットアップする

再セットアップは、ハードディスクのCDドライブに対して行われます。スーパーディスクドライブが搭載されているモデルをお使いの場合は、フロッピーディスクドライブをスーパーディスクドライブと読み替えてください。

1 本機の電源を入れる

2 電源ランプがついたら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする

3 次の画面が表示されたら、【Enter】を押す



再セットアップにかかる時間はモデルによって異なりますので、この画面で確認してください。

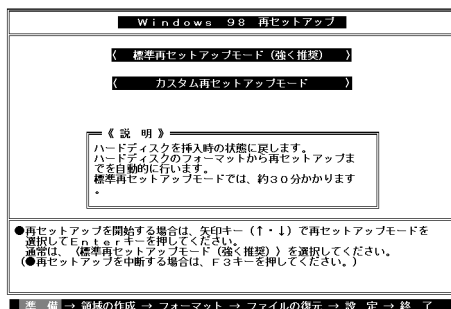
「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、この画面は表示されません。その場合は、ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

「Invalid system disk Replace the disk...」と表示された場合は、別のフロッピーディスクがセットされています。「システムインストールディスク(起動用)」をセットし直して、何かキーを押してください。

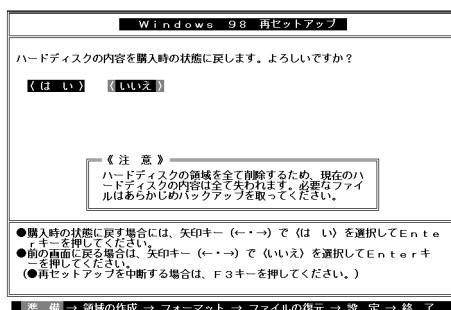
4 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする

5 「再セットアップの準備」の画面が表示されたら、【Enter】を押す

- 6 次の画面が表示されたら、「標準再セットアップモード(強く推奨)」を選択し、[Enter]を押す
「ハードディスクの内容を購入時の状態に戻します。よろしいですか?」と表示されます。



- 7 「はい」を選択し、[Enter]を押す



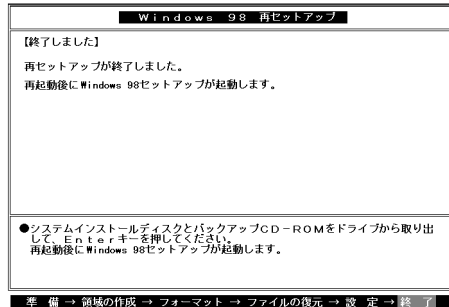
ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが始まります。機種、モデルによって異なりますが、約1時間10分かかります。途中でフロッピーディスクを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示に従って入れ替えてください。



チェック!

- ・ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMやフロッピーディスクを取り出したり、電源スイッチを押したりしないでください。
- ・再セットアップ中に数回ビープ音が鳴りますが、問題ありません。
- ・「再セットアップが終了しました」というメッセージが画面に表示されなかったときは、再セットアップは正常に行われていません。はじめからやり直してください。

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが完了すると次の画面が表示されます。



 **チェック!!** この画面が表示されなかったときは、再セットアップは正常に行われていません。はじめからやり直してください。

8 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク」を取り出す

9 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

10 【Enter】を押す
システムが再起動し、しばらくすると「Windows 98セットアップウィザード」の画面が表示されます。

2. Windows 98の設定をする

ここで行う操作は、はじめて本機を使ったときの操作(『はじめにお読みください』)と同じ操作です。

1 「ユーザー情報」の画面で、キーボードを使って本機を使う人の名前と会社名を入力する



名前を入力しないと、次の手順に進めません。会社名は入力しなくてもかまいません。

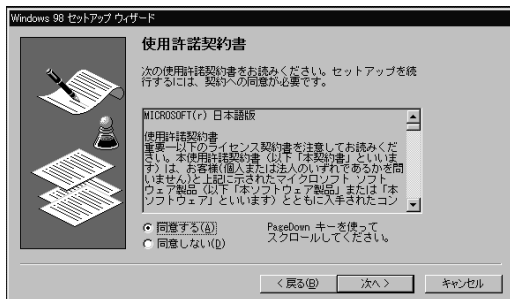
ただし、ここで入力した名前、会社名は変更できません。変更する場合は、再セットアップする必要があります。

名前や会社名は、ローマ字でも、漢字やカタカナでもかまいません。

2 入力が終わったら、「次へ」ボタンをクリック

3 画面に表示される「使用許諾契約書」を確認する

▼ (スクロールボタン)をクリックするか、キーボードの[Page Down]を押すと、「使用許諾契約書」の下の方を読むことができます。



4 「同意する」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

(「同意しない」をクリックすると、セットアップが中止になるようなメッセージが表示されます。中止したときは、再セットアップをもう一度最初からやり直してください)



5 キーボードを使ってプロダクト キーを半角文字で入力する

プロダクト キーは、『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』の表紙に記載されています。



チェック!

『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』は紛失しないように気を付けてください。表紙に記載されている「プロダクト キー」がわからないと、再セットアップできません。

6 「次へ」ボタンをクリック

- 7 「ウィザードの開始」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック
何度か画面が変わり、Windows 98のデスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。途中で再起動を促す画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックしてください。



チェック!!

Wordモデルの場合は続けてすぐにOutlook、Excel、Wordの再セットアップを行ってください。再セットアップを完了しないと誤動作の原因になる場合があります。再セットアップの方法は「PART1 アプリケーションの概要と削除/追加」の「Word 98/Excel 97/Outlook 98(Wordモデルのみ)」をご覧ください。

3. アプリケーションを再セットアップする(選択アプリケーションのあるモデルのみ)

各アプリケーションを再セットアップしてください。

再セットアップ方法は「PART1 アプリケーションの概要と削除 / 追加」の「追加」をご覧ください。

4. 購入後に行った設定をやり直す

購入後に行った設定は、再セットアップによってすべてなくなっている
ので、設定し直してください。

別売の周辺機器がある場合は接続して設定し直してください。ネット
ワークの設定なども再設定してください。また、別売のアプリケーション
をインストールしていた場合もインストールし直してください。



全領域を1パーティションにして再セットアップする(カスタム再セットアップ)

ハードディスクの領域を1つのドライブとして作成したいときは、この方法で行います。

「全領域を1パーティションにして再セットアップ」の手順

全領域を1パーティションにして再セットアップは、次の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。

- 1 システムを再セットアップする(約1時間10分)
- 2 Windows 98の設定をする(約20分)
- 3 選択アプリケーションのあるモデルの場合は、各アプリケーションを再セットアップする(約15分)
- 4 購入後に行った設定をやり直す



チェック!!

再セットアップは途中で中断しないでください。もし、中断したときは、最初からやり直してください。

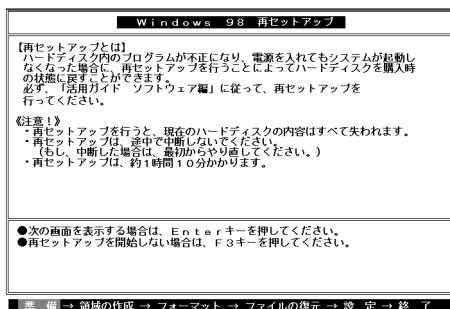
1. システムを再セットアップする

スーパーディスクドライブが搭載されているモデルをお使いの場合は、フロッピーディスクドライブをスーパーディスクと読み替えてください。

1 本機の電源を入れる

2 電源ランプがついたら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする

3 次の画面が表示されたら、【Enter】を押す



再セットアップにかかる時間はモデルによって異なりますので、この画面で確認してください。

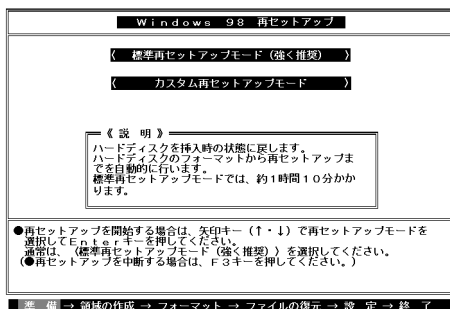
「システムインストールディスク」のセットが遅いと、この画面は表示されません。その場合は、ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

「Invalid system disk Replace the disk...」と表示された場合は、別のフロッピーディスクがセットされています。「システムインストールディスク(起動用)」をセットし直して、何かキーを押してください。

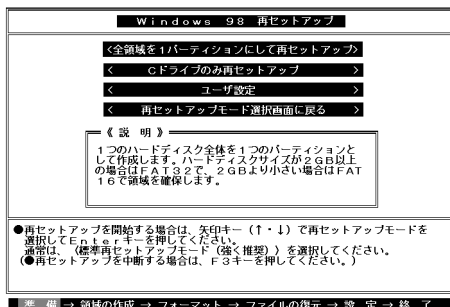
4 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする

5 「再セットアップの準備」の画面が表示されたら【Enter】を押す

6 次の画面が表示されたら[↓]を1回押して「カスタム再セットアップモード」を選択し、【Enter】を押す

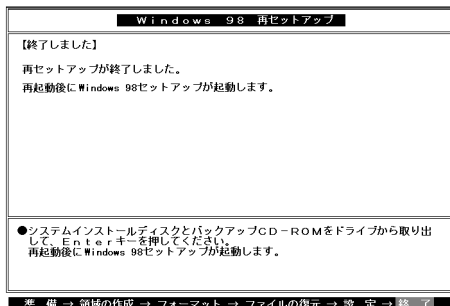


7 「全領域を1パーティションにして再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す



- 8 「ハードディスクの領域を下記の様に設定し、ファイルを購入時の状態に戻します。よろしいですか？」と表示されるので、【←】を1回押して【Enter】を押す

システムの再セットアップが終わると次の画面が表示されます。



- 9 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク」を取り出す
- 10 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す
- 11 【Enter】を押す
Windows 98が再起動し、しばらくすると「Windows 98セットアップウィザード」の画面が表示されます。

これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。
「工場出荷時と同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「2.Windows 98の設定をする」(P.89)に進んで、その後の操作を行ってください。



Cドライブのみ再セットアップする (カスタム再セットアップ)

Cドライブのみ再セットアップします。Dドライブ以降のデータはそのままなので、Cドライブだけを再セットアップしたい場合は、この方法で再セットアップしてください。ただし、この方法では、Cドライブの容量を変えることはできません。

「Cドライブのみ再セットアップ」の手順

Cドライブのみ再セットアップする場合は次の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。

- 1 システムを再セットアップする(約1時間10分)
- 2 Windows 98の設定をする(約20分)
- 3 選択アプリケーションのあるモデルの場合は、各アプリケーションを再セットアップする(約15分)
- 4 購入後に行った設定をやり直す



チェック!!

- ・再セットアップは途中で中断しないでください。もし、中断したときは、最初からやり直してください。
- ・Cドライブのみ再セットアップする方法では、Cドライブにあるシステムやアプリケーション、データも全て削除されます。再セットアップする前に、必要なデータなどは必ずバックアップをとってください。
- ・Cドライブ以外のハードディスクにアプリケーションをインストールしている場合、再セットアップ後、ハードディスクにアプリケーションが残っていても、そのアプリケーションは再セットアップが必要な場合があります。アプリケーションが正常に動作しない場合は、再セットアップ後に、アプリケーションも再セットアップしてください。

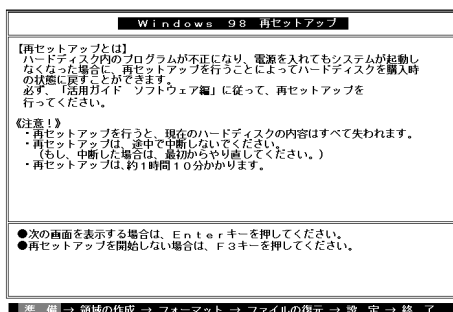
1. システムを再セットアップする

スーパーディスクドライブが搭載されているモデルをお使いの場合は、フロッピーディスクドライブをスーパーディスクと読み替えてください。

1 本機の電源を入れる

2 電源ランプがついたら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする

3 次の画面が表示されたら、【Enter】を押す



再セットアップにかかる時間はモデルによって異なりますので、この画面で確認してください。

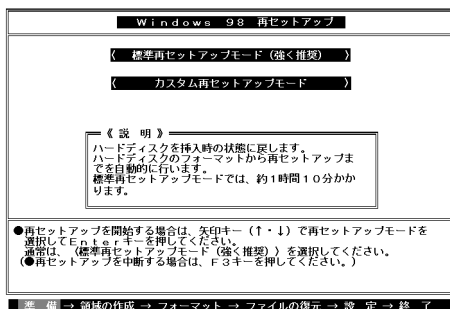
「システムインストールディスク」のセットが遅いと、この画面は表示されません。その場合は、ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

「Invalid system disk Replace the disk...」と表示された場合は、別のフロッピーディスクがセットされています。「システムインストールディスク(起動用)」をセットし直して、何かキーを押してください。

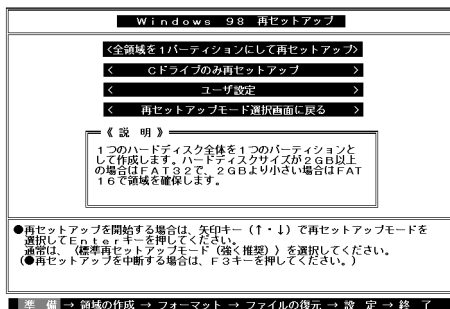
4 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする

5 「再セットアップの準備」の画面が表示されたら、【Enter】を押す

6 次の画面が表示されたら、【↓】を1回押して「カスタム再セットアップモード」を選択し、【Enter】を押す

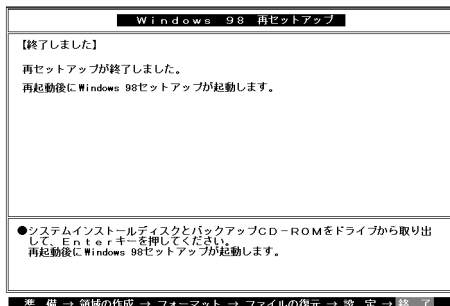


7 【↓】を1回押して「Cドライブのみ再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す



8 「Cドライブの内容を消去し、ファイルを購入時の状態に戻します。よろしいですか？」と表示されるので、【←】を1回押して【Enter】を押す

システムの再セットアップが終わると次の画面が表示されます。



9 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク」を取り出す

10 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

11 【Enter】を押す

Windows 98が再起動し、しばらくすると「Windows 98セットアップウィザード」の画面が表示されます。

これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。

「工場出荷時と同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「2.Windows 98の設定をする」(P.89)に進んで、その後の操作を行ってください。



ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする(カスタム再セットアップ)

Cドライブのハードディスク領域を自由に変えたいときは、ユーザ設定で行います。

ユーザ設定は、領域の削除や作成が必要なので、パソコンに慣れた方や、ハードディスクについて知識のある方が行う必要があります。

ユーザ設定の手順

ユーザ設定は次の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いています。参考にしてください。

- 1 領域を削除する(約5分)
- 2 領域を作成する(約5分)
- 3 ドライブを初期化(フォーマット)する(約10～15分)
- 4 システムを再セットアップする(約1時間10分)



再セットアップにかかる時間は、モデルによって異なります。それぞれ再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

- 5 Windows 98の設定をする(約20分)
- 6 選択アプリケーションのあるモデルのときは、各アプリケーションを再セットアップする(約15分)

7 購入後に行った設定をやり直す



チェック!!

- ・ハードディスクの領域を削除すると、その領域のシステムやアプリケーション、データもすべて削除されます。領域を削除する前に、必ずバックアップをとってください。
- ・再セットアップは途中で中断しないでください。もし、中断したときは、はじめからやり直してください。
- ・本機の工場出荷時のCドライブの領域作成状態は、Windows 98 (FAT16) で作成できる最大領域 (2,047Mバイト) で領域作成しています。
FAT16ファイルシステムでは、1つのドライブを2,047Mバイト以上で領域作成することはできません。
- ・2,047Mバイトを越えて領域作成する場合は、「FAT32ファイルシステムの利用」(P.130)をよくお読みください。

FDISKについて

カスタム再セットアップでは、FDISKというコマンドを使って、次のようにハードディスクの領域を作成します。

- | | |
|---------------------|---|
| 基本MS-DOS領域 | 起動することができるドライブです。Cドライブが割り当てられ、ここにWindows98をインストールします。1つのハードディスクに1つだけ作成できます。 |
| 拡張MS-DOS領域 | 基本MS-DOS領域以外のMS-DOS領域です。ここから起動することはできません。1つのハードディスクに1つだけ作成できます。拡張MS-DOS領域の中に論理MS-DOSドライブを割り当てることでDドライブ以降として領域を割り当てることができます。 |
| 論理MS-DOSドライブ | 拡張MS-DOS領域の中に作成します。複数のドライブを作成することができます。ここでDドライブ以降を作成します。なお、本機では1つのドライブにつき、最大2,047Mバイト(FAT16の場合)まで作成できます。 |

拡張MS-DOS領域を削除する場合は、論理MS-DOSドライブ→拡張MS-DOS領域の順に削除してください。また、領域を作成する場合は、基本MS-DOS領域→拡張MS-DOS領域→論理MS-DOSドライブの順で作成してください。

なお、FDISKコマンドで領域作成後、それぞれのドライブをフォーマットすると、ハードディスクが使えるようになります。フォーマットはFORMATコマンドで行います。本機では、カスタム再セットアップの画面から直接フォーマットが実行できるようになっています。

1. 領域を削除する

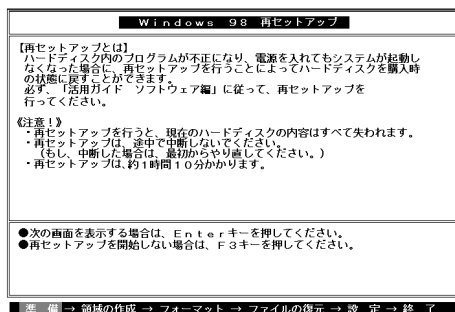
カスタム再セットアップを行うには、まず再セットアップするドライブの領域を削除する作業が必要です。

スーパーディスクドライブが搭載されているモデルをお使いの場合は、フロッピーディスクドライブをスーパーディスクと読み替えてください。

1 本機の電源を入れる

2 電源ランプがついたら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする

3 次の画面が表示されたら、【Enter】を押す



再セットアップにかかる時間はモデルによって異なりますので、この画面で確認してください。

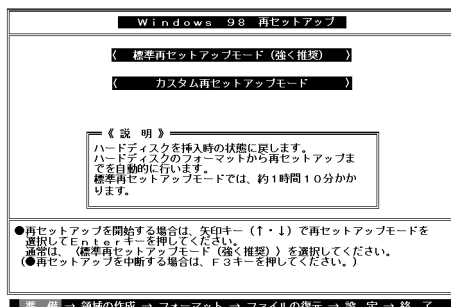
「システムインストールディスク」のセットが遅いと、この画面は表示されません。その場合は、ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

「Invalid system disk Replace the disk...」と表示された場合は、別のフロッピーディスクがセットされています。「システムインストールディスク(起動用)」をセットし直して、何かキーを押してください。

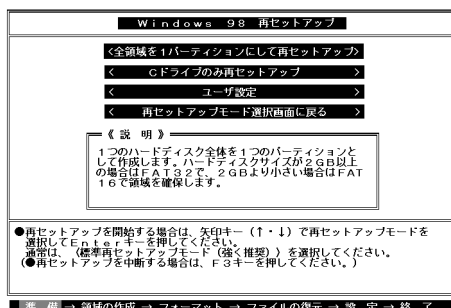
4 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする

5 「再セットアップの準備」の画面が表示されたら【Enter】を押す

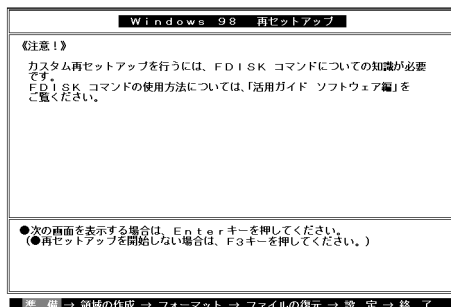
6 次の画面が表示されたら【↓】を1回押して「カスタム再セットアップモード」を選択し、【Enter】を押す



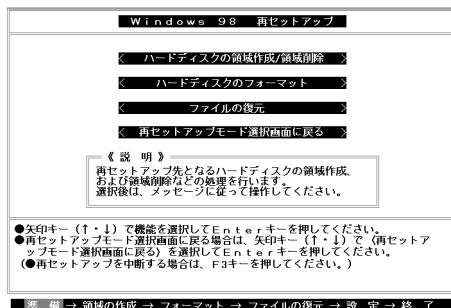
7 【↓】を2回押して「ユーザ設定」を選択し、【Enter】を押す



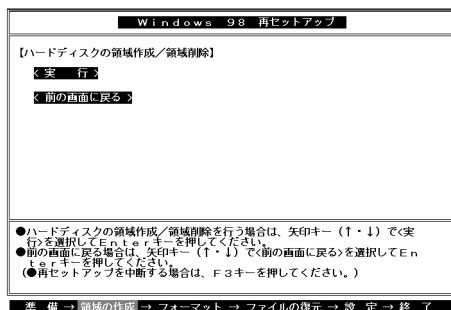
8 次の画面が表示されたら【Enter】を押す



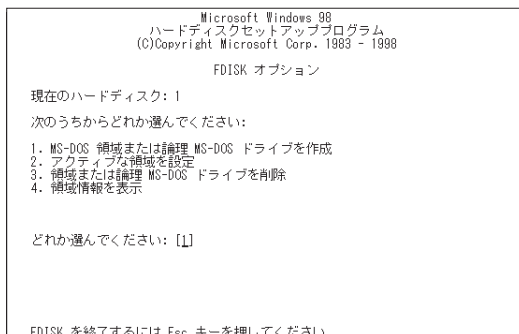
9 「ハードディスクの領域作成／領域削除」を選択し、[Enter]を押す



10 「実行」を選択し、[Enter]を押す



「FDISKオプション」の画面が表示されます。



ハードディスクに基本MS-DOS領域しかない場合は、「1-3.基本MS-DOS領域を削除する」(P.108)へ進んでください。削除したい論理MS-DOSドライブおよび拡張MS-DOS領域がある場合は、「1-1.論理MS-DOSドライブを削除する」に進んでください。

1-1.論理MS-DOSドライブを削除する

- 1 「3. 領域または論理MS-DOSドライブを削除」を選択し、【Enter】を押す
- 2 「3. 拡張MS-DOS領域内の論理MS-DOSドライブを削除」を選択し、【Enter】を押す
- 3 ドライブ一覧とともに「どのドライブを削除しますか」と表示されるので、削除するドライブを選択し(Dドライブの場合は【D】を押す)、【Enter】を押す
- 4 「ボリュームラベルを入力してください」と表示されるので、ボリュームラベルが付けられている場合は入力し、【Enter】を押す
入力する必要がない場合(削除する領域にボリュームラベルが付けられていない場合)は、そのまま【Enter】を押す

- 5 「よろしいですか(Y/N)」と表示されるので、[Y]を押し、[Enter]を押す
削除されたドライブのところに「ドライブを削除しました」と表示されます。
- 6 他に削除したいドライブがある場合、残りのドライブも同様に3～5の手順ですべて削除する
- 7 すべてのドライブが削除されると「拡張MS-DOS領域の論理ドライブはすべて削除されました」と表示されるので、[Esc]を押す
- 8 「論理ドライブは定義されていません。ドライブ名は変更または削除されました」と表示されるので、[Esc]を押す
FDISKオプションの画面が表示されます。

次に、「1-2.拡張MS-DOS領域を削除する」に進んでください。

1-2.拡張MS-DOS領域を削除する

- 1 「3. 領域または論理MS-DOSドライブを削除」を選択し、[Enter]を押す
- 2 「2. 拡張MS-DOS領域を削除」を選択し、[Enter]を押す
- 3 「削除した拡張MS-DOS領域データはなくなります。続けますか(Y/N)」と表示されたら、[Y]を押し、[Enter]を押す
- 4 「拡張MS-DOS領域を削除しました」と表示されたら、[Esc]を押す
FDISKオプションの画面が表示されます。

次に「1-3.基本MS-DOS領域を削除する」に進んでください。

1-3.基本MS-DOS領域を削除する

- 1 「3. 領域または論理MS-DOSドライブを削除」を選択し、【Enter】を押す
- 2 「1. 基本MS-DOS領域を削除」を選択し、【Enter】を押す
- 3 現在のハードディスクの状態とともに、「削除した基本MS-DOS領域のデータはなくなります。どの基本領域を削除しますか」と表示されるので、【1】を押して、【Enter】を押す
- 4 「ボリュームラベルを入力してください」と表示されたら、「WINDOWS98」と入力し(別のボリュームラベルの場合はその名前を入力、何もボリュームラベルが付けられていない場合は何も入力せずそのままの状態)、【Enter】を押す
- 5 「よろしいですか(Y/N)」と表示されたら、【Y】を押し、【Enter】を押す
- 6 「基本MS-DOS領域を削除しました」と表示されたら、【Esc】を押す
FDISKオプションの画面が表示されます。

次に「2.領域を作成する」に進んでください。

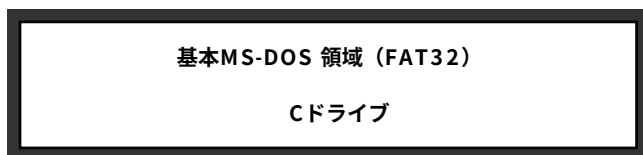
2. 領域を作成する

領域を削除したら、新しく領域を作成します。本機では次のようにして領域を作成します。

ハードディスクを基本MS-DOS領域と拡張MS-DOS領域に分け、さらに拡張MS-DOS領域を論理MS-DOS領域に分けます。このうち基本MS-DOS領域がCドライブ(Windows 98を起動するドライブ)になり、論理MS-DOS領域がDドライブ以降になります。

領域の分け方(1)

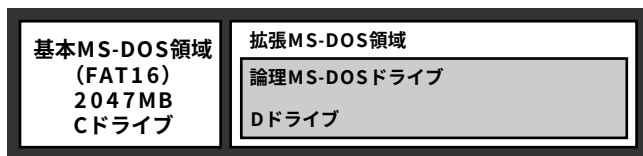
基本MS-DOS領域(FAT32)を最大サイズ作成



領域の分け方(2)

基本MS-DOS領域(FAT16)を最大サイズ(2047MB)作成

拡張MS-DOS領域を最大サイズ作成した後、論理MS-DOS領域も最大サイズ作成



領域の分け方(3)

基本MS-DOS領域を作成

拡張MS-DOS領域を最大サイズ作成した後、論理MS-DOS領域を複数作成



領域の削除は、論理MS-DOSドライブ→拡張MS-DOS領域→基本MS-DOS領域の順に削除してください。領域の作成は、逆に基本MS-DOS領域→拡張MS-DOS領域→論理MS-DOS領域の順で作成してください。

2-1.基本MS-DOS領域を作成する

- **必要なハードディスク容量について**
本機では基本MS-DOS領域にWindows 98やアプリケーションをインストールします。領域のサイズを指定して作成する場合は、1400MB以上の領域を作成してください。
- **基本MS-DOS領域の作成**
基本MS-DOS領域を最大に割り当てるかどうかで手順が違います。それぞれ該当する部分をお読みください。
 - 最大に割り当てる場合
→■ 基本MS-DOS領域を最大に割り当てる場合
 - 最大に割り当てないでサイズを指定する
→■ 基本MS-DOS領域をサイズを指定して割り当てる場合(P.111)

■ 基本MS-DOS領域を最大に割り当てる場合

- 1** 「1. MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成」を選択し、【Enter】を押す
- 2** 「どれか選んでください」と表示されるので、「1. 基本MS-DOS領域を作成」を選択し、【Enter】を押す
- 3** 「基本MS-DOS領域に使用できる最大サイズを割り当てますか（同時にその領域をアクティブにします）（Y/N）」と表示されるので、【Y】を押し、【Enter】を押す
- 4** 「変更を有効にするには、コンピュータを再起動してください」と表示されたら、【Esc】を押す
- 5** 「拡張MS-DOS領域を作成しますか」と表示されたら、「いいえ」を選択し、【Enter】を押す

Windows 98再セットアップの画面が表示されます。

「3.ドライブをフォーマットする」に進んでください。

■ 基本MS-DOS領域をサイズを指定して割り当てる場合

- 1 「1. MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成」を選択し、[Enter]を押す
- 2 「どれか選んでください」と表示されるので、「1. 基本MS-DOS領域を作成」を選択し、[Enter]を押す
- 3 「基本MS-DOS領域に使用できる最大サイズを割り当てますか(同時にその領域をアクティブにします) (Y/N)」と表示されるので、[N]を押し、[Enter]を押す
- 4 「領域サイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。基本MS-DOS領域を作ります」と表示されるので、数値を入力して[Enter]を押す

メモ

- ・すでに最大領域が入力された状態で表示されているので、そのまま[Enter]を押すと最大領域が作成されます。
- ・割合は全体に対する割合なので、モデルによって同じ%を指定しても作成される容量は異なります。

例：ハードディスクの容量が3Gバイトの場合	20%	約614Mバイト
ハードディスクの容量が4Gバイトの場合	20%	約819Mバイト

- ・2047MB以下の数値を入力した場合は、「このドライブはFAT32が標準設定になっています。FAT16に変更しますか(Y/N)?」と表示されるので、基本MS-DOS領域をFAT16にする場合は、[Y]を押し、[Enter]を押してください。(工場出荷には基本MS-DOS領域はFAT16に設定されています)また基本MS-DOS領域をFAT32にする場合は、「FAT32を使用する場合の注意」(P.130)の内容を確認しておいてください。

- 5 「基本MS-DOS領域を作成しました」と表示されたら、[Esc]を押す
FDISKオプションの画面が表示されます。

- 6 [2](アクティブな領域を設定)を押し、[Enter]を押す

7 「アクティブにしたい領域の番号を入力してください」と表示されるので、**[1]**を押し、**[Enter]**を押す

8 「領域1がアクティブになりました」と表示されたら、**[Esc]**を押す
FDISKオプションの画面が表示されます。

次に「2-2.拡張MS-DOS領域を作成する」に進んでください。

2-2.拡張MS-DOS領域を作成する

1 「1. MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成」を選択し、**[Enter]**を押す

2 「2. 拡張MS-DOS領域を作成」を選択し、**[Enter]**を押す

3 「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。拡張MS-DOS領域を作ります」と表示されるので、最大サイズが表示されていることを確認し、**[Enter]**を押す

4 「拡張MS-DOS領域を作成しました」と表示されるので、**[Esc]**を押す

次に「2-3.論理ドライブを割り当てる」に進んでください。

2-3. 論理ドライブを割り当てる

- 1 「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください」と表示されます。最大サイズを割り当てない場合は、数字を入力して【Enter】を押す
そのままの状態ですと、自動的に最大サイズが割り当てられます。

メモ

2047MB以下の数値を入力した場合は、「このドライブはFAT32が標準設定になっています。FAT16に変更しますか(Y/N)?」と表示されるので、論理MS-DOS領域をFAT16にする場合は、【Y】を押し、【Enter】を押してください。

作成されると、「論理MS-DOSドライブを作成しました。ドライブ名は変更または追加されました」と表示されます。

- 2 割り当てられていない拡張MS-DOS領域がまだ残っている場合は、拡張MS-DOS領域の残りがなくなるまで、手順1を繰り返して、すべての拡張MS-DOS領域を論理ドライブに割り当てる
すべての領域が割り当てられると、「拡張MS-DOS領域の使用可能な領域はすべて論理ドライブに割り当てられています」と表示されます。

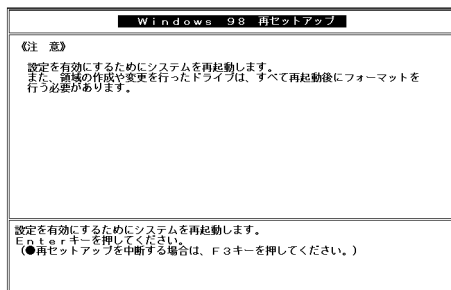
- 3 【Esc】を押して、もう一度【Esc】を押し、FDISKオプションの画面を終了する

メモ

FDISKオプションの画面の「4.領域情報を表示」で作成した領域を確認することができます。

- 4 「変更を有効にするにはコンピュータを再起動してください」と表示された場合は、【Esc】を押す

5 「設定を有効にするためにシステムを再起動します」と表示された場合は、[Enter]を押す



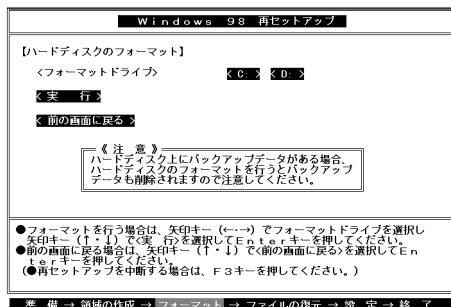
再起動後、Windows 98再セットアップの画面が表示されます。これで領域は作成されました。次に「3.ドライブをフォーマットする」に進んでください。

3.ドライブをフォーマットする

新しく作成した領域は、フォーマットする必要があります。

1 「ハードディスクのフォーマット」を選択し、[Enter]を押す

2 「C:」を選択し、[Enter]を押す



準備 → 領域の作成 → フォーマット → ファイルの復元 → 設定 → 終了

3 「注意:ドライブC:のハードディスクのデータはすべてなくなります。フォーマットしますか(Y/N)?」と表示されるので、[Y]を押し、[Enter]を押す

フォーマットが始まります。ドライブのサイズにもよりますが、5分ほどかかります。

フォーマットが終わると、「ボリュームラベルを入力してください。」と表示されます。

4 ボリュームラベル(ドライブの名前)が必要なときは、ボリュームラベルを入力して[Enter]を押す。必要がなければ[Enter]だけを押す

ボリュームラベルは、半角英数字で11文字まで、全角文字で5文字まで入力できます。(ボリュームラベルは、ドライブの名前です。「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」で表示されます。後で「マイコンピュータ」でドライブのアイコンを右クリックして「プロパティ」を選択すると全般シートで入力、変更することができます)

「Windows 98再セットアップ」の画面に戻ります。



チェック!!

新しく領域を作成したドライブは、すべて手順1~4を繰り返してフォーマットしてください(手順2のドライブ名は、[→]キーを押して選択してください)。



拡張MS-DOSドライブ領域が残っているにもかかわらずFDISKオプションを終了させてしまい、再度FDISKオプションを起動し論理MS-DOSドライブを作成した場合は、そのドライブは手順1の画面に表示されず、ここでフォーマットすることができません。またハードディスクを5つ以上に分割(Gドライブ以上作成)した場合も、これ以降のドライブ(G,H,I...)は手順1の画面に表示されず、ここでフォーマットすることはできません。

これらの場合については、「フォーマットできなかったハードディスクをフォーマットする」(P.118)をご覧ください。



チェック!!

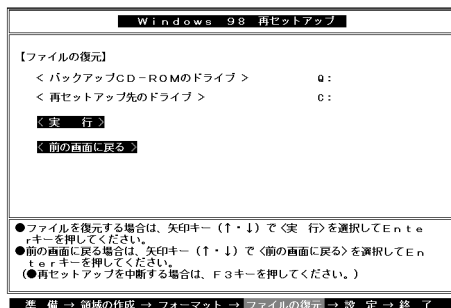
- ・領域を削除しなかったドライブはフォーマットしないでください。フォーマットすると、ドライブ内のすべてのデータが削除されます。
- ・システムインストールディスクはフロッピーディスクドライブから取り出さないでください。

次に「4.システムを再セットアップする」に進んでください。

4. システムを再セットアップする

1 「Windows 98再セットアップ」の画面で「ファイルの復元」を選択し、【Enter】を押す

次の画面が表示されます。



2 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする

3 【Enter】を押す

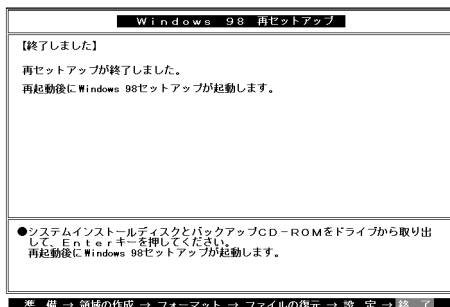
システムの再セットアップが始まります。機種、モデルによって異なりますが、約1時間10分かかります。途中でフロッピーディスクを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示に従って入れ替えてください。



チェック!!

- ・ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMやフロッピーディスクを取り出したり、電源スイッチを押したりしないでください。
- ・再セットアップ中に数回ビープ音が鳴りますが、問題ありません。

システムの再セットアップが終わると次の画面が表示されます。



4 フロッピーディスクドライブからシステムインストールディスクを取り出す

5 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

6 【Enter】を押す

Windows 98が再起動し、しばらくすると「Windows 98セットアップウィザード」の画面が表示されます。

これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。

「工場出荷時と同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「2.Windows 98の設定をする」(P.89)に進んで、その後の操作を行ってください。

フォーマットできなかったハードディスクをフォーマットする

拡張MS-DOSドライブ領域が残っているにもかかわらずFDISKオプションを終了させてしまい、再度FDISKオプションを起動し、論理MS-DOSドライブを作成した場合や、ハードディスクドライブを5つ以上分割した場合(Gドライブ以上作成)は、Gドライブ以降のドライブ(「6. ドライブをフォーマットする」でフォーマットできなかったドライブ)を次の手順によりフォーマットしてください。

- 1 本機の電源を入れる
- 2 「マイコンピュータ」をダブルクリック
- 3 「マイコンピュータ」の画面が表示されたら、フォーマットするハードディスクドライブ(G,H,I,...)のアイコンを右クリックし、表示されたメニューで「フォーマット」をクリック
- 4 「フォーマット」の画面が表示されたら、「通常のフォーマット」をクリック
- 5 「開始」ボタンをクリック
- 6 フォーマットの確認画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 7 「フォーマット結果」の画面が表示されたら、「閉じる」ボタンをクリック
- 8 スキャンディスクの実行を促す画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 9 「フォーマット」の画面の「閉じる」ボタンをクリック
- 10 ヘルプの内容に従ってスキャンディスクを実行する
フォーマットできなかったハードディスクドライブが他にもある場合は、手順3～10を繰り返してフォーマットしてください。

NetPCモデルを再セットアップする

NetPCモデルを再セットアップするには、別売の管理者FDドライブキット(PC-NF-U001)ならびに管理者用FDドライブキット接続ケーブル(PC-NF-U002)が必要です。

再セットアップする前の注意

- ・ 再セットアップの作業に入る前に、本機に添付されている次のCD-ROM、フロッピーディスク、マニュアルを用意してください。

「バックアップCD-ROM」

「アプリケーションCD-ROM」

「システムインストールディスク」

『Microsoft Windows 98 ファーストステップアップガイド』

また、「PC-NF-U001 管理者用FDドライブキット」(別売)に添付されている次のフロッピーディスクを用意してください。

「起動ディスク#1」

「起動ディスク#2」

「起動ディスク#3」

- ・ 本機とネットワークにて接続されたCD-ROMドライブを内蔵するコンピュータ(Windows NT 4.0、Windows NT Server 4.0、Windows NT 3.51、またはWindows NT Server 3.51のいずれかがインストールされたもの)が必要です。
- ・ フロッピーディスクドライブを本機に接続する際は、『PC-NF-U002管理者用FDドライブキット接続ケーブル取り扱いの手引き』を参照してください。
- ・ フロッピーディスクドライブ以外の別売の周辺装置は取り外してください。

『はじめにお読みください』をご覧の上、本機に添付されていた機器のみを接続した状態で再セットアップを行ってください。再セットアップ後、別売の周辺機器の接続を行ってください。

再セットアップの手順

再セットアップは次の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。

- 1 起動ディスクの環境を変更する
- 2 システムの設定を変更する
- 3 Windows 98を再セットアップする(約1時間10分)



再セットアップにかかる時間は、モデルによって異なります。それぞれ再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

- 4 Windows 98の設定をする(約20分)
- 5 システムの設定を元に戻す
- 6 選択アプリケーションのあるモデルの場合は、各アプリケーションを再セットアップする(約15分)
- 7 購入後に行った設定をやり直す



チェック!!

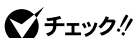
再セットアップは途中で中断しないでください。もし中断したときは、最初からやり直してください。

1. 起動ディスクの環境の変更

起動ディスクは、標準で次の設定が行われています。

IPアドレス : DHCPによる割り当て
 コンピュータ名 : NETFINE
 ドメイン : なし
 ユーザ名 : ADMINISTRATOR

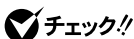
利用する環境に応じ、edit等のエディタを用いて、起動ディスクの環境ファイルを以下のように修正してください。



チェック!!

- ・起動ディスクは、あらかじめ複製を行い、複製したものを使用してください。
- ・ライトプロテクトをかけない状態でご使用ください。

1 「アプリケーションCD-ROM」の「\NDIS2」フォルダにあるファイルを「起動ディスク#1」に上書きコピーする



チェック!!

本機とネットワークにて接続するCD-ROMドライブを内蔵したコンピュータなど、CD-ROMドライブとフロッピーディスクドライブが利用できるコンピュータでコピーを行ってください。

例 CD-ROMドライブがQドライブ、フロッピーディスクドライブがAドライブの場合、MS-DOSプロンプトから次のように入力する

```
COPY Q:\NDIS2\E100B.DOS A:\LANMAN.DOS\DRIVERS\
ETHERNET\E100B
```

2 「起動ディスク#1」および「起動ディスク#2」の「AUTOEXEC.BAT」ファイルを次のように編集する

```
@ECHO OFF
rem A:\DMICHECK.EXE /SW=B,J,K,M,Y ← remを追加
rem IF ERRORLEVEL 1 GOTO NT40 ← remを追加
ADDDRV WIN95.DRV
:
:
```


3 「起動ディスク#1」および「起動ディスク#2」の「PROTOCOL.INI」ファイルの「IPアドレス」を次のように変更する

 **チェック!!** DHCPを利用する環境では、本項目を修正する必要はありません。

[TCPIP_XIF]

DISABLEDHCP=1

←DHCPによる割り当てを無効にします。

IPADDRESS0=10 0 0 1

←IPアドレスを指定します。
他のPCと競合しないように設定してください。

SUBNETMASK0=255 0 0 0

←サブネットマスクを指定します。

4 「起動ディスク#2」の「LANMAN.INI」ファイルの「コンピュータ名」を次のように変更する

[workstation]

computername=NETFINE

←コンピュータ名を指定します。他のPCと競合しないように設定してください。

5 「起動ディスク#2」の「AUTOEXEC.BAT」ファイルの「ドメイン名」「ユーザ名」を次のように変更する

 **チェック!!** ドメインにログオンしない場合は、ドメイン名にSTANDALONEを指定してください。

NET LOGON /D:domain user

←domainにはログオンするドメイン名、userにはユーザ名を指定します。

6 MS-DOSプロンプトから次のように入力して、「起動ディスク#3」の「ボリュームラベル」を次のように設定する

LABEL<フロッピーディスクドライブ>:939750631 【Enter】

7 「起動ディスク#3」の「sysrestv.ini」ファイルを次のように修正する

```
[Sysrest]
Title=Windows 98再セットアップ ← 修正

[VolumeLabel]
SystemInstallDisk=93975063 ← 修正
BackupCDROM=939750400 ← 修正
SetupDisk1=Windows 98 ← 修正
```

8 「起動ディスク#3」のルートディレクトリにあるupdateディレクトリを削除する

9 「システムインストールディスク(起動用)」のルートディレクトリにあるupdateディレクトリを「起動ディスク#3」にコピーする

10 「システムインストールディスク(起動用)」のルートディレクトリにある次のファイルを「起動ディスク#3」のルートディレクトリに上書きコピーする

```
update.dat
sysrestv.gid
han2zen.bat
addatt.bat
check.exe
msdos.old
expand.exe
```

11 「システムインストールディスク(起動用)」のルートディレクトリにある「M64STACK.SYS」ファイルを「起動ディスク#1」のルートディレクトリにコピーする

12 「起動ディスク#1」のルートディレクトリにある「CONFIG.SYS」ファイルを次のように修正する

```
device=m64stack.sys ← 最後の行に追加
```

以上で「1.起動ディスクの環境の変更」は終了です。
次に「2.システムの設定を変更する」に進んでください。

2. システムの設定を変更する

- 1 本機の電源を入れる
- 2 「NEC」のロゴの表示画面で「〈F2〉:BIOSセットアップメニューを起動します、〈F12〉:ネットワークブートします。」と表示されたら、[F2]を押してBIOSセットアップメニューを起動する
- 3 メニューバーの「メイン」で次のように設定する
 - ・ フロッピーディスクA:1.44/1.25Mb 3.5"
- 4 メニューバーの「起動」で下記のように設定する
 1. [取り外し可能デバイス]
 2. [ハードディスク]
 3. [ネットワークブート]
 4. [ATAPI CD-ROM ドライブ]
- 5 メニューバーの「終了」で「変更を保存して終了する」を選択し、BIOSセットアップメニューを終了させて、本機の電源を切る

以上で「2.システムの設定を変更する」は終了です。

次に「3.Windows 98を再セットアップする」に進んでください。

3. Windows 98を再セットアップする

✓ **チェック!!** あらかじめ、ネットワークコンピュータのCD-ROMドライブを共有化してください。

- 1 「起動ディスク#1」をフロッピーディスクドライブにセットし、電源を入れる
- 2 「ディスク2に交換してください。」と表示されたら、「起動ディスク#2」をセットし、何かキーを押す
- 3 「ユーザ名」を入力する
- 4 「パスワード」を入力する
- 5 次のように入力する

NET USE Q: \\<ネットワークコンピュータ名>
\\<ネットワークコンピュータのCD-ROMドライブ共有名>
【Enter】

✓ **チェック!!** ドライブ名は必ずQ:と指定してください。共有するドライブ名はネットワークコンピュータ側が指定した共有ドライブ名を入力してください。

6 コマンドプロンプトから次のように入力し、ハードディスクの領域を削除した後、領域を作成する

FDISK[Enter]

FDISK使用法は「ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする(カスタム再セットアップ)」(P.100)をご覧ください。



チェック!!

- ・ここで必ずハードディスクの領域の削除と作成を行ってください。行わない場合、以降の処理が正常に実行されません。
- ・FAT32ファイルシステムのドライブを削除する時は「4.非MS-DOS領域を削除する」を選択してください。
- ・Cドライブ(再セットアップするドライブ)の状態がアクティブになっていることを確認してください。アクティブになっていない場合はFDISKにてアクティブにした後、以降の手順を行ってください。
- ・Windows 98を再セットアップするドライブは、1GB以上の容量が必要です。

7 領域の確保後、「ドライブAにMS-DOSのシステムディスクを入れてください」というメッセージが表示されたら、「起動ディスク#1」をフロッピーディスクドライブにセットし、何かキーを押す

8 「ディスク2に交換してください。」と表示されたら、「起動ディスク#2」をフロッピーディスクドライブにセットし、何かキーを押す

9 「ユーザ名」を入力する

10 「パスワード」を入力する

11 「起動ディスク#3」をフロッピーディスクドライブにセットし、「バックアップCD-ROM」をネットワークコンピュータのCD-ROMドライブ(共有したドライブ)にセットする

12 コマンドプロンプトから次のように入力する

SYSRESTV[Enter]

自動でハードディスクのフォーマット、ファイルの復元が実行されます。

13 「再セットアップが終了しました」というメッセージが表示されたら、「システムインストールディスク」をフロッピーディスクドライブにセットし、[Enter]を押す

14 画面の指示に従いフロッピーディスクを入れ替える

✔チェック! 「システムインストールディスク(起動用)をセットし…」と表示されたら、「起動ディスク#3」をセットしてください。

15 セットアップ終了の画面が表示されたら、「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットしてから再起動する

✔チェック! 再起動時に「有効なCD-ROMデバイスが選択されていません。」というメッセージが表示されますが、問題はありません。

16 「再セットアップとは」の画面が表示されたら、[F3]を押して再セットアップを中止し、コマンドプロンプトから次のように入力する

SYS C:[Enter]

17 「違うバージョンのMS-DOSまたはWINDOWSからシステムファイルを上書きしようとしています。……続行してよろしいですか?」というメッセージが表示されたら、[Y]を押す

18 コマンドプロンプトから次のように入力する

UPDNC[Enter]

19 フロッピーディスクを取り出し、電源スイッチをON/OFFしてシステムを再起動する

システムが起動し、「Windows 98セットアップウィザード」の画面が表示されます。

以上で、「3.Windows 98を再セットアップする」は終了です。
次に「4.Windows 98の設定をする」に進んでください。

4. Windows 98の設定をする

1 「ユーザー情報」の画面が表示されたら、本機を使う人の名前と会社名を入力する

2 入力が終わったら「次へ」ボタンをクリック

3 画面に表示される「使用許諾契約書」を確認する

4 内容に同意する場合は「同意する」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

「同意しない」をクリックすると、セットアップが中止になるようなメッセージが表示されます。中止したときは、再セットアップをもう一度最初からやり直してください。

5 プロダクト キーを入力する

プロダクト キーは『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』の表紙に記載されています。

6 「次へ」ボタンをクリック

7 「ウィザードの開始」の画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

しばらくするとWindowsのデスクトップ画面が表示されます。

8 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック

9 「電源を切れる状態にする」を選択し、「OK」ボタンをクリック

以上で、「4.Windows 98の設定をする」は終了です。
次に「5.システムの設定を元に戻す」に進んでください。

5. システムの設定を元に戻す

- 1 電源を入れる
- 2 「NEC」のロゴの表示画面で「〈F2〉:BIOSセットアップメニューを起動します、〈F12〉:ネットワークブートします。」と表示されたら、[F2]を押してBIOSセットアップメニューを起動する
- 3 メニューバーの「メイン」で次のように設定する
フロッピーディスクA: 使用しない
- 4 メニューバーの「起動」で「取り外し可能デバイス」を選択し、[-]を押してリストの上から4番目に移動する
- 5 メニューバーの「終了」で「変更を保存して終了する」を選択し、BIOSセットアップメニューを終了させて、本機の電源を切る
- 6 フロッピーディスクドライブを取り外す

6. アプリケーションを再セットアップする(選択アプリケーションのあるモデルのみ)

各アプリケーションを再セットアップしてください。

再セットアップ方法は「PART1 アプリケーションの概要と削除 / 追加」の「追加」をご覧ください。

7. 購入後に行った設定をやり直す

購入後に行った設定は、再セットアップによってすべてなくなっているので、設定し直してください。

別売の周辺機器がある場合は接続して設定し直してください。ネットワークの設定なども再設定してください。また、別売のアプリケーションをインストールしていた場合もインストールし直してください。



FAT32ファイルシステムの利用

本機にインストールされているWindows 98では、FAT32ファイルシステムをサポートしています。ここでは、FAT32ファイルシステムの概要や設定方法について説明します。

FAT32ファイルシステムについて

FAT(File Allocation Table)ファイルシステム(以降、FAT16)は、MS-DOSや従来のWindowsで使用されている基本的なファイルシステムです。FAT32ファイルシステム(以降、FAT32)はFAT16を拡張したファイルシステムで、次のような特徴があります。

- ・ FAT16では、2GBの容量を超える領域を扱えませんでしたでしたが、FAT32では理論上2TB(2,047GB)の容量まで扱えます。

FAT32を使用する場合の注意

本機の工場出荷時のハードディスクの基本MS-DOS領域はFAT16です。通常は、FAT16のまま使用してください。FAT32を使用する場合は、「Windows」フォルダのgeneral.txtと次の注意事項を確認してご使用ください。

- ・ ハードディスクにインストールされた他のOS(Windows NT 4.0 Workstationなど)からは、アクセスできません。
- ・ ご使用になっている別売のソフトウェアによっては正しく動作しない場合があります。
- ・ スキャンディスク、バックアップ、およびデフラグなど、「システムツール」グループにあるディスク管理ツールはFAT32に対応しています。ただし、「ドライブスペース」でFAT32のドライブを圧縮できません。
- ・ FAT16に戻すためには、再セットアップする必要があります。

FAT32の設定方法

FAT32を利用するには、「FDISKコマンド」を使用して領域を作成、または「ドライブコンバータ(FAT32)」を使用して領域を変換します。「FDISKコマンド」は、ハードディスクに領域を作成したり、削除したりするプログラムです。「ドライブコンバータ(FAT32)」はFAT16ファイルシステムのハードディスクをFAT32ファイルシステムに変換します。



チェック!!

領域を削除すると、お客様がセットアップしたシステムやアプリケーション、データファイルもすべて削除されます。大切なデータやファイルがある場合には、必ずフロッピーディスクなどの別の媒体に保存してください。

「FDISKコマンド」での設定

1 本機をMS-DOSモードで再起動する

2 以下のように入力する

FDISK /X[Enter]

ハードディスクの容量が512MB以上の場合は、大容量ディスクのサポートを行うかどうかを確認する、次のようなメッセージが表示されます。

512MB以上のディスクがあります。このバージョンのWindowsでは、大容量のディスクのサポートが強化され、ディスク領域を有効に使えるようになりました。2 GB以上のドライブを1つのドライブとしてフォーマットできます。

重要：大容量ディスクのサポートを使用可能にして、このディスクに新しいドライブを作成した場合、ほかのオペレーティングシステムを使ってこの新しいドライブにアクセスすることはできません（Windows95とWindows NTの特定のバージョン、以前のバージョンのWindowsとMS-DOSを含む）。また、FAT32ファイルシステム用に設計されていないディスクユーティリティは、正常に動作しません。このディスクでほかのオペレーティングシステムや以前のディスクユーティリティにアクセスする必要がある場合、大容量ドライブのサポートはしないでください。

大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか (Y/N) ?[Y]

3 【Enter】を押す

メ モ

領域（ただし、512MB以上の領域）を作成すると、その領域にはFAT32が適用されます。

4 Windowsを再起動する

ドライブをフォーマットすると、領域が利用できるようになります。

「ドライブコンバータ(FAT32)」での設定

ドライブをFAT32ファイルシステムに変換する手順は、『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』または、Windows 98のヘルプの中にあるオンライン形式の『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』「第5章 高度な機能」の「FAT32ファイルシステムを使う」をご覧ください。



チェック!!

- ・ドライブコンバータを使う前に、Windows 98のヘルプにある「ドライブコンバータ(FAT32)を使う」をよくお読みください。
- ・ドライブコンバータを使う前に、コンベシヨナルメモリ空間を確保するため、「CONFIG.SYS」や「AUTOEXEC.BAT」に追加したドライバを無効してから、実施してください。

3

他のOSを利用する

この章の読み方

利用するOSの先頭ページから順番にお読みください。

MA40H/Sをお使いの方は、『本機をお使いの方へ』と合わせてお読みください。

この章の内容

Windows 98でMS-DOSモードを利用する	134
Windows NT 4.0を利用する	140



Windows 98でMS-DOSモードを利用する

Windows 98のMS-DOSモードを利用するときの注意事項を説明しています。

MS-DOSモードを利用する

本機は、MS-DOSプロンプトで動作しないMS-DOSアプリケーションを利用するために、MS-DOSモードで起動することができます。



チェック!!

プログラムによっては、MS-DOSモードおよびMS-DOSプロンプトでは利用できないものがあります。特にPC-9800シリーズ対応のアプリケーションの多くは動作しません。ご使用のアプリケーションが利用できるかについてはアプリケーションの製造元にお問い合わせください。

本機をMS-DOSモードで再起動する

MS-DOSモードを利用する方法は以下の2種類があります。

■ Windows 98起動時のMS-DOSモード

- 1 本体の電源を入れる
- 2 「NEC」のロゴの画面で「<F2>:BIOSセットアップメニューを起動します、<F12>:ネットワークブートします。」と表示されたら、すぐに【Ctrl】を「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されるまで押し続ける
- 3 「5. Command Prompt only」を選択し、【Enter】を押す
MS-DOSモードが起動します。

■ Windows 98終了後のMS-DOSモード

- 1 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック
- 2 「MS-DOSモードで再起動する」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
MS-DOSモードが起動します。

MS-DOSモードを終了する

■ Windows 98起動時にMS-DOSモードで起動した場合

1 電源ボタンを押す

■ Windows 98終了後にMS-DOSモードで起動した場合

1 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する EXIT[Enter]

Windows 98が再起動します。

◆ 用語 MS-DOSモードとMS-DOSプロンプトの違い

MS-DOSを利用するには、「MS-DOSモード」と「MS-DOSプロンプト」とがあります。

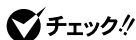
「MS-DOSモード」は、MS-DOSで起動したときと同じような環境になるため、他のアプリケーションと一緒に使うことはできません。

「MS-DOSプロンプト」は、MS-DOSをWindows 98上でマルチタスクのアプリケーションとして使用できるようにしたものです。

「MS-DOSプロンプト」を利用するには、次のように操作します。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリック

「MS-DOSプロンプト」画面が表示されます。なお、コマンドやアプリケーションによっては、「MS-DOSモード」もしくは「MS-DOSプロンプト」からは使用できないものもあります。



チェック!!

- MS-DOSの通信アプリケーションは、「MS-DOSプロンプト」をフルスクリーン表示にして実行してください。
- Windows 98のスクリーンセーバを設定し、フルスクリーン表示のMS-DOSプロンプトで、マウス操作のみを行っている場合、Windows 98のスクリーンセーバが動作する場合があります。

この場合は、次の手順でスクリーンセーバが動作しないように設定してください。

- ①[Alt]を押しながら[Enter]を押して、フルスクリーン表示からウィンドウ表示に切り替える
- ②[Alt]を押しながらスペースキーを押して、MS-DOSプロンプトのメニューを表示させる

- ③メニューから「プロパティ」を選択する
- ④「MS-DOSプロンプトのプロパティ」の画面が表示されたら、「その他」タブをクリック
- ⑤「ウィンドウがアクティブな場合」の「スクリーンセーバーを使用する」のチェックを外し、「OK」ボタンをクリック
- ⑥【Alt】を押しながら【Enter】を押して、ウィンドウ表示からフルスクリーン表示に切り替える

CD-ROMドライバ(本機内蔵CD-ROMドライブ)

本機は、工場出荷時の状態では、MS-DOSモードでCD-ROMドライブを使用することはできません。MS-DOSモードで本機内蔵のCD-ROMドライブを使用する場合は、次の手順が必要です。

現在のMS-DOS設定を使う場合

現在のMS-DOS設定を使う場合、MS-DOSモード上でCD-ROMドライブを使用するには、次の手順で行ってください。

- 1 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック
- 2 「MS-DOSモードで再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリック
本機がMS-DOSモードで再起動します。
- 3 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する
SETCD /A[Enter]
CD-ROMドライバがCONFIG.SYS、DOSSTART.BATに追加されSETCD実行前のCONFIG.SYS、DOSSTART.BATは拡張子SCDとして保存されます。
- 4 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する
EXIT[Enter]
Windowsが再起動します。
- 5 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック

- 6 「再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリック
Windowsを再起動します。
- 7 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック
- 8 「MS-DOSモードで再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリック
MS-DOSモードが起動し、CD-ROMドライブがQドライブにアサインされます。

新しいMS-DOS設定を指定する場合

新しいMS-DOS設定を指定する場合、MS-DOSモード上でCD-ROMドライブを使用するには、次の手順で行ってください。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリック
- 2 CドライブのWindowsディレクトリの「COMMAND.COM」をクリック
プログラム名が反転表示されます。
- 3 「エクスプローラ」の「ファイル」メニューから「プロパティ」をクリック
- 4 「プロパティ」の画面が表示されたら、「プログラム」タブをクリックし、「詳細設定」ボタンをクリック
- 5 「プログラムの詳細設定」の画面が表示されたら、「MS-DOSモード」をクリックし、「新しいMS-DOS設定を指定する」チェックボックスにチェックを付ける
CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの内容が編集できるようになります。
- 6 「OK」ボタンをクリック
- 7 「OK」ボタンをクリック

8 「エクスプローラ」で新しいMS-DOS設定を指定したプログラムをダブルクリック

MS-DOSモードが起動します。

9 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

SETCD /A[Enter]

CD-ROMドライバがCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATに追加され、SETCD実行前のCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATは拡張子SCDとして保存されます。

10 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

EXIT[Enter]

Windowsが再起動します。

11 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリック

12 「エクスプローラ」で新しいMS-DOS設定したプログラムをダブルクリックする

MS-DOSモードが起動し、CD-ROMドライブがQドライブにアサインされます。

サウンド機能

MS-DOSモードのサウンド機能は、工場出荷時の設定では有効になっていません。

MS-DOSモードにおいて、サウンド機能を使用する場合は、次の設定方法に従って設定を行ってください。

なお、Windows 98の「MS-DOSプロンプト」ではサウンド機能は使用できません。

設定方法

「c:\autoexec.bat」および「c:\windows\dosstart.bat」の2つのファイルの最後に、次の3行を追加してください。

<追加内容>

```
@copy c:\ds-xg\dos4gw.exe >NUL
```

```
@c:\ds-xg\setupds.exe /s >NUL
```

```
@del dos4gw.exe >NUL
```

追加には、メモ帳、ワードパッド等のエディタを使用してください。
エディタの使用方法については、エディタのヘルプを参照してください。



Windows NT 4.0を利用する

本機で別売のWindows NT Workstation 4.0やWindows NT Server 4.0 (以下、Windows NT 4.0)を利用する場合のセットアップ手順およびアップデート手順について説明します。ただし、NetPCモデルは、Windows NT Workstationのみ利用できます。

ここでの説明では次のようなドライブ構成を想定しています。異なるドライブ構成で利用する場合は、ドライブ番号を読み替えてください。

- Cドライブ : Windows 98がインストールされているドライブ
およびWindows NT 4.0をインストールするドライブ
- Aドライブ : フロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブ
- Qドライブ : CD-ROMドライブ

Windows NT 4.0をセットアップする前に

セットアップする前の注意

- NetPCモデルでフロッピーディスクを使用する場合には、別売りの管理者用FDドライブキット(PC-NF-U001)ならびに管理者用FDドライブ接続ケーブル(PC-NF-U002)が必要です。
- NetPCモデルでCD-ROMをご使用になる場合は、あらかじめ本機と同じネットワーク上にある任意のコンピュータのCD-ROMドライブをネットワークドライブに割り当ててください。その際、Windows NT Workstation 4.0、Windows NT Server 4.0、Windows NT Workstation 3.51 または Windows NT Server 3.51のいずれかがインストールされたコンピュータをご使用ください。
- データをバックアップしてください。
ご自分で作成されたデータはセットアップによってすべて消去されます。セットアップを始める前に、必ずバックアップをとってください。
- 別売の周辺機器を取り外し、本機を購入した時の構成に戻してください。『はじめにお読みください』をご覧の上、本機に添付されていた機器のみを接続した状態でセットアップを行ってください。NetPCモデルの場合は、フロッピーディスクドライブが必要です。セットアップ後、別売の周辺機器の接続を行ってください。

- ・ セットアップは途中でやめないでください。
セットアップを始めたら、本書の手順通りに最後まで行ってください。
途中でやめた場合は、最初からセットアップを行ってください。
- ・ 別売のアプリケーションもセットアップ完了後にインストールを行ってください。
別売のアプリケーションもセットアップによってすべて消去されます。セットアップがすべて完了してから、インストールを行ってください。
- ・ 「アプリケーションCD-ROM」の\NT40ディレクトリに、Windows NTの補足事項を記述した「README.TXT」があります。セットアップを行う前に必ずお読みください。
- ・ セットアップを始める前に後述の「本機でWindows NT 4.0を利用するときの注意」(P.172)もご覧ください。
- ・ Windows NTをご使用になる場合には、2000年問題対応が必要になります。NECのインターネットのホームページ「98Information」で、コンピュータの2000年問題対応について、情報を提供していますので、セットアップ後に必ず次のアドレスにアクセスし、Windows NTの2000年問題対応の情報および修正プログラムを入手して適用してください。

<http://www.nec.co.jp/98/>

準備

セットアップを開始する前に、次のものを準備してください。

- ・ フロッピーディスク
 - ・ 1.44Mバイトでフォーマットしてください。
 - ・ フォーマット時にシステムの転送は行わないでください。

〈Mate NXの場合〉→4枚

〈Mate NX Rの場合〉→2枚

- ・ 次の内容を書いたラベルを貼っておいてください。

〈Mate NXの場合〉

「Windows NT4.0アップデートディスク1～3」

「システム修復ディスク」

〈Mate NX Rの場合〉

「Windows NT4.0アップデートディスク1」

「システム修復ディスク」

- ・ アプリケーションCD-ROM
- ・ Windows NT Workstation 4.0の場合

「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1,Disc2」(別売)(以下「Windows NT CD-ROM」)

「Windows NT Workstation Setup Disk1～Disk3」(別売)(以下「Windows NT Setup Disk」)

- ・ Windows NT Server 4.0の場合

「Windows NT Server CD-ROM Disc1,Disc2」(別売)(以下「Windows NT CD-ROM」)

「Windows NT Server Setup Disk1～Disk3」(別売)(以下「Windows NT Setup Disk」)

- NetPCモデルの場合
「管理者用FDドライブキット(PC-NF-U001)」(別売)に添付されている次のフロッピーディスク

「起動ディスク#1」

「起動ディスク#2」

「システムインストールディスク(起動用)」(本機添付)

- 「サービスパック4」をダウンロードする
セットアップの途中で「サービスパック4」をインストールする手順があります。「サービスパック4」をあらかじめ入手してください。以下のアドレスに「サービスパック4」に関しての情報および入手方法が記載されています。
<http://www.microsoft.com/japan/products/ntupdate/NT4SP4/default.htm>

手順

次の手順で、本機にWindows NT 4.0をセットアップし、アップデートを行います。
必ず、ここに書いてある手順通りにセットアップ、アップデートを行ってください。

- 「Windows NT 4.0アップデートディスク」の作成
- システム設定の変更
- スーパーディスクドライブ搭載モデルの設定
- NetPCモデルの設定
- Windows NT 4.0のセットアップ
- NetPCモデルでWindows NTをセットアップする
- ネットワークドライブの設定(NetPCモデルのみ)
- USB接続のキーボードドライバのセットアップ
- ドライバのコピー
- ドライバのアップデート
- サービス パック 4のインストール
- 液晶ディスプレイ調整ツールのセットアップ
- 内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ
- 内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ
- 内蔵FAXモデムボードのセットアップ

- ・ スーパーディスク3モードドライブ対応ドライバと専用フォーマットユーティリティのセットアップ
- ・ Intel® Streaming SIMD Extensions Driverのセットアップ

 **チェック!** ドライバのコピー、アップデート、セットアップを行う場合はAdministrator権限を持ったユーザが行ってください。
本機にログオンしているお客様のアカウントがAdministrator権限を持っているかわからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
Administrator権限とは、コンピュータの全体的な構成を管理するための管理者権限のことです。

「Windows NT 4.0アップデートディスク」の作成

次の手順で「Windows NT 4.0アップデートディスク」を作成します。

 **チェック!** NetPCモデルの場合は、本機とネットワークにて接続するCD-ROMドライブを内蔵したコンピュータなど、CD-ROMドライブとフロッピーディスクドライブが利用できるコンピュータでコピーを行ってください。

1 内蔵ハードディスクからWindows 98を起動する

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリック

3 「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブに、「Windows NT 4.0アップデートディスク1」をフロッピーディスクドライブにセットする

あらかじめ用意しておいたフロッピーディスクのうち、「Windows NT 4.0アップデートディスク1」というラベルを貼ったものです。

4 フロッピーディスクにファイルをコピーする
コマンドプロンプトから次のように入力します。

 **チェック!** CDNTUPの後のフロッピーディスクドライブ名にコロン「:」を付けないでください。

Q:[Enter]
CD\NT40[Enter]
CDNTUP A[Enter]

後は画面の指示に従って「Windows NT4.0アップデートディスク」の作成を行ってください。

次に「システム設定の変更」へ進んでください。

システム設定の変更

■ Mate NXの場合

BIOSセットアップメニューで、次のようにシステム設定を変更してください。

1 本機の電源を入れる

2 「NEC」のロゴの画面で「<F2>:BIOSセットアップメニュー セットアップを起動します、<F12>:ネットワークブートします。」と表示されたら、【F2】を押して「BIOSセットアップメニュー」を起動させる

3 メニューバーの「詳細」で次のように設定する



チェック!!

MA40H/S、MA55J/C、MA50J/C、MA45J/C、MA40H/C、MA40H/Lの場合は、シリアルポートBをサポートしていませんので、設定する必要がありません。

- ・ プラグ&プレイOS : いいえ
- ・ 周辺機器設定
 - シリアルポートA : 使用する
 - シリアルポートB : 使用する
 - パラレルポート : 使用する

4 メニューバーの「省電力管理」で次のように設定する 入力装置によるレジューム : オフ



チェック!!

PS/2 109キーボードをお使いの場合は「メイン」メニューで次のように設定してください。

- ・ キーボード機能
 - USBレガシー機能 : 使用しない

5 メニューバーの「終了」の「変更を保存して終了する」でBIOS セットアップメニューを終了 自動的に再起動します。

次にスーパーディスクドライブ搭載モデルをお使いの方は、「スーパーディスクドライブ搭載モデルの設定」(P.147)に、NetPCモデルをお使いの方は、「NetPCモデルの設定」(P.148)に、それ以外のモデルをお使いの方は、「Windows NT4.0のセットアップ」(P.151)へ進んでください。

■ Mate NX Rの場合

BIOSセットアップメニューで、次のようにシステム設定を変更してください。

- 1 本機の電源を入れる
- 2 「NEC」のロゴの画面で、【F2】を押して「BIOSセットアップメニュー」を起動させる
- 3 メニューバーの「Advanced」の「Plug and Play Setup」の「Plug and Play Aware O/S」が「No」になっていることを確認して、【Esc】を押す
Mate NX RでWindows NT 4.0を利用する場合、サスペンド／レジューム機能は使用できません。次の設定を行ってください。
- 4 メニューバーの「Advanced」の「Power Management Setup」の「Power Management/APM」を「Disabled」にし、【Enter】を押す
- 5 メニューバーの「Exit」の「Exit Saving Changes」を選択し、【Enter】を押す
- 6 「Save current setting and exit」のダイアログボックスが表示されたら、【Enter】を押す
自動的に再起動します。
次に「Windows NT 4.0のセットアップ」へ進んでください。

スーパーディスクドライブ搭載モデルの設定

スーパーディスクドライブでは、「Windows NT Setup Disk」(フロッピーディスク)を使ったセットアップは行えません。

スーパーディスクドライブ搭載モデルをご利用の場合は、「Windows NT CD-ROM Disc」(CD-ROM)だけを使ってWindows NTのセットアップを行う必要があります。

BIOSセットアップメニューを以下のように設定することによってCD-ROMからのWindows NTのセットアップが可能になります。

- 1 本機の電源を入れる
- 2 「NEC」ロゴの画面で「<F2>:BIOSセットアップメニューを起動します、<F12>:ネットワークブートします。」と表示されたら、[F2]を押す
- 3 メニューバーの「起動」で、「ATAPI CD-ROMドライブ」を[+] [-]で起動デバイスの「1」に移動する
この設定は、デバイスの起動順位を設定するものです。Windows NTのセットアップ後は元に戻してください。
- 4 メニューバーの「メイン」の「フロッピーディスクA:」およびメニューバーの「詳細」の「周辺機器設定」の「フロッピーディスクコントローラー」が「使用しない」になっていることを確認する
「使用しない」以外になっている場合は、[+][-]で「使用しない」を選択する
- 5 メニューバーの「終了」で「変更を保存して終了する」を選択し、[Enter]を押す
- 6 「はい」を選択し、[Enter]を押す
BIOSセットアップメニューの終了後、Windows NTのセットアップがCD-ROMドライブから行えます。

「Windows NT 4.0のセットアップ」(P.151)に進んでください。

NetPCモデルの設定

NetPCモデルの場合は、セットアップする前に起動ディスクの環境の変更とシステム設定を変更する必要があります。

■ 起動ディスクの環境の変更

✓ **チェック!!** 起動ディスクは、あらかじめ複製を行ない、複製したものを使用してください。また、ライトプロテクトをかけない状態でご使用ください。

起動ディスクは、標準で次の設定が行われています。

IPアドレス : DHCPによる割り当て
コンピュータ名 : NETFINE
ドメイン : なし
ユーザ名 : ADMINISTRATOR

利用する環境に応じ、edit等のエディタを用いて、起動ディスクの環境ファイルを以下のように修正してください。

✓ **チェック!!** できる限りドメインにログオンする設定にしてください。また、Administrator権限を持つユーザでログオンしてください。

1 「アプリケーションCD-ROM」の「\NDIS2」フォルダにあるファイルを「起動ディスク#1」に上書きコピーする

✓ **チェック!!** 本機とネットワークにて接続するCD-ROMドライブを内蔵したコンピュータなど、CD-ROMドライブとフロッピーディスクドライブが利用できるコンピュータでコピーを行ってください。

例 CD-ROMドライブがQドライブ、フロッピーディスクドライブがAドライブの場合、MS-DOSプロンプトから次のように入力する

COPI Q:\NDIS2\E100B.DOS A:\LANMAN.DOS\DRIVERS\ETHERNET\E100B

2 「起動ディスク#1」および「起動ディスク#2」の「AUTOEXEC.BATファイル」を次のように編集する

AUTOEXEC.BAT

@ECHO OFF

rem A:\DMICHECK.EXE /SW=B,J,K,M,Y ← remを追加

rem IF ERRORLEVEL 1 GOTO NT40 ← remを追加

rem ADDDRV WIN95.DRV ← remを追加

:
:
:

3 「起動ディスク#1」および「起動ディスク#2」の「PROTOCOL.INI」ファイルの「IPアドレス」を次のように変更する

 **チェック!!** DHCPを利用する環境では、本項目を修正する必要はありません。

[TCP/IP_XIF]

DISABLEDHCP = 1

← DHCPによる割り当てを無効にします。

IPADDRESS0 = 10 0 0 1

← IPアドレスを指定します。他のPCと競合しないように設定してください。

SUBNETMASK0 = 255 0 0 0

← サブネットマスクを指定します。

4 「起動ディスク#2」の「LANMAN.INI」ファイルの「コンピュータ名・ユーザ名」を次のように変更する

[workstation]

computername = NETFINE

コンピュータ名を指定します。他のPCと競合しないように設定してください。

5 「起動ディスク#2」の「AUTOEXEC.BAT」ファイルの「ドメイン名」「ユーザ名」を次のように変更する

 **チェック!!** ドメインにログオンしない場合は、ドメイン名にSTANDALONEを指定してください。

NET LOGON /D:domain user

domainにはログオンするドメイン名、userにはユーザ名を指定します。

6 「システムインストールディスク(起動用)」のルートディレクトリにある「M64STACK.SYS」ファイルを「起動ディスク#1」のルートディレクトリにコピーする

7 「起動ディスク#1」のルートディレクトリにある「CONFIG.SYS」ファイルを次のように修正する

device=m64stack.sys ← 最後の行に追加してください。

以上で起動ディスクの環境の変更は終了です。

次に「■ システムの設定を変更する」に進んでください。

■ システムの設定を変更する

BIOSの設定を以下のように設定してください。

Windows NTのセットアップ後、元に戻す必要があります。現在の設定を控えておいてください。

1 本機の電源を入れる

2 「NEC」のロゴの表示画面で「<F2>:BIOSセットアップメニューを起動します、<F12>:ネットワークブートします。」と表示されたら、[F2]を押す

3 メニューバーの「メイン」で次のように設定する

フロッピーディスク A:1.44/1.25 Mb 3.5"

4 メニューバーの「起動」で「取り外し可能デバイス」を選択し、[+]を押してリストの一番上に移動して以下のようにする

1. [取り外し可能デバイス]
2. [ハードディスク]
3. [ネットワークブート]
4. [ATAPI CD-ROM ドライブ]

5 メニューバーの「終了」で「変更を保存して終了する」を選択し、[Enter]を押す

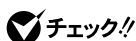
以上でシステムの設定は終了です。

「Windows NT 4.0のセットアップ」(P.151)に進んでください。

Windows NT 4.0のセットアップとアップデート

Windows NT 4.0のセットアップ

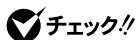
次の手順でセットアップを行ってください。設定の詳しい内容については、Windows NT 4.0添付の『Microsoft Windows NT Workstation ファーストステップガイド』をご覧ください。



チェック!!

スーパーディスクドライブ搭載モデルをご使用の場合は、必ず前述の「スーパーディスクドライブ搭載モデルの設定」(P.147)でBIOSの設定を変更してから再セットアップを行ってください。また、以降のフロッピーディスクドライブをスーパーディスクドライブと読み替えてください。

- 1 NetPCモデルの場合は、後述の「NetPCモデルでWindows NTをセットアップする」(P.156)の手順を行った後、手順4に進む
- 2 本機の電源を入れ、すぐにフロッピーディスクドライブに「Windows NT Setup Disk1」をセットし(スーパーディスクドライブ搭載モデルをご利用の場合は不要)、CD-ROMドライブに「Windows NT CD-ROM Disc1」をセットする
- 3 画面の指示に従ってセットアップディスクを入れ替える
- 4 「セットアップへようこそ」の画面が表示されたら、【Enter】を押す
「大容量記憶装置を検出しました」の画面が表示されます。
- 5 「IDE CD-ROM (ATAPI 1.2)/PCI IDE Controller」が表示されていることを確認し、【Enter】を押す
- 6 ライセンス契約画面が表示されるので、内容をよく読み【F8】を押す
「PageDown」を押すと画面がスクロールします。なお、表示される内容に同意しない場合は、セットアップはできません。



チェック!!

本機に他のWindows NTがインストールされている場合、アップグレードするかどうか確認されますが、ここではアップグレードしないでセットアップを続けてください。

- 7** キーボードの種類を聞いてくるので、「106日本語キーボード」を選択する
ここでは、接続しているキーボードの種類に関わらず、「106日本語キーボード」を選択してください。
- 8** 「106日本語キーボードでよろしいですか？(Y/N)」画面が表示されるので、[Y]を押す
USB接続キーボードドライバの変更は、Windows NT本体のセットアップ後に行います。
- 9** 画面の指示に従ってセットアップを続行する
- 10** Windows NTをインストールするパーティション、ファイルシステム、ディレクトリの設定を行う
ファイルシステムの選択画面では、「FATファイルシステムを使用してパーティションをフォーマット」または「NTFSファイルシステムを使用してパーティションをフォーマット」を選択してください。FATファイルシステムとNTFSファイルシステムの選択基準は、『Microsoft Windows NTファーストステップガイド』をご覧ください。
- 11** 画面の指示に従って、セットアップを続行する
- 12** ファイルのコピー終了後、画面の指示に従いドライブよりフロッピーディスク、CD-ROMを取り出し、コンピュータを再起動する
これで、Windows NT 4.0のテキストセットアップは終了しました。続いてグラフィックセットアップを行います。グラフィックセットアップでは、内蔵LANを組み込む手順を説明します。
- 13** 再起動するとCD-ROMの挿入要求のメッセージが表示されるので、「Windows NT CD-ROM Disc1」をCD-ROMドライブにセットし、「OK」ボタンをクリック

14 グラフィックセットアップでは次の設定を行う

これら設定の詳しい内容については、Windows NT 4.0『Microsoft Windows NTファーストステップガイド』をご覧ください。

 **チェック!!** WorkstationとServerでは、設定が異なります。

- ・ セットアップ方法の選択
- ・ 個人情報の入力
- ・ サーバーの種類の選択(Serverのみ)
- ・ 管理者アカウントのパスワードの設定
- ・ システム修復ディスク作成の選択
- ・ インストールするファイルの選択

15 「ネットワークに参加する」→「ネットワークに接続」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

ネットワークに接続しない場合は、「まだネットワークに参加しない」を選択して「次へ」ボタンをクリックし、後は画面の指示に従ってセットアップを行い、手順23へ進んでください。セットアップ終了後にネットワークを設定する場合は、後述の「本機でWindows NT 4.0を利用するときの注意」(P.172)をご覧ください。

 **チェック!!** NetPCモデルをお使いの場合は、必ずここでネットワークに参加してください。ここでネットワークに参加しなければ、後から参加することはできません。

16 Serverの場合はInternet Information Serverをインストールするかどうかを選択し、「次へ」ボタンをクリック

17 ネットワークアダプタの検索画面が表示されるので、「一覧から選択」ボタンをクリック

18 「ネットワークアダプタの選択」の画面で「ディスク使用」ボタンをクリック

19 「フロッピーディスクの挿入」の画面が表示されるので、「Windows NT 4.0アップデートディスク1」をフロッピーディスクドライブにセットし、次のように入力して「OK」ボタンをクリック

＜Mate NXの場合＞

A:\E100B

＜Mate NX Rの場合＞

A:\

20 「OEMオプションの選択」の画面が表示されるので、リストからネットワークアダプタを選択し、「OK」ボタンをクリック

＜Mate NXの場合＞

「Intel(R) PRO Adapter」

＜Mate NX Rの場合＞

「Accton EN1207D-TX Series PCI Fast Ethernet Adapter」

21 ネットワークアダプタの検索画面に、選択したネットワークアダプタが表示されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリック

22 次のネットワークアダプタのセットアップを行う

- ・ ネットワークプロトコルの選択

 **チェック!** TCP/IPプロトコルを使用する場合は、ここでTCP/IPプロトコルを組み込んでください。後からTCP/IPプロトコルを組み込む場合は、一度ネットワークの設定をすべて削除してからネットワークの設定をやり直してください。

- ・ ネットワークサービスの選択
- ・ ネットワークの設定の確認
- ・ ネットワークに必要なファイルのコピー
- ・ Duplex modeの設定 (Mate NX Rのみ)
- ・ ネットワークバインドの調整
- ・ ワークグループまたはドメインの参加

 **チェック!** ネットワークに必要なファイルの読み込みが要求された場合は、「Windows NT CD-ROM Disc1」をCD-ROMドライブにセットし、キーボードから<CD-ROMドライブ名>:\i386と入力して、「続行」ボタンをクリックしてください。

これで、グラフィックセットアップの手順で内蔵LANの組み込みが終了しました。後は画面の指示に従ってセットアップを行ってください。

23 セットアップが完了したら、スーパーディスクドライブ搭載モデルをお使いの方は、必ず「スーパーディスク搭載モデルの設定」(P.147)で変更したBIOSの設定を元に戻す NetPCモデルをお使いの方は、必ず「NetPCモデルの設定」(P.148)で変更したBIOSの設定を元に戻す

以上でWindows NT 4.0のセットアップは終了です。

次にNetPCモデルをお使いの方は「ネットワークドライブの設定 (NetPCモデルのみ)」(P.158)に、USB接続キーボードをお使いの場合は「USB接続のキーボードドライバのセットアップ」(P.159)に、PS/2 109キーボードをお使いの場合は「ドライバのコピー」(P.160)に進んでください。

NetPCモデルでWindows NTをセットアップする

NetPCモデルの場合は、次の手順でWindows NTをセットアップします。

- 1 「起動ディスク #1」をフロッピーディスクドライブにセットし、本機の電源を入れる
- 2 「ディスク2に交換してください。」と表示されたら、「起動ディスク #2」をセットし、[Enter]を押す
- 3 ユーザ名を聞かれたら、ユーザ名を入力する
標準では「ADMINISTRATOR」が設定されています。
- 4 ユーザのパスワードを入力する
ドメインにログオンしない設定(STANDALONE)の場合、「ログオンしましたがドメインには認識されませんでした」という内容のメッセージが表示されますが、問題はありません。
他にエラーが表示されない場合は、先にお進みください。



チェック!

- ・手順4により以前にネットワークコンピュータの共有資源に接続していた場合は、その共有資源に再接続されます。その際、手順5は必要ありません。
- ・以前に接続していたネットワーク環境との違いにより、接続修復エラーとなる場合があります。この場合、「接続のロードを続けますか？(Y/N)」と表示された場合は[Y]を、「再接続しますか？(Y/N)」と表示された場合は[N]を入力してから手順5に進んでください。

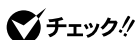
- 5 ネットワークコンピュータのCD-ROMドライブをネットワークで接続するので、コマンドプロンプトから次のように入力する

```
NET USE<ドライブ名:>\\<ネットワークコンピュータ名>  
\  
<ネットワークコンピュータのCD-ROMドライブ共有名>  
[Enter]
```

パスワードを聞かれた場合は、共有名のパスワードを入力してください。

6 FDISKコマンドで領域の確保を行う

領域の確保を行わない場合は手順12に進んでください。



チェック!

- FDISK使用法は、「PART2 再セットアップする」の「ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする」(P.100)をご覧ください。
- Cドライブ(セットアップするドライブ)の状態がアクティブになっていることを確認してください。アクティブになっていない場合は、FDISKにてアクティブにした後、以降の手順を行ってください。
- Windows NTをセットアップするドライブは、1Gバイト以上の容量が必要です。

7 領域の確保後、「ドライブAにMS-DOSのシステムディスクをいれてください。」のメッセージが表示された場合は、「起動ディスク #1」をフロッピーディスクドライブにセットして何かキーを押す

8 「ディスク2に交換してください。」と表示されたら、「起動ディスク #2」をセットして何かキーを押す

9 ユーザー名を聞かれたら、ユーザ名を入力する
標準では「ADMINISTRATOR」が設定されています。

10 ユーザのパスワードを入力する
ドメインにログオンしない設定(STANDALONE)の場合、「ログオンしましたがドメインには認識されませんでした」という内容のメッセージが表示されますが、問題はありません。
他にエラーが表示されない場合は、先にお進みください。

11 ハードディスクを初期化するので、以下のように入力する
FORMAT <フォーマットするドライブ>: [Enter]

12 ネットワークコンピュータのCD-ROMドライブ(共有したドライブ)に「Windows NT CD-ROM Disc1」をセットする

13 MS-DOSプロンプトから次のように入力する
<共有したCD-ROMドライブ番号>:\1386\WINNT /B [Enter]

14 画面の指示に従ってセットアップを続ける

「セットアップへようこそ」の画面が表示されます。

これ以降の操作は、その他のモデルと同じです。「Windows NTのセットアップ」の手順4(P.151)に進んで、その後の操作を行ってください。

ネットワークドライブの設定(NetPCモデルのみ)

NetPCモデルの場合、Windows NTのセットアップ後に以降の「USB接続のキーボードドライバのセットアップ」および「ドライバのアップデート」を行うため、本機をネットワークに接続し、任意のネットワークコンピュータのフロッピーディスクドライブとCD-ROMドライブを共有にします。



チェック!!

次のいずれかのOSがインストールされたネットワークコンピュータを使用してください。

- Windows NT Workstation 3.51またはWindows NT Server 3.51
- Windows NT Workstation 4.0またはWindows NT Server 4.0

- 1 フロッピーディスクドライブとCD-ROMドライブを共有するコンピュータが起動していて、本機がネットワークでつながっていることを確認する
- 2 本機の電源スイッチを入れてWindowsを起動する
- 3 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Windows NTエクスプローラ」をクリック
- 4 共有するネットワークコンピュータをクリック
- 5 「ツール」メニュー→「ネットワークドライブの割り当て」をクリック
- 6 共有するネットワークコンピュータのフロッピーディスクドライブを「A:」に割り当てる
- 7 「OK」ボタンをクリック

8 手順6、7と同じ作業でCD-ROMドライブも割り当てる

以上でネットワークドライブの設定は終了です。

次にUSB接続キーボードをお使いの場合は「USB接続のキーボードドライバのセットアップ」に、PS/2 109キーボードをお使いの場合は「ドライバのコピー」(P.160)に進んでください。

USB接続のキーボードドライバのセットアップ

USB109キーボード、USB小型キーボードモデルをお使いの方のために、USBキーボードドライバが「Windows NT 4.0アップデートディスク1」に保存されています。ここではUSB接続のキーボードドライバのセットアップの手順について説明します。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「キーボード」をダブルクリック
- 3 「全般」タブをクリック
- 4 「変更」ボタンをクリック
- 5 「ディスク使用」ボタンをクリック
- 6 ドライバの入ったフロッピーディスクをセットするように指示されたら、「Windows NT 4.0アップデートディスク1」をフロッピーディスクドライブにセットし、「OK」ボタンをクリック
- 7 「デバイスの選択」の画面で「USB109日本語キーボード(JIS配列)」を選択し、「OK」ボタンをクリック
- 8 「閉じる」ボタンをクリック
- 9 「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか？」というメッセージが表示されたら、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、「はい」ボタンをクリック

以上でUSB接続のキーボードドライバのセットアップは終了しました。次に「ドライバのコピー」(P.160)へ進んでください。

ドライバのコピー

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「コマンドプロンプト」をクリック
- 2 「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする

- 3 次のように入力する

```
Q:[Enter]  
CD \NT40[Enter]  
DRVCOPY.BAT[Enter]
```

- 4 画面の指示に従ってコピーする

以上で、ドライバのコピーは終了しました。
次に「ドライバのアップデート」に進んでください。

ドライバのアップデート

本機の機能を有効に使うために、次の手順でWindows NT 4.0のドライバをアップデートします。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「コマンドプロンプト」をクリック
- 2 アップデートを実行する
コマンドプロンプトから次のように入力します。

```
C:[Enter]  
CD \NT40[Enter]  
UPDATE[Enter]
```

- 3 「本機対応Windows NT 4.0アップデートへようこそ」と表示されたら、内容をよく読んで「OK」ボタンをクリック
ファイルのコピーが開始されます。
- 4 「Windows NT 4.0アップデートが適用されました。」と表示されたら、「Windows NTに戻る」ボタンをクリック

5 Windows NT 4.0 を再起動する

以上でドライバのアップデートは終了しました。
次に「サービスパック4のインストール」に進んでください。

サービスパック4のインストール

Microsoft Windows NT 4.0アップデートサービス「サービスパック4」(以下サービスパック4)をインストールします。

1 サービスパック4の「README.TXT」を読む

2 サービスパック4のインストールを行う



チェック!!

- ・ファイルのコピーの途中で、「コピー先には、コピー元より新しいファイルが存在します。上書きしますか？」のメッセージが表示された場合は、「すべて上書きしない」を選択してください。
- ・再起動後に「Windows NT Service Packセットアップ」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックしてください。「CD-ROMからYear 2000 Service Packをインストールするには」が表示されるので、内容をよくご覧になり、インストールを行ってください。

次に液晶ディスプレイをお使いの場合は「液晶ディスプレイ調整ツールのセットアップ」に進んでください。CRTディスプレイをお使いの場合は「内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ」(P.166)に進んでください。

液晶ディスプレイ調整ツールのセットアップ

液晶ディスプレイをご利用になっている場合は、液晶ディスプレイ調整ツールを利用するため次の手順でセットアップします。

■ F14T41W、F14T41B、F18S1W、F15T2Wの液晶ディスプレイの場合

1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック

2 「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする

- 3** 「ファイル名を指定して実行」の画面で次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

Q:\LCDSETUP\SETUP.EXE

- 4** 「質問」の画面で「はい」ボタンをクリック

- 5** 「ようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリック

- 6** 「ファイルコピーの開始」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
セットアップが始まります。

- 7** 本機を再起動する

以上で液晶ディスプレイ調整ツールのセットアップは終了です。

■ F15R42Wの液晶ディスプレイの場合

- 1** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック

- 2** 「ファイル名を指定して実行」の画面で次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

C:\NT40\ADJUSTNT\SETUP.EXE

- 3** 「液晶ディスプレイ画面調整ツール2セットアップ」の画面で、「OK」ボタンをクリック

- 4** 「セットアップ」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック

 **チェック!** 「ようこそ」の画面が表示された場合は手順13に進んでください。

- 5** 「セットアップ」の画面が表示されるので、「はい」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

- 6** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック

- 7 「ファイル名を指定して実行」の画面で次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

C:\NT40\ADJUSTNT\SETUP.EXE

- 8 「液晶ディスプレイ画面調整ツール2セットアップ」の画面で、「OK」ボタンをクリック
- 9 「液晶ディスプレイ画面調整ツール2のセットアップを始めます。」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 10 「セットアップを開始するには次のボタンをクリックしてください。」というメッセージが表示されたら、ディスプレイの絵が描かれているボタンをクリック
- 11 「液晶ディスプレイ調整ツール2のセットアップが完了しました。」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリック

12 本機を再起動する

以上で液晶ディスプレイ調整ツールのセットアップは終了です。

- 13 「ようこそ」の画面で、「次へ」ボタンをクリック

- 14 「ファイルコピーの開始」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
セットアップが始まります。

- 15 「セットアップの完了」の画面で、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、「完了」ボタンをクリック

以上で液晶ディスプレイ調整ツールのセットアップは終了です。



チェック!!

- ・液晶ディスプレイ調整ツールを起動するには「スタート」ボタン→「プログラム」→「液晶ディスプレイ調整ツール」をクリックしてください。
- ・液晶ディスプレイの画面調整については、液晶ディスプレイに添付の『ユーザーズマニュアル』をご覧ください。

次に「内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ」に進んでください。

内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ

本体内蔵サウンドボードを利用するため、次の手順でドライバをセットアップします。

■ MA55J/M、MA50J/M、MA45J/M、MA55J/S、MA50J/S、MA45J/S、MA55J/C、MA50J/C、MA45J/C、MA40H/C、MA40H/Lの場合

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「マルチメディア」をダブルクリック
- 3 「デバイス」タブをクリック
- 4 「追加」ボタンをクリック
- 5 ドライバの一覧から「一覧にない、または更新されたドライバ」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
- 6 ドライバのインストール画面になるので、Windows NTをインストールしたドライブのNT40\YMF740(C:\NT40\YMF740)を指定し、「OK」ボタンをクリック
- 7 ドライバの一覧から「YAMAHA DS-XG Audio Driver (Japanese)」を選択し、「OK」ボタンをクリック
- 8 「YAMAHA DS-XGオーディオドライバ」の画面が表示されるので、「OK」ボタンをクリック
- 9 再起動を促すメッセージが表示されたら、「再起動する」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

以上で内蔵サウンドドライバのセットアップは終了しました。
次に「内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ」(P.166)に進んでください。

■ MA40H/Sの場合

- 1** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 2** 次のように入力して「OK」ボタンをクリック
C:\NT40\AD1881\Setup.exe
- 3** 「ようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリック
- 4** 「About SoundMAX Integrated Digital Audio」の画面で「OK」ボタンをクリック
- 5** 「Windowsの再起動」画面で「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、「OK」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

以上でサウンドドライバのセットアップは終了です。

次に「内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ」(P.166)に進んでください。

■ Mate NX Rの場合

- 1** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 2** 次のように入力し、「OK」ボタンをクリック
C:\NT40\Solo-1\SETUP.EXE
- 3** 「ESS Solo-1 AudioDrive Installation」の画面で「Next」ボタンをクリック
- 4** 「ESS Solo-1 Installation」の画面で「Install」を選択し、「Next」ボタンをクリック
- 5** 「Choose Driver Language」の画面で「More Languages」を選択し、「Next」ボタンをクリック
- 6** 再度「Choose Driver Language」の画面が表示されるので、「Japanese」を選択し、「Next」ボタンをクリック

7 再起動を促すメッセージが表示されたら、「Finish」ボタンをクリック

自動的に再起動します。

以上でサウンドドライバのセットアップは終了しました。

次に「内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ」に進んでください。

内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ

本機内蔵アクセラレータを利用するため、次の手順でドライバをセットアップします。

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

2 「画面」をダブルクリック

3 「ディスプレイの設定」タブをクリック

4 「ディスプレイの種類」ボタンをクリック

5 「変更」ボタンをクリック

6 「ディスク使用」ボタンをクリック

ドライバの入ったフロッピーディスクをセットするよう指示されます。

7 「フロッピーディスクからインストール」の画面で次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

<MA55J/M、MA50J/M、MA45J/M、MA55J/S、MA50J/S、MA45J/S、MA55J/C、MA50J/C、MA45J/Cの場合>
C:\NT40\SAVAGE

<MA40H/C、MA40H/Lの場合>
C:\NT40\RAGEXL

<MA40H/Sの場合>
C:\NT40\INTEL

<MA35L/Rの場合>
C:\NT40\SIS530

8 「ディスプレイ」のリストから次のものを選択し、「OK」ボタンをクリック

＜MA55J/M、MA50J/M、MA45J/M、MA55J/S、MA55J/S、MA55J/C、MA50J/Cの場合＞

「NEC Savage4 Display Driver Version ****」

＜MA40H/C、MA40H/Lの場合＞

「ATI RAGE XL AGP 2X(日本語)」

＜MA40H/Sの場合＞

「Intel Corporation(R) 810 Chipset Graphics Driver ***」

＜MA35L/Rの場合＞

「SIS530」

はバージョン番号です。のところに表示される番号は機種によって異なる場合があります。

9 「サードパーティドライバをインストールしようとしています。…続行しますか？」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

10 ドライバ組み込み結果が表示されるので、「OK」ボタンをクリック

11 「閉じる」ボタンをクリック

12 「閉じる」ボタンをクリック

13 再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

以上で内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップは終了しました。

次にFAXモデムが内蔵されたモデルの場合は「内蔵FAXモデムボードのセットアップ」に進んでください。

LANボードが内蔵されたモデルでスーパーディスクドライブ搭載モデルをお使いの場合は「スーパーディスク3モードドライブ対応ドライバと専用フォーマットユーティリティのセットアップ」(P.170)に進んでください。

Pentium® IIIプロセッサ搭載モデルをお使いの場合は、「Intel® Streaming SIMD Extentions Driverのセットアップ」(P.171)に進んでください。

それ以外のモデルをお使いの場合は、これでWindows NT 4.0のセットアップは終了です。

内蔵FAXモデムボードのセットアップ

本体内蔵FAXモデムボードを利用するため、次の手順でドライバをセットアップします。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「シリアルポート」をダブルクリック
- 2 「追加」ボタンをクリック
- 3 「新しいポートの詳細設定」の画面で各設定を選択する



チェック!

「COMポートの番号」は必ず「5」を選択してください。「I/Oポートアドレス」、「割り込み番号 (IRQ)」は他のデバイスと競合しない値を選択してください。

- 4 「OK」ボタンをクリック
- 5 「システム設定の変更」の画面で「再起動しない」ボタンをクリック
- 6 「閉じる」ボタンをクリック
- 7 「コントロールパネル」の「モデム」をダブルクリック
- 8 「新しいモデムのインストール」の画面で「モデムを一覧から選択するので検出しない」をチェックし、「次へ」ボタンをクリック

9 「ディスク使用」をクリック

10 「フロッピーディスクからインストール」の画面で次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

C:\NT40\LTMODEM

11 次のモデムを選択し、「次へ」ボタンをクリック

<Mate NXの場合>

「NEC Fax Modem 56K Data+Fax(BUQD)」

<Mate NX Rの場合>

「NEC Fax Modem 56K Data+Fax(BUQ)」

12 どのポートにインストールするかを聞いてくるので、「選択したポート」をチェック

13 「COM5」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

14 「所在地情報」を設定し、「次へ」ボタンをクリック



チェック!!

「所在地情報」の画面は1回目のモデムのセットアップ時のみ表示されます。すでに他のモデムをセットアップしているときなどは、「所在地情報」の画面が表示されないことがあります。

15 以後は画面のメッセージに従って操作し、セットアップを終了する

16 Windows NT 4.0を再起動する

以上で内蔵FAXモデムボードのセットアップは完了しました。スーパーディスクドライブ搭載モデルをお使いの場合は「スーパーディスク3モードドライブ対応ドライバと専用フォーマットユーティリティのセットアップ」(P.170)に進んでください。

Pentium® IIIプロセッサ搭載モデルをお使いの場合は、「Intel® Streaming SIMD Extentions Driverのセットアップ」(P.171)に進んでください。

それ以外のモデルをお使いの場合は、これでWindows NT 4.0のセットアップは終了です。

スーパーディスク3モードドライブ対応ドライバと専用フォーマットユーティリティのセットアップ

スーパーディスクドライブ搭載モデルをお使いで、1.2MB(512バイト/セクタ、1024バイト/セクタ)フォーマットのコピーディスクを使用する場合は、スーパーディスク3モード対応ドライバおよび専用フォーマットユーティリティ (SuperDisk フォーマットユーティリティ) をセットアップする必要があります。

720KB/1.44MBフォーマットのコピーディスクおよびスーパーディスク (120MB) しか使用しない場合は、このセットアップは必要ありません。



1.2MB(1024バイト/セクタ)は、PC-9800シリーズの1.25MB(1024バイト/セクタ)のことです。専用フォーマットユーティリティでは、「3.5インチ、1.2MB、1024バイト/セクタ (NEC)」と表示されます。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」→「SCSIアダプタ」をダブルクリック
- 2 「ドライバ」タブをクリック
- 3 「追加」ボタンをクリック
- 4 「ドライバのインストール」の画面で「ディスク使用」ボタンをクリック
- 5 「フロッピーディスクからインストール」の画面で「配布ファイルのコピー元」に「C:\NT40\LS120DRV」を指定し、「OK」ボタンをクリック
- 6 「SCSIアダプタ」の一覧に「Panasonic SuperDisk」があることを確認し、「OK」ボタンをクリック
- 7 「Windows NT セットアップ」の画面で「C:\NT40\LS120DRV」と指定し、「続行」ボタンをクリック
- 8 「今すぐコンピュータを再起動しますか？」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

9 再起動後、「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック

10 「名前」に「C:\NT40\MKELS120\SETUP.EXE」と指定し、「OK」ボタンをクリック

11 後は、メッセージに従ってセットアップを行う

以上で「スーパーディスク3モードドライブ対応ドライバと専用フォーマットユーティリティのセットアップ」は終了です。

Pentium® III搭載モデルをお使いの場合は「Intel® Streaming SIMD Extensions Driverのセットアップ」に進んでください。それ以外のモデルをお使いの場合は、これでWindows NT 4.0のセットアップは終了です。

Intel® Streaming SIMD Extensions Driverのセットアップ

Intel® Streaming SIMD Extensions Driverは、Intel® Pentium® III Processorで拡張された70の新しい命令セットをアプリケーションから利用可能にするドライバです。

このドライバを利用することで、新しい命令セットに対応したアプリケーションをより快適に動作させることができます。新しい命令セットに対応したアプリケーションを使用される際には、本ドライバをインストールすることをおすすめします。



チェック!!

本ドライバをインストールするには、「マイクロソフトウィンドウズNTサービスパック4」をインストールしてください。

本書の手順通りセットアップを行っている場合は、不要です。

1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック

2 「C:\NT40\SIMD\WEBSETUP.EXE」と入力し、「OK」ボタンをクリック

3 「ようこそ」の画面で「続行」ボタンをクリック

4 「ようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリック

5 「製品ライセンス契約」の画面で「はい」ボタンをクリック

6 「インストール先の選択」の画面で「次へ」ボタンをクリック

7 「セットアップの完了」の画面で「はい、直ちにコンピュータを再起動します」が選択されていることを確認し、「完了」ボタンをクリック

自動的にWindows NT4.0が再起動されます。

以上で、Intel® Streaming SIMD Extensions Driverのセットアップは終了しました。

これでWindows NT 4.0のセットアップは終了です。

本機でWindows NT 4.0を利用するときの注意

- ・ 本機に添付されているWindows NT 4.0のドライバは、本機専用です。他機種では使用しないでください。
- ・ 新しいコンポーネント(ドライバ等)を追加または変更した場合は、再度サービスパック4をインストールしてください。
- ・ Windows NT 4.0は、NEC製のキーボードおよび液晶ディスプレイ(F14T41W、F15T31W、F15S21W、F15R42W、F18S1W)のハブを利用できます。
- ・ サスペンド中にUSB109キーボード、USB小型キーボードを抜き差ししないでください。キーボード入力ができなくなることがあります。キーボード入力ができなくなってしまった場合は、USB接続のキーボードを正しく接続した後に、電源スイッチを押してシャットダウンできるかどうかを試してください。この方法でシャットダウンできない場合は、電源スイッチを4秒以上押し続けて強制的に電源を切り、Windows NT 4.0を再起動してください。
- ・ サスペンド/レジュームで問題が発生する場合は、サスペンド/レジューム機能を次のように設定してください。
『活用ガイド ハードウェア編』「PART2 システム設定」の「省電力の設定」で次のように設定します。

「省電力」 : カスタマイズ

「ハードディスクタイムアウト」 : 使用しない

「システムスイッチ」 : パワーボタン

「自動サスペンドタイムアウト」 : オフ

- ・ MA35L/RでWindows NT 4.0を使用する場合、サスペンド/レジューム機能は使用できません。

- ・ MA35L/Rをお使いの場合システムのプロパティでメモリの容量を確認すると、搭載されている容量より4MB少ない容量が表示されます。これは、メインメモリがビデオメモリとして、4MB(工場出荷時の設定)割り当てられているためで故障ではありません。ビデオメモリへの割り当て容量はBIOSセットアップメニューで変更できます。BIOSセットアップメニューについては『活用ガイド ハードウェア編』「PART2システム設定」をご覧ください。
- ・ セットアップ終了後にネットワークをインストールする場合は、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」→「ネットワーク」を起動し、「Windows NT のセットアップ」の手順17～21(P.153)を行ってください。
ネットワークのインストール後は再起動しないですぐにサービスパック4をインストールしてください。
別売の100 BASE-TXインターフェースボード PK-UG-X006(以後、PK-UG-X006ボード)を使用される場合、PK-UG-X006ボードのマニュアルには、本体内存用ドライバをいったん削除した後、PK-UG-X006ボード添付のドライバディスクを使用するように指示されていますが、本機にPK-UG-X006ボードを追加する場合は、セットアップ済みの内蔵用LANドライバを削除せず、次の手順の通りドライバをインストールしてください。

＜Mate NXの場合＞

- ① フロッピーディスクドライブに「Windows NT 4.0アップデートディスク1」をセットする
- ② 「ディスク使用」ボタンをクリックし、次のように入力して「OK」ボタンをクリック

A:\E100B

＜Mate NX Rの場合＞

PK-UG-X006ボードに添付のマニュアル通りにインストールします。ドライバディスクはPK-UG-X006ボードに添付のものを使用します。

- ・ LAN上のサーバーを一括管理するための機能を提供する「ESMPRO/ServerAgent Ver3.1(Windows NT版)」があります。本機にて「ESMPRO/ServerAgent Ver3.1(Windows NT版)」をお使いいただくには、本機に対応するためのモジュールが必要になります。本機に対応するモジュールは、次のインターネット情報サービスからダウンロードしてください。

PICROBO

<http://www.nec.co.jp/picrobo>

スーパーディスク3モード対応ドライバと専用フォーマットユーティリティについて

専用フォーマットユーティリティの起動方法

1 フォーマットを行うディスクをセットする

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「SuperDisk フォーマットユーティリティ」→「SuperDisk用フォーマットユーティリティ」をクリック



チェック!!

- ・スーパーディスクフォーマットユーティリティは、起動時に挿入されている媒体を判別してフォーマット可能な容量を表示します。このためフォーマットを行う媒体は、ユーティリティ起動前にスーパーディスクに挿入してください。
- ・ユーティリティ起動後に媒体を入れ替えた場合は、ユーティリティをいったん終了して再起動してください。

注意事項

- ・スーパーディスク3モード対応ドライバおよび専用フォーマットユーティリティをセットアップした場合には、720KB/1.2MB/1.44MBのフロッピーディスクおよびスーパーディスク(120MB)のフォーマットはすべて専用フォーマットユーティリティで行ってください。Windows NTエクスプローラや、コマンドプロンプトからのformatコマンドでのフォーマットはできません。

スーパーディスク3モード対応ドライバをセットアップしていない場合には、720KB/1.44MBのフロッピーディスクおよびスーパーディスク(120MB)のフォーマットは、Windows NTのコマンドプロンプトからのformatコマンドで行うことができます。

- ・スーパーディスクフォーマットユーティリティで1.2MBへのフォーマットを行う場合、以下の項目を選択してください。

「3.5インチ、1.2MB、1024バイト/セクタ(NEC)」

「3.5インチ、1.2MB、512バイト/セクタ(TOSHIBA)」

- ・一度もフォーマットされていない媒体や、フォーマットが破壊されていて正常にアクセスできない媒体を、スーパーディスクフォーマットユーティリティでフォーマットした場合、イベントビューアにエラーが記録されることがありますが、この媒体の使用には問題ありません。

- ・ スーパーディスク3モード対応ドライバがインストールされている場合、1.2MBのフロッピーディスクに対してコマンドプロンプトからchkdskコマンドは実行できません。誤って実行した場合、アクセスエラーの表示となることがありますが、これはフォーマットされていないことを示すものではありません。

容量等を調べる場合は、別のツール(エクスプローラなど)で参照してください。

スーパーディスク3モード対応ドライバと専用フォーマットユーティリティの削除

スーパーディスク3モード対応ドライバと専用フォーマットユーティリティは、以下の手順で削除することができます。

- 1 Administrator権限のあるユーザでWindows NT 4.0にログオンする
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 3 「SCSIアダプタ」をダブルクリック
- 4 「ドライバ」タブをクリック
- 5 「Panasonic SuperDisk」をクリック
- 6 「削除」ボタンをクリック
- 7 「はい」ボタンをクリック
- 8 「OK」ボタンをクリック
- 9 「コントロールパネル」の中にある「デバイス」をダブルクリック
- 10 デバイスの一覧の中から「mkefpd」をクリック
- 11 「スタートアップ」ボタンをクリック
- 12 スタートアップの種類で「システム」が選択されているので、「無効」をクリック

13 「OK」ボタンをクリック

14 「mkefpdデバイスのスタートアップの種類を変更すると、システムは使用不能になる可能性があります。変更してもよろしいですか？」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

15 「閉じる」ボタンをクリック

16 「スタート」ボタン→「プログラム」→「SuperDisk フォーマットユーティリティ」→「Uninstall」をクリック

17 画面の指示に従って削除する

18 本機を再起動する

以上で削除は終了しました。

トラブル解決 Q&A

パソコンを使っていて、何かトラブルが起きたときは、ここを読んでください。

この章の読み方

次ページの「トラブルが起きたとき」を読んで、どうしてそうなったかを考え、あてはまる項目を探してください。

この章の内容

トラブルが起きたとき	178
トラブルを解決するには(ヒント)	179
お問い合わせの前に (トラブルチェックシート)	182
はじめて電源を入れたら...	184
電源を入れたが...	186
電源を切ろうとしたが...	195
スタンバイ機能を使おうとしたら...	197
パソコンがこわれそう...	199
画面がおかしい...	201
画面の設定を変えようとしたら...	202
ファイル、フォルダがおかしい...	206
音がおかしい...	208
マウスを動かしても...	209
文字を入力しようとしたら...	211
ファイルを保存しようとしたら...	214

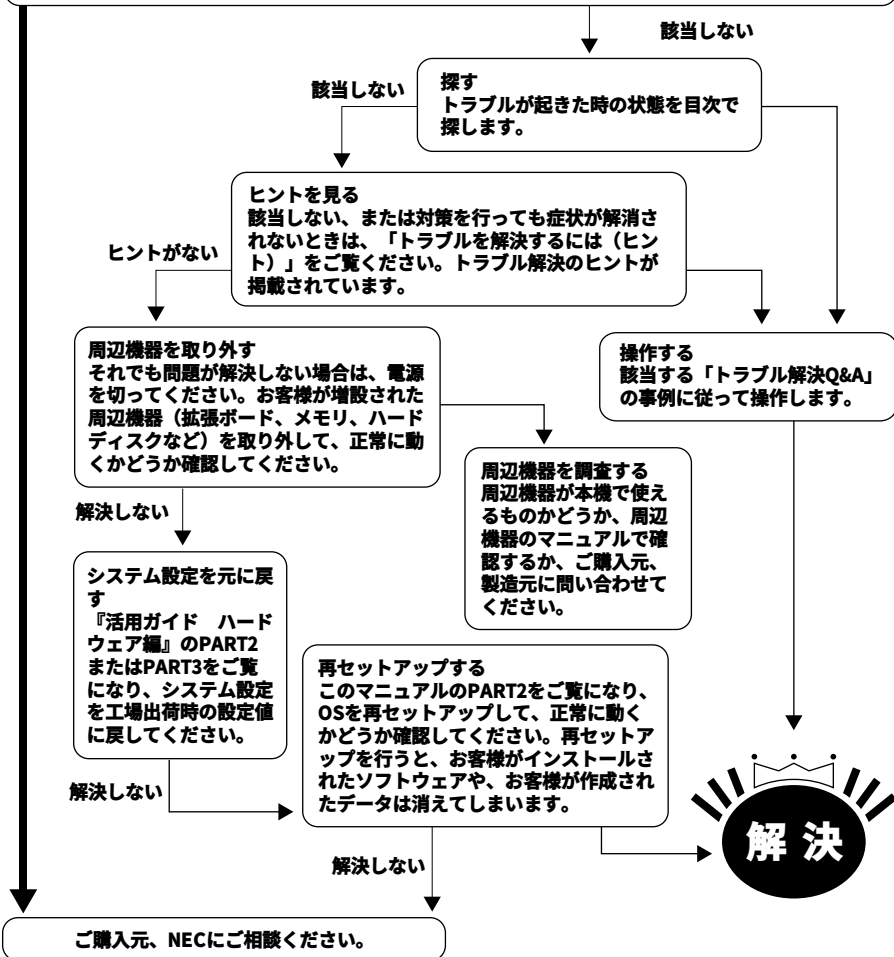
LAN(ローカルエリアネットワーク)に 接続しようとしたら...	216
FAXモデムを使おうとしたら...	218
印刷しようとしたら...	219
フロッピーディスクを使っていたら...	221
ハードディスクを使っていたら...	225
CD-ROMを使っていたら...	229
周辺機器を取り付けようとしたら...	235
アプリケーションを使っていたら...	239
タイマ機能を使おうとしたら...	246
日付の設定を変えようとしたら...	247
コンピュータウイルス対策について	248
その他	251
トラブルを予防するには...	254
アフターケアについて	256

トラブルが起きたとき

このマニュアルには多くのトラブル解消法が掲載されています。トラブルが起きたら、まずこのマニュアルを手がかりに次の手順で解決法を見つけてください。

トラブルが起きたら、このマニュアルをご覧ください

煙や異臭、異常音がでた場合、すぐに電源を切って電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜いてください。それ以外のトラブルの場合は下へ進んでください。



トラブルを解決するには(ヒント)

パソコンは、さまざまなアプリケーションや周辺機器を組み合わせて使うので、予期しないトラブルが発生することがあります。

トラブルをうまく解決するためには、いくつかのポイントがあります。

● 落ちついて対処する

あわてて、電源を切ったり、マウスで何度もクリックしたりしないでください。

パソコンが反応していない(フリーズした)ように見えても、アプリケーションなどの処理に時間がかかっているだけのこともあります。その場合は処理が終わるまでしばらく待ってください。

◆ 用語 フリーズ(ハングアップ)

どんな操作を行っても、パソコンやアプリケーションが反応しなくなること。アプリケーションが不正な動きをしたり、周辺機器に異常が発生したときなどに起こることがあります。ウィンドウを動かしたり、文字を入力することはできないが、マウスだけは動かせるということもあります。ハングアップともいいます。

● メッセージが表示されているときは書きとめる

番号や英語など、意味がわからないものも解決の糸口になることがあるので、紙に書きとめてください。

● 原因が何か考える

原因になったのが、パソコン本体なのか、周辺機器なのか、アプリケーションなのか、もっと他のものなのか考えてください。原因を特定できないことも多いのですが、原因がわかると対処しやすくなります。周辺機器に原因があるときは、1つずつ取り外して、トラブルが起きた操作をやり直すと、どれに関連したトラブルなのかわかります。

● Safeモードで起動する

うまく起動しない場合には、Safeモードで本機を起動して、状態を調べたり、設定を変更したりします。

「Safeモードで起動して問題を解決する」(P.81)をご覧ください。

● システム情報を利用する

システム情報は、本機の構成情報や関連情報等を収集し、表示します。トラブルを解決する際に、システム情報を使うと、システムの問題を解決するために必要なデータをすばやく探すことができます。

システムファイルチェッカー

……Windows 98のファイルの整合性を確認したり、これらのファイルが破損している場合に復元したり、インストールディスクからドライバなどの圧縮ファイルを抽出したりすることができます。

スキャンディスク

……ハードディスクの軽い障害であれば、スキャンディスクを使って修復することができます。

起動方法は次の通りです。

・ システム情報の起動方法

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」の「システム情報」をクリック

・ システムファイルチェッカーの起動方法

① 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」の「システム情報」をクリック

② 「ツール」メニューの「システムファイルチェッカー」をクリック

・ スキャンディスクの起動方法

① 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」の「システム情報」をクリック

② 「ツール」メニューの「スキャンディスク」をクリック

● Windows 98のヘルプを使う

『活用ガイド ハードウェア編』『PART1 本体の構成各部』の「ヘルプの表示方法」をご覧ください。

● 「トラブル解決 Q&A」の中から、あてはまるトラブルを探す

あなたのトラブルにあてはまる項目があったら、そのページをお読みください。

● 他のマニュアルやヘルプ、READMEファイルを見る

あなたのトラブルに関連する記述がないか探してください。アプリケーションでトラブルが起きたときは、そのアプリケーションのマニュアルやヘルプをご覧ください。

また、アプリケーションには、READMEファイルが付いていることが多く、そこには、マニュアルやヘルプに掲載していない重要な情報が載っていることがあります。ワードパッドなどのワープロで開いて、お読みください。

本機には、「スタート」ボタン→「プログラム」→「補足説明」に本製品のご利用にあたっての補足説明があります。

またC:\WINDOWSには「GENERAL.TXT」(「Windows 98 README:一般情報」)があります。

- NECのホームページ「98Information」を見る
アドレスは、<http://www.nec.co.jp/98/>です。
 - システム設定を元に戻す
『活用ガイド ハードウェア編』の「PART2 システム設定」をご覧ください。
り、システム設定を工場出荷時の設定値に戻してください。
 - 「トラブルチェックシート」に記入する
どんなトラブルかを、「トラブルチェックシート」(P.182)に記入してください。お問い合わせのときに役立ちます。
 - 問い合わせる
NECの問い合わせ先は『メンテナンス&サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。
なお、お問い合わせの際には、必ず保証書を準備してください。型番や保守に重要な情報が記載されています。
本機と別に購入した周辺機器やメモリ、アプリケーションに関するトラブルは、その製品の問い合わせ先にご相談ください。
本機に添付されていたものでも、アプリケーションの問題は、そのアプリケーションの問い合わせ先からのほうが適切な回答を得られます。
- ＜本機に添付されているアプリケーションの問い合わせ先＞
- ・ 本機添付の『ソフトウェア使用条件適用一覧』の「添付ソフトウェアサポート窓口一覧」に従い、各社へお問い合わせください。
 - ・ その他のアプリケーションについては、本機添付の『メンテナンス&サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。

お問い合わせの前に(トラブルチェックシート)

お問い合わせの際には、お使いになっているパソコンの構成やトラブルの具体的な状況をお知らせいただく必要があります。

あらかじめ、このシートの各項目にご記入いただくと、お問い合わせの際により的確で迅速な対応を受ける助けになります。ぜひ、ご利用ください。

トラブルチェックシート 1 あなたのパソコンの構成

■ハードウェア

本体

型番 (保証書に記載されています)

製造番号 (保証書番号)

メモリの容量 _____ MB(メガバイト)

ハードディスクの容量 _____ GB(ギガバイト)

ハードディスクの空き領域 _____ MB(メガバイト)

ハードディスクの容量、空き領域を調べるには→マイコンピュータのハードディスクのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックしてください。容量や空き領域が表示されます。

周辺機器

品名・型名 (メーカー名)

ディスプレイ

プリンタ

増設ハードディスク

ネットワークボード

その他の周辺機器

■ソフトウェア

OSのバージョンと発売メーカー

☐ Windows 98 ☐ Windows NT (バージョン)

☐ Windows 95

トラブルが起きたときに起動していたアプリケーション

トラブルチェックシート2 具体的なトラブルの内容

●どんなトラブルが起きましたか？ トラブルの内容を書いてください。

●画面にエラーメッセージや番号などが表示されませんでしたか？
メッセージや番号を書いてください。

●そのトラブルはどんなときに起きましたか？

- ☐ パソコンを起動するときに起きる
- ☐ そのアプリケーションを起動するときに起きる
- ☐ 特定の操作を行うと起きる
- ☐ はじめて起きた

●その他に気付いたことがあれば書いてください。

はじめて電源を入れたら…

買ってきて、はじめて本機を使うときは、まず、設定などの作業が必要です。

参照 『はじめにお読みください』



セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

電源スイッチを押して電源を入れてください。

スキャンディスクが行われた場合はシステムに異常がないかの検証が始まります。

スキャンディスクで異常が発見されなかった場合は、名前を入力する画面が表示されます。そのままセットアップを続けてください。

何か異常が発見された場合は、画面の指示に従ってください。問題が解決したら、名前を入力する画面が表示されます。そのままセットアップを続けてください。

スキャンディスクの結果、システムに重大な問題が発見されたことを伝えるメッセージが表示された場合は、再セットアップが必要になります。本書の「PART2 再セットアップする」をご覧ください。再セットアップをしてください。

参照 再セットアップ→「PART2 再セットアップする」(P.79)



セットアップの途中で電源スイッチを押してしまったら、「Windowsを終了します。よろしいですか?」というメッセージが表示された

「キャンセル」ボタンをクリックしてください。元の画面に戻りますので、そのままセットアップを続けてください。



「Invalid system disk Replace the disk…」と表示される

フロッピーディスクがセットされていないか確認してください。セットされていたら、フロッピーディスクを取り出して、電源を入れ直し、再起動してください。



ハードウェアの検出中にパソコンが動かなくなった(フリーズした)

Windows 98のセットアップでは、正常に処理が行われていても、数分～十数分間、画面が止まったようになることがあります。電源は切らないでください。

Windows 98のセットアップ中ではないのにパソコンが反応していないとき(ハードディスクアクセスランプが点滅しないなど)は、電源を切って、5秒以上待ってから、もう一度電源を入れます。「セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった」(P.184)と同じ手順で問題を解決してください。



セットアップ時に登録した名前や会社名を変更したい

セットアップ時に「ユーザー情報」で登録した名前や会社名は、セットアップが完了すると変更できません。

どうしても変更したいときは、「PART2 再セットアップする」に従って、再セットアップを行ってください。再セットアップの「ユーザー情報」の画面で名前や会社名を入力します。



電源を入れたが…

電源を入れるときは、周辺機器の電源を入れてから、パソコンの電源を入れます。



電源が入らない / ディスプレイに何も表示されない

ディスプレイの電源ランプは点灯していますか？

ディスプレイの電源ランプが点灯しないときは、ディスプレイのマニュアルに従って、電源を入れてください。

それでも点灯しないときは、『はじめにお読みください』をご覧になり、ディスプレイの電源ケーブルを接続し直してください。

もう一度ディスプレイの電源を入れてもディスプレイの電源ランプが点灯しないときは、ディスプレイの故障が考えられます。ご購入元、NECにご相談ください。

参照

NECのお問い合わせ先→『メンテナンス＆サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』

本体の電源ランプは点灯していますか？

ディスプレイのRGBケーブルが本体に正しく接続されていますか？

本体の電源ランプが点灯していないときは、『はじめにお読みください』に従って、電源ケーブルを接続し直してください。

電源ケーブルを接続し直して、電源を入れても本体電源ランプが点灯していないときは、本体の故障が考えられます。ご購入元、NECにご相談ください。

参照

NECのお問い合わせ先→『メンテナンス＆サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』

ディスプレイの輝度(明るさ)、コントラストが、小さくなっていますか？

ディスプレイのマニュアルを見て、画面の輝度とコントラストを上げてください。

これらのチェックを行ってもディスプレイに何も表示されないときは、本体やディスプレイの故障が考えられます。ご購入元、NECにご相談ください。

参照

NECのお問い合わせ先

→『メンテナンス＆サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』



キーボードエラーが表示される

① キーボードと本体の接続を確認する

液晶ディスプレイにキーボードを接続している場合は、キーボードと液晶ディスプレイの接続、液晶ディスプレイと本体を接続しているUSBケーブルの接続を確認してください。

参照

接続の確認→『はじめにお読みください』

② 電源の投入順序を確認する

参照

電源の投入順序→『はじめにお読みください』、『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部「電源」



CRTディスプレイの画面の色が部分的におかしい

テレビや、ステレオのスピーカーなど、CRTディスプレイのそばに強力な磁気を発生する電気製品がありませんか？

強力な磁気を発生する電気製品があるときは、その電気製品の電源を切るか、CRTディスプレイから遠ざけてください。

CRTディスプレイの消磁は行ってみましたか？

CRTディスプレイのマニュアルを見て、画面を消磁してください。

メモ

強力な磁気を発生する電気製品などによって、画面自身が磁気を帯びてしまうことがあります。その電気製品の電源を切ったり、ディスプレイから遠ざけても、画面の色がおかしいときは、消磁(デガウス)を行ってください。



電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる

次の操作を試してみてください。

① マウスを動かすか、キーボードのキーの何か([Shift]など)を押す

② 画面に何も表示されない場合は、電源スイッチを押す

電源を入れてしばらくすると画面が真っ暗になる場合、次の原因が考えられます。

・ Timer-NXによるスタンバイ状態

Timer-NXのタイマプログラムやオフタイマ機能を利用すると時間を指定して、スタンバイ状態にすることができます(→「PART1 アプリケーションの概要と削除 / 追加」の「Timer-NX」)。上記の手順②でスタンバイ状態から復帰します。

・ ディスプレイの省電力機能が働いた

ディスプレイセットモデルに添付されているディスプレイは省電力機能に対応しているので、「コントロールパネル」→「電源の管理」→「電源設定」で省電力の設定をすると、設定した時間になると、ディスプレイを省電力モードにしたり、ディスプレイの電源を切ったりすることができます。(工場出荷時の状態では15分に設定されています)上記の手順①で表示されるようになります。

・ Timer-NXによって本体の電源が切れた

Timer-NXのタイマプログラムまたはオフタイマー機能を利用すると、時間を指定して本体の電源を切ることができます。上記の手順②で電源が入ります。

上記の設定を変更することにより、画面を真っ暗にする時間を変更したり、画面を真っ暗にしないようにすることができます。



Windows 98が起動しない

ハードディスクのファイルにデータエラーがないか、スキャンディスクでチェックしてください。

参照

Windows 98が起動できなかった場合→『活用ガイド ハードウェア編』
「PART1 本体の構成各部」の「ハードディスクドライブ」

システムの設定が正しくない可能性があります。

次の手順でシステムの設定を工場出荷時の状態に戻して再起動してください。

①別売の拡張ボードを取り付けている場合は、そのボードを取り外す

参照

ボードの取り外し方→『ハードウェア拡張ガイド』

②システムの設定を工場出荷時の状態に戻す

参照

工場出荷時の状態に戻す→『活用ガイド ハードウェア編』「PART2 システム設定」

メモ

- ・ BIOSセットアップメニューで設定したパスワードは初期値には戻りません。
- ・ どうしてもWindows 98が起動しないなど、再セットアップする必要がある場合は、「PART2 再セットアップする」(P.79)をご覧ください。



「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示され、「3. Safe mode」を選択するような画面が表示された

「3. Safe mode」を選択するような画面(「Enter a choice:」のところに「3」が表示されている状態)が表示された場合は、以下の手順でSafe modeを起動させてください。

- ①「3.Safe mode」になっていることを確認して【Enter】を押す
- ②「キーボードのタイプを判定します」と表示されたら、【全角/半角/漢字】を押す
- ③「WindowsはSafeモードで実行されています」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック
Safeモードが起動します。

画面の配色や解像度が通常とは異なりますが、異常やトラブルではありません。Windows 98 Startup Menuは起動時にネットワークやハードウェアの設定に問題があり、正常に起動できなかったときに表示されます。起動時にネットワークやハードウェアの設定に問題があり、Safe modeを選択するような画面が表示された場合は、無理に「1. Normal」を選択しないでSafe モードで一度起動してください。コントロールパネルで設定を確認してから「スタート」→「Windowsの終了」で「再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリックして再起動すると、問題がなければ元の状態に戻ります。Safe modeで起動して、その後、再起動しても問題が解決しなかったときは、システムに障害が発生している可能性があります。その場合は再セットアップが必要になりますので、本書の「PART2 再セットアップする」(P.79)をご覧ください。



「Windowsが正しく終了されなかったため、ディスクドライブエラーがある可能性があります。」と表示され、自動的にスキャンディスクが始まった

ハードディスクに異常がないかチェックが行われ、ハードディスクに異常がなければ、Windows 98が起動します。

正常に起動しなかったときは、画面の指示に従ってください。再セットアップの必要があるときは、再セットアップしてください。



前回、電源を切ったときに、正しく電源を切らなかったときや、スタンバイ状態のときにACコンセントが抜けたり停電すると、このメッセージが表示されます。

スキャンディスクプログラムを実行してシステムファイルに異常が見つかったときや、スキャンディスクプログラムで異常は見つからないがうまく起動できない、あるいは動作が不安定なときは、再セットアップが必要になります。

定期的にスキャンディスクプログラムを実行してディスクに異常がないかどうか確認してください。

参照

再セットアップ→「PART2 再セットアップする」(P.79)

スキャンディスク→『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「ハードディスクドライブ」



「Invalid system disk Replace the disk…」と表示される

フロッピーディスクがセットされている場合

システムの入ったフロッピーディスクをセットし直して何かキーを押すか、フロッピーディスクを取り出して、電源を入れ直して、再起動してください。

フロッピーディスクがセットされていない場合

Windows 98起動ディスクから本機を起動してハードディスクにスキャンディスクを実行して、ハードディスクを調べてください。

問題が発見された場合は画面の指示に従ってください。スキャンディスクの結果、システムに重大な問題が発見された場合は本書の「PART2 再セットアップする」(P.79)をご覧ください。また、ハードディスクがフォーマットされただけでWindows 98がインストールされていない場合も、再セットアップしてください。



Windows 98でフォーマットしただけでシステムの入っていないフロッピーディスクがセットされていたり、フォーマットされただけのハードディスクが接続されているとこのようなメッセージが表示されます。



「Operating System not found」と表示される

Windows 98起動ディスクで本体を起動して、FDISKコマンドを実行しCドライブの状態を調べてください。

Cドライブがアクティブでない状態になっている

FDISKオプションの「4.領域情報を表示」で「領域C:」の「状態」のところに「A」が付いているか確認してください。

付いていない場合は、アクティブでない状態になっているので、FDISKコマンドの「2.アクティブな領域を設定」を利用して、アクティブの状態にしてください。

ドライブ自体がフォーマットされていないとき

「PART2 再セットアップする」(P.79)をご覧ください。また、再セットアップしてください。



電源を入るとピーツと音をする、または何かメッセージが表示される、または何も表示されない

フロッピーディスクがセットされている場合

フロッピーディスクがセットされている場合は、そのフロッピーディスクにシステムが入っていないか、本機では扱えないフロッピーディスクであることを示しています。本機で利用できるシステムの入ったフロッピーディスクをセットし直して何かキーを押すか再起動してください。またはフロッピーディスクを取り出して、電源を入れ直して、再起動してください。



本機で利用できるフロッピーディスクについては、『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「フロッピーディスクドライブ」をご覧ください。

フロッピーディスクがセットされていない場合

フロッピーディスクがセットされていないのに起動時にエラーメッセージが表示されたりする場合は、メッセージを書き留めるかまたは症状を書き留めて、ご購入元、NECにご相談ください。



エラーメッセージが表示された

エラーメッセージを書き留めて、ご購入元、NECにご相談ください。



NECのお問い合わせ先→『メンテナンス&サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』



パスワードを忘れてしまった

BIOSセットアップメニューでのパスワード(ユーザパスワード、スーパーバイザパスワード)の場合

BIOSセットアップメニューで設定したパスワードを忘れてしまった場合は、『ハードウェア拡張ガイド』「PART5 付録」の「パスワードの解除」をご覧ください。パスワードを解除して、再設定してください。

Windows 98でのパスワードの場合

Windows 98のパスワードを忘れてしまった場合、[Esc]を押すと、Windows 98が起動して、本体は使用できますがネットワークには接続できなくなります。再設定したい場合には、再セットアップが必要になりますので、本書の「PART2 再セットアップする」(P.79)をご覧ください。再セットアップしてください。



Windows 98のパスワードは、ネットワークの設定などをしたら、設定されるようになります。ネットワークへのログインパスワードについては、ネットワーク管理者にご相談ください。



Windowsの起動に時間がかかる

TCP/IPプロトコル使用時においてWindows 98の起動やスタンバイ状態からの復帰の時間が長いことがあります。

この場合は、次の方法のいずれかを行ってください。

- ・ ネットワーク上に正常にDHCPサーバを接続する
- ・ TCP/IPプロトコルにIPアドレスを設定する
- ・ ネットワークの設定からTCP/IPを削除する
- ・ 次の手順で一時的にネットワークを無効にする(ネットワークに未接続の場合)

- ①「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリック
- ②「ネットワークアダプタ」をダブルクリックし、「NEC 82559-based Fast Ethernet Adapter」をダブルクリック
- ③「デバイスの使用」の「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」にチェックを付け、「OK」ボタンをクリック
- ④「閉じる」ボタンをクリックし、Windowsを再起動する

電源を切ろうとしたが…

本機の電源は必ずこの手順で切ってください。正しい手順を守らないと、データやプログラム、本機がこわれてしまう場合があるので、特に注意してください。



電源を切れない/強制的に電源を切りたい

本機の電源を切るときは、「正しい電源の切りかた」に従ってください。

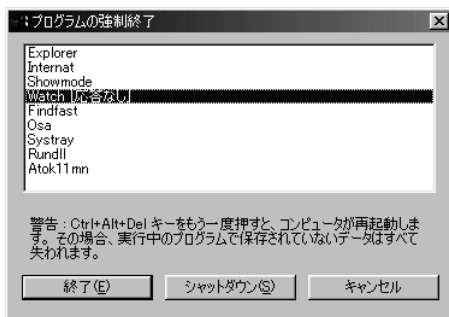
正しい電源の切りかた

「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックし、「電源を切れる状態にする」が選択されていることを確認して、「OK」ボタンをクリックします。しばらくすると、自動的に電源が切れます。

この方法で電源を切れないときには、アプリケーションに異常が起きていると考えられます。次の「プログラムの強制終了」に従ってください。

プログラムの強制終了

【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を同時に押すと、「プログラムの強制終了」の画面が表示されます。



プログラム名の右側に「応答なし」と表示されているプログラム(アプリケーション)をクリックし、「終了」ボタンをクリックします(このアプリケーションで編集した文書、画像などは保存できません)。もう一度、「スタート」ボタン→「Windowsの終了」を選択してください。

この方法でも電源を切れないときは、次の「強制的に電源を切る方法」に従ってください。

強制的に電源を切る方法

本機の電源スイッチを4秒以上押し続けてください。

なお、次のような設定を行っている場合には、電源スイッチを4秒以上押し続けても電源が切れず、一度スタンバイ状態になる場合もあります。(電源ランプがオレンジ色に点灯します)。

- ・ APMモードで「システムスイッチ」の設定を「スリープボタン」に設定
- ・ ACPIモードで「電源管理」の「詳細」タブの「コンピュータの電源ボタンを押したとき」の設定を「スタンバイ」に設定

その場合には、もう一度電源スイッチを4秒以上押し続けてください。電源ランプがオレンジ色から緑色に変わり、電源が切れると電源ランプが点灯しなくなります。

強制的に電源を切った場合は、再度電源を入れ直して下さい。スキャンディスクが始まりシステムに異常がないか検証が始まります。

システムに異常がない場合は、Windowsが起動しますのでもう一度正しい手順で電源を切ってください。



参照 システムスイッチの設定→『活用ガイド ハードウェア編』「PART2 システム設定」「省電力の設定」



Windows 98セットアップ中には、動作が止まったように見えても、セットアッププログラムは動作していることがあります。画面表示をよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。



ワープロなどで文書を保存せずにアプリケーションを終了した。または、電源を切った。保存していないデータを消してしまったアプリケーションを終了したり、電源を切ると、フロッピーディスクやハードディスクに保存していないデータは消えてしまいます。



万一のアクシデントに備えて、データはこまめに保存しておくようにしましょう。

スタンバイ機能を使おうとしたら…

本機には、作業を中断するときなどに、作業内容を記憶して本機の一部の電源を切るスタンバイ機能があります。スタンバイ状態から復帰するときには、本機の電源スイッチを押します。

参照

スタンバイ機能→『活用ガイド ハードウェア編』「PART1本体の構成各部」の「電源」



電源スイッチを押してもスタンバイ状態にする前の状態の画面が表示されない(スタンバイ状態から復帰できない)

アプリケーションや周辺機器はスタンバイ機能に対応していますか？対応していないアプリケーションや周辺機器でスタンバイ機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、スタンバイ機能は使わないでください。

電源ケーブルは正しく接続されていますか？

電源ケーブルをコンセントに接続します。

スタンバイ状態中に停電したり、電源ケーブルが抜けたりしませんでしたか？

スタンバイ状態中に停電したり、電源ケーブルが抜けたりすると、スタンバイ状態になる前の内容は消えてしまいます。

スタンバイ状態中やディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを約4秒以上押し続けませんでしたか？
スタンバイ状態中に電源スイッチを約4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、スタンバイ状態になる前の内容は消えてしまいます。



設定した時間にシステムスタンバイが実行されない

ACPIモードで使用時に、「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の「電源の管理」をダブルクリックし、「システムスタンバイ」の設定時間を「モニタの電源を切る」の設定時間よりも後にした場合、「システムスタンバイ」は「モニタの電源を切る」が実行されてからの時間となります。よって、次のような設定がされている場合、実際にシステムスタンバイが実行されるのは、「モニタの電源を切る」の20分後である35分後となります。

「システムスタンバイ」→20分後

「モニタの電源を切る」→15分後

「システムスタンバイ」を20分後に設定したい場合は、次のように設定してください。

例1:

「システムスタンバイ」→15分後

「モニタの電源を切る」→5分後

例2:

「システムスタンバイ」→20分後

「モニタの電源を切る」→なし

パソコンがこわれそう…



本機から煙が出たり、異臭がしたりする

本機が、手で触れられないほど熱い

本機から異常な音をする

その他、本機および本機に接続されたケーブル類に、目に見える異常が生じた

このようなトラブルが発生した場合は、次の手順で対応してください。

① すぐに電源を切る

電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜いてください。

② ご購入元、NECに相談する



参照 NECのお問い合わせ先→『メンテナンス&サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』



チェック!!

本機を安全に使用するための注意事項を『安全にお使いいただくために』に記載しています。本機をお使いになるときは、必ず注意事項を守ってください。



キーボードに飲み物をこぼしてしまった

『活用ガイド ハードウェア編』「PART3 付録」の「本機のお手入れ」に従って、柔らかい布などでふき取ってください。

キーとキーの間に入ってしまったときは、水分が乾くのを待ってからお使いください。

乾いた後で、キーを押しても文字が入力されないなどの不具合があるときは、ご購入元、NECにご相談ください。



NECのお問い合わせ先→『メンテナンス&サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』



ジュースなどをこぼしたときは、きれいにふき取っても内部に糖分などが残り、キーボードが故障することがあります。また、パソコンのそばで飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因となります。



安全ピン、クリップなど異物を本体内部に入れてしまった

すぐに電源を切り、電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜き、ご購入元にご相談ください。



チェック!!

発煙、発火や故障の原因となります。



CD-ROMから異常な音がする

CD-ROMにラベルなどを貼っていませんか？

CD-ROMにラベルなどを貼ると、回転時にバランスがとれず、異常な音が出ることがあります。

CD-ROMの表面にはラベルなどを貼らないでください。



CD-ROMの取扱い→『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「CD-ROMドライブ」

画面がおかしい…

参照 『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「ディスプレイ」



画面の表示位置やサイズがおかしい

ディスプレイセットモデルのディスプレイを使っているとき
『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「ディスプレイ」に従って、表示位置やサイズを見やすく調整してください。

別売のディスプレイを使っているとき

ディスプレイで表示位置やサイズを調節できることがあります。詳しくはディスプレイのマニュアルを見てください。



MS-DOSプロンプト画面がフルスクリーンになった

【Alt】を押したまま【Enter】を押してください。



画面が流れるように表示される

一部のDDC対応ディスプレイにおいて、ディスプレイ情報ファイル(Monitor.Inf)がないためにディスプレイの同期が取れず、画面が流れるように表示される場合があります。

この場合には、ディスプレイ製造元より最新のディスプレイ情報ファイル(Monitor.Inf)を入手し、セットアップしてください。

画面の設定を変えようとしたら…

ディスプレイの設定は、「コントロールパネル」の「画面」で行います。

参照

Windows 98の「ヘルプ」、『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「ディスプレイ」



ディスプレイの省電力機能が設定できない

ディスプレイの省電力機能は、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「電源の管理」をダブルクリックして設定します。

本機と別売のディスプレイを使っているときは、ディスプレイが省電力機能(パワーマネジメント機能)に対応しているか確認してください

省電力機能(パワーマネジメント機能)に対応していないディスプレイを接続しているときは、ディスプレイの省電力機能の設定はできません。セットモデルのディスプレイは、省電力機能に対応しています。別売のディスプレイを使うときは、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

「ディスプレイの詳細プロパティ」にディスプレイの種類は表示されていますか？

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「画面」をダブルクリックし、「設定」タブの「詳細」ボタンをクリックします。「ディスプレイの詳細プロパティ」の画面の「モニタ」タブに、「モニタ不明」と表示されているときは、省電力機能が使えません。セットモデルのディスプレイの種類は、『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「ディスプレイ」に従って指定してください。別売のディスプレイについては、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。



「ディスプレイの種類が指定されていません…」というメッセージが表示される

「ディスプレイの詳細プロパティ」にディスプレイの種類は表示されていますか？

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「画面」をダブルクリックし、「設定」タブの「詳細」ボタンをクリックします。別売のディスプレイをお使いの場合は、「ディスプレイの詳細プロパティ」の画面の「モニタ」タブに、「モニタ不明」と表示されることがあります。

この場合は、「変更」ボタンをクリックし、「デバイスの選択」の画面で使っているディスプレイの種類を指定してください。



ディスプレイに添付のマニュアル



表示できるはずの高解像度を選択できない

別売のディスプレイでは、プラグ&プレイ (DDC) 対応ディスプレイでも、ディスプレイの種類によっては、高解像度(1280×1024ピクセル)など、サポートしている表示モードの一部を選択できないことがあります。

次の操作で解像度が選択できるようになります。

①ディスプレイを接続し、Windows 98を起動する

起動時にディスプレイが検出されたことを表すメッセージが表示される場合があります。

②「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「画面」をダブルクリックし、「設定」タブをクリック

③「詳細」ボタンをクリックし、「モニタ」タブをクリック

④「オプション」の「プラグアンドプレイモニタを自動的に検出する」のチェックをはずす

⑤「OK」ボタンをクリックし、順に「OK」ボタンをクリックしてコントロールパネルを閉じる

⑥「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリック
「Windowsの終了」の画面が表示されます。

- ⑦「再起動する」をクリックして、「OK」ボタンをクリック
Windowsが再起動します。
- ⑧「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「画面」をダブル
クリックし、「設定」タブをクリック
- ⑨「詳細」ボタンをクリックし、「モニタ」タブをクリックして、「変更」ボタ
ンをクリック

 **チェック!!** 「モニタ不明」の場合は手順⑬へ進んでください。

- ⑩「次へ」ボタンをクリック
- ⑪「検索方法を選択してください。」というメッセージが表示されたら
「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールす
るドライバを選択する」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- ⑫「すべてのハードウェアを表示」を選択する
- ⑬「デバイスドライバの更新ウィザード」一覧より、「製造元」と「モデル」
を選択する

 **メ** **モ**

一覧に、接続したディスプレイのモデルが表示されない場合は、「製造元」
で「(標準モニタの種類)」、「モデル」では接続したディスプレイに対応し
た解像度を選択してください。

- ⑭「次へ」ボタンをクリックし、再び「次へ」ボタンをクリック
- ⑮「完了」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリック
- ⑯「OK」ボタンをクリック

これでディスプレイの設定が完了しました。
再起動後に、高解像度を選択できるようになります。



アイコンの表示がおかしい

「コントロールパネル」の「画面」で「設定」タブをクリックすると「色」の設定ができますが、「色」を「High Color」または「True Color」に設定した状態で「デザイン」タブの項目の設定を変更すると、ウィンドウ内のアイコンの表示が不正になる場合があります。この場合は、「画面プロパティ」の「デザイン」タブをクリックし、「指定する部分」で「ウィンドウ」を違う色に変更するとアイコン表示が元に戻ります。



シャットダウンできない

タスクバーにある画面の解像度や色数を変更できる「設定インジケータ」をクリックして設定を変更する際に、「新しい設定でコンピュータを再起動する」を選択して設定を変更すると、正常にシャットダウンできない場合があります。「設定インジケータ」から画面の解像度や色数を変更する場合、変更した後の再起動は「スタート」ボタンの「Windowsの終了」から行ってください。



アプリケーションの画面の色がおかしい

Windows 98の画面の色数を256色で使用すると、アプリケーションの画面の色が正しく表示されない場合があります。

この場合には、デスクトップの任意の場所を右クリックし、表示されたメニューの「アクティブデスクトップ」の「Webページで表示」をクリックして、「Webページで表示」の左に付いているチェックを外してください。



ファイル、フォルダがおかしい…

ファイルが見つからないときや、間違って消してしまったときは、ここを見てください。



ファイルが見つからない

ファイルがどのフォルダに入っているかわからないとき

わからないときは、「スタート」ボタン→「検索」→「ファイルやフォルダ」で探してください。

隠しファイルなど、ファイルを表示しない設定が有効になっていませんか？

マイコンピュータやエクスプローラの「表示」の「フォルダオプション」の「表示」タブの「詳細設定」の「ファイルの表示」で、「すべてのファイルを表示する」にチェックを付けてください。



必要なファイルを消してしまった

「ごみ箱」を開いて、フォルダやファイルが残っていないか確認してください

残っていたら、元に戻したいフォルダやファイルをクリックして、「ごみ箱」の「ファイル」メニューをクリックし、「元に戻す」をクリックすると元に戻すことができます。

ただし、フロッピーディスクやMOディスクおよびネットワーク上に保存されているフォルダやファイルを削除したときは、「ごみ箱」には保管されないの、元に戻すことはできません。



長いファイル名を付けられない、表示できない

MS-DOSやWindows 3.1用のソフトウェアを使っていますか？

Windows 98で、Windows 98用のソフトウェアを使っているときは、ドライブ名、フォルダ名、ファイル名を合わせて、半角で255文字までの長い名前を使えますが、Windows 98でMS-DOSやWindows 3.1用のソフトウェアを使っているときは、フォルダやファイルに長い名前を付けることはできません。



ファイルの拡張子が表示されない

マイコンピュータやエクスプローラの「表示」の「フォルダオプション」の「表示」タブの「詳細設定」の「ファイルとフォルダ」で、「登録されているファイルの拡張子は表示しない」のチェックマークを外してください。



文書を保存せずに電源を切った(または、アプリケーションを終了した)ら、データが消えた

電源をオフにすると、フロッピーディスクやハードディスクに保存していないファイルは消えてしまいます。万一に備えて、大切なファイルはこまめに保存しておくようにしましょう。



システムファイルチェッカーを使っていたらファイルが壊れていると表示された

工場出荷時直後の状態でも「システムファイルチェッカー」で変更のあったファイルをスキャンした場合、USER.EXEがこわれている旨のメッセージが表示される場合があります。

メッセージが表示された場合は、以下の手順でファイルを復元後、チェックを継続してください。

- ①「ファイルを復元する」を選択し、「OK」ボタンをクリック
- ②「ファイルの復元」の画面で「復元元」に「C:\WINDOWS\OPTIONS\CABS」と入力する
- ③「ファイルの保存先」が「C:\WINDOWS\SYSTEM」になっていることを確認し、「OK」ボタンをクリック
「バックアップ ファイル」の画面が表示されます。
- ④バックアップファイルを作る場合は、ファイルの保存先を指定し、「OK」ボタンをクリック
バックアップファイルを作らない場合は、「スキップ」ボタンをクリックします。
- ⑤「システム ファイルのスキャンが終了しました。」というメッセージ表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- ⑥再起動を促すメッセージが表示された場合は、「はい」ボタンをクリック

音がおかしい…

異常な音がするときや、スピーカの音を調整したいときは、ここを見てください。

参照

音量の調整→『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「サウンド機能」



異常な音がする

本機の内部から、ガリガリと物をひっかくような音がしたり、ガガガと引っ掛かるような音がしたとき

参照

「パソコンがこわれそう…」(P.199)をご覧ください。

ハードディスクを使っているとき

ディスクランプの点滅と合わせて、本体より小さな音がある場合がありますが、これはハードディスクドライブの動作によるもので異常ではありません。ご心配の場合には購入元にご相談ください。



スピーカから「キーン」という音がする(ハウリングを起こす)

マイクロホンスピーカに近づけると、スピーカから「キーン」という大きな音が出ることがあります。これをハウリングといいます。故障ではありません。マイクロホンスピーカを本体から遠ざけて、内蔵スピーカボリュームで音量を下げてください。



ダイヤラを利用時に音がでない

ダイヤラがボイス機能対応FAXモデムに対応していないのが原因です。ボイス機能対応のアプリケーションをご利用ください。

マウスを動かしても…

正常な状態では、マウスを動かすと、画面のマウスポインタが移動します。マウスポインタは、    など、形を変えることがあります。

参照

マウスの設定を変えるには→『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「マウス」の「設定を変更する」



マウスを動かしても、何も反応しない

マウスとキーボードおよびキーボードと本体との接続を確認してください

『はじめにお読みください』をご覧ください。マウスとキーボードおよびキーボードと本体を接続し直してください。マウスのコネクタがキーボードから抜けていたり、キーボードのコネクタが本体から抜けていたり、きちんと差し込まれていないとマウスの操作はできません。

しばらく待っても、マウスの操作ができないとき

プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)と思われます。Windowsの処理を止めているアプリケーションを強制終了してください。保存していないデータはなくなります。

参照

プログラムの強制終了の方法→「電源を切ろうとしたが…」(P.195)



マウスの動きが悪い

マウスの内部が汚れていませんか？

『活用ガイド ハードウェア編』「PART3 付録」の「本機のお手入れ」の「マウスのクリーニング」をご覧ください。マウスの内部を掃除してください。



デバイスマネージャの「PS/2互換マウスポート」のところに黄色い!が付いている

参照

「周辺機器を取り付けようとしたら…」(P.235)



「システム情報」→「コンポーネント」の「問題のあるデバイス」に「PS/2互換マウスポート」と表示されている

USB接続のキーボードがセットになったモデルの場合は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」の「システム情報」をクリックし、「コンポーネント」の「問題のあるデバイス」に「PS/2互換マウスポート」と表示されますが異常ではありません。

文字を入力しようとしたら…

文字は、キーボードから入力します。

使用できる日本語入力システムは、モデルによって異なります。

参照

キーボードの設定を変えるには→『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「キーボード」



キーボードのキーを押しても、何も反応しない

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処理をしているので、キーボードからの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。

キーボードと本体との接続を確認してください

『はじめにお読みください』をご覧ください、キーボードと本体を接続し直してください。

キーボードのコネクタが本体から抜けていたり、きちんと奥まで差し込まれていないとキーボードの操作はできません。

しばらく待っても、キーボードの操作ができないとき

プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)のだと思います。Windowsの処理を止めているアプリケーションを強制終了してください。

アプリケーションの強制終了ができない場合は、電源スイッチを4秒以上押し続けて強制的に電源を切ってください。このとき、保存していなかったデータはなくなります。

次に、キーボードと本体の接続を確認してください。

参照

プログラムの強制終了の方法→「電源を切ろうとしたが…」(P.195)



キーボードで押したキーと違う文字が表示される

キーボードの  (Caps Lock) ランプが点灯していませんか？

この状態では【Shift】を押していないときは大文字、押しているときは小文字が入力されます。

【Shift】を押したまま【Caps Lock】を押してランプを消すと、【Shift】を押していないときは小文字、押しているときは大文字が入力される状態になります。

日本語入力モードになっていませんか？

英字を入力したいときは、【Alt】を押したまま【半角/全角/漢字】を押して日本語入力システムをオフにします。



テンキーから数字が入力できない

キーボードの  (Num Lockキーランプ) は点灯していますか？

点灯していない場合は、テンキーからは数字を入力できません。キーボードの【Num Lock】を押してNum Lockキーランプを点灯させてください。



ひらがなや漢字の入力(日本語入力)ができない

日本語入力システムはオンになっていますか？

日本語入力システムを次のどちらかの方法でオンにしてください。

- ・ キーボードで【Alt】を押したまま【半角/全角/漢字】を押す
- ・ マウスでタスクバーの  (日本語入力インジケータ) をクリックし、「日本語入力-オン」をクリックする

参照

日本語入力システムの種類を切り替えるには→『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「キーボード」「日本語入力」
日本語入力システムそれぞれの設定の変更→日本語入力システムのヘルプ



「~」(チルダ)を入力したい

【Shift】を押したまま、 を押します。



「_」(アンダースコア、アンダーバー)を入力したい
【Shift】を押したまま、**[`]**を押します。



記号などで入力できない文字がある

日本語入力システムを使っても入力できないような文字は、文字コード表を使って入力します。

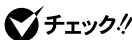
文字コード表は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」の「文字コード表」をクリックしてください。



文字コード表の文字をクリックして、「コピー」をクリックし、文書を開いているアプリケーションの「編集」メニューの「貼り付け」を選択します。

参照

文字コード表の使いかた→文字コード表のヘルプ



チェック!

ご使用になるアプリケーションによっては、貼り付けた先でフォントを再指定する必要があるものがあります。

ファイルを保存しようとしたら…

ソフトウェアで、文書や画像などのファイルを保存しようとして、うまくいかないときは、ここを見てください。

参照

『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「ハードディスクドライブ」、「フロッピーディスクドライブ」および「スーパーディスクドライブ」



ハードディスクに保存できない

ディスクの空き容量を確認してください

「ハードディスクの空き容量が足りない」(P.225)に従って空き容量を増やしてください。ディスクの空き容量よりもサイズが大きいファイルは保存できません。



フロッピーディスク、スーパーディスクに保存できない

ライトプロテクトされていませんか？

ライトプロテクトされているときは、ライトプロテクトを解除してください。

フロッピーディスク、スーパーディスクには、記録されている内容を間違えて消したり、変更してしまわないように、書き込みを保護する機能（ライトプロテクト機能）があります。ファイルを保存するときは、ライトプロテクトノッチを書き込みできる方にずらしてください。

ディスクには、本当に書き込みをしていいか、もう一度確認しましょう。

ディスクの空き容量を確認してください

ディスクの空き容量が足りないときは、いらないファイルを削除するか、別のディスクを使ってください。ディスクの空き容量よりもサイズが大きいファイルは保存できません。



CD-ROMに保存できない

CD-ROMは読み込み専用のディスクなので、ファイルを保存することはできません。



CD-RWに保存できない

CD-RWにデータを保存するためには、Easy CD Creator Lite または DirectCDが必要です。

参照

Easy CD Creator Lite、DirectCDの追加方法→「PART1 アプリケーションの概要と削除/追加」の「Easy CD Creator Lite」、「DirectCD」



長いファイル名を付けられない

「ファイル、フォルダがおかしい…」(P.206)をご覧ください。



LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続しようとしたら…

LANの接続については、ネットワーク管理者に相談してください。
ネットワークを運用中は、リンクケーブルを取り外さないでください。



ネットワークに接続できない

接続後はデスクトップの「ネットワークコンピュータ」からもLANを使用することができます。この画面には本機と、同じネットワークに接続している他のコンピュータが表示されます。

ネットワークコンピュータに「ネットワーク全体」のアイコンしか表示されない

ネットワークが正常に接続されていないか、ネットワークソフトウェアの設定が正しくありません。接続の方法やネットワークソフトウェアを確認してください。

ネットワークコンピュータに自分のコンピュータしか表示されない

接続しようとしているドメインまたはワークグループが一致しているか確認してください。設定されているドメインまたはワークグループは、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「ネットワーク」で調べることができます。



チェック!!

ネットワークコンピュータに表示されるまでには時間がかかることがあります。その場合は、しばらく待ってから「表示」メニューの「最新の情報に更新」をクリックしてください。



共有ファイルやフォルダが使えない

ネットワーク上で、本機と、他のコンピュータとでファイルを交換するためには設定が必要になります。

本機が共有を行う設定になっていない

共有ドライブ、フォルダを設定してください。ネットワークに接続された他のコンピュータから本機を利用するには、「共有する」の設定が必要です。

まず「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、共有サービスが追加されているか確認します。追加されていない場合は追加してください。

参照

『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード」

共有ドライブまたはフォルダを右クリックし、表示されたメニューの中から「共有」をクリックしてください。共有設定が行われるとドライブやフォルダのアイコンが変わります。

共有ドライブやフォルダにアクセス権が設定されている

共有ドライブやフォルダには、その所有者がアクセス権を設定できるようになっています。アクセス権が設定されている場合、まったく利用できないか、読み取りのみ可能な設定、読み取りも書き込みも可能な設定と、いくつかのパターンが設定されます。



チェック!!

共有を設定した当初は「読み取り専用」の設定になっています。



FAXモデムを使おうとしたら…



内蔵FAXモデムボードを4線式の回線につなぎたい

4線式の回線は接続できません。2線式の回線を接続してください。



FAX受信中に回線が切断されてしまう

FAX受信中にCD-ROMなどを出しませんでしたか？

FAX受信中にCD-ROMなどを出す(イジェクトを実行する)と、回線が切断されてしまう場合があります。

受信中はCD-ROMなどを出さないようにしてください。



ダイヤルが正常に実行できない

「ダイヤラ」で、ダイヤルが正常に実行できない場合は、「ダイヤル中」ダイアログボックスの「オプションの変更」ボタンをクリックし、「リダイヤルする番号」の先頭に表示されている「T」または「P」の文字を削除してからリダイヤルしてください。

印刷しようとしたら…

印刷がうまくいかないときは、その原因として、プリンタやケーブル、プリンタドライバ、アプリケーションの設定などが考えられます。1つずつ確認してください。

参照

プリンタ接続と設定方法→プリンタに添付されているマニュアル『活用ガイド ハードウェア編』「PART2 システム設定」の「ハードウェア環境の設定」



プリンタから印刷できない、プリンタから意味不明の文字が印字される

プリンタの電源は、入っていますか？

プリンタのマニュアルを見て電源を入れてください。

接続ケーブルがはずれていたり、接触不良を起こしていませんか？

プリンタのマニュアルに従って、本体とプリンタを接続し直してください。

プリンタが用紙切れ、トナー、インク切れになってませんか？

プリンタのマニュアルに従って用紙やトナー、インクを補充してください。

プリンタが印刷可能な状態(オンライン)になっていますか？

プリンタの「印刷可」や「オンライン」の表示を確認してください。また、プリンタのマニュアルに従って設定を確認してください。

プリンタのテスト印字はできますか？

プリンタには一般にテスト印字する機能があります。この機能を使ってプリンタの印字テストを行ってください。テスト印字ができないときは、プリンタの故障が考えられます。プリンタの製造元にご相談ください。

プリンタの製造元が推奨するプリンタケーブルを使っていますか？

プリンタによっては、プリンタ製造元の指定したケーブルを使わないと印刷がうまくいかないものがあります。プリンタのマニュアルを見てケーブルを確認してください。

プリンタ専用のプリンタドライバがインストールされていますか？

新しくプリンタを接続したときは、プリンタドライバのセットアップが必要です。プリンタのマニュアルに従ってセットアップしてください。

プリンタドライバの設定を確認してください

プリンタドライバの設定によっては、正しく印刷されないことがあります。プリンタのマニュアルに従って正しく設定してください。

本機のシステム設定を確認してください

パラレルポート(プリンタ)に関する設定があります。

参照

『活用ガイド ハードウェア編』「PART2 システム設定」「ハードウェア環境の設定」

プリンタがLANに接続されていますか？

プリンタがLAN接続されている場合は、ルータおよびマルチポートリピータの電源を確認してください。

フロッピーディスクを使っていたら…

フロッピーディスクまたはスーパーディスクを使っていて問題が起きたときは、ここを見てください。

参照

フロッピーディスク、スーパーディスクの使い方→『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「フロッピーディスクドライブ」または「スーパーディスクドライブ」



「マイコンピュータ」の3.5インチFDをダブルクリックしたが、フロッピーディスクまたはスーパーディスクの内容が表示されない

パソコンが反応しない(フリーズした)とき

BIOSセットアップメニューの内容を工場出荷時の設定値に戻す場合には、デフォルト値を読み込んだ後に、ご使用のモデルに合わせて、設定を変更する必要があります。

参照

『活用ガイド ハードウェア編』「PART2 システム設定」BIOSセットアップメニュー」の「工場出荷時の状態に戻す」

「デバイスの準備ができていません」と表示されたとき

フロッピーディスクをいったん取り出し、ラベルの貼られた方を手前、上向きにし、フロッピーディスクドライブの奥まで入れて「再試行」ボタンをクリックしてください。

同じメッセージが表示されたときは、「キャンセル」ボタンをクリックし、フロッピーディスクを取り出し、別売のクリーニングディスクを使ってヘッドをクリーニングしてください。

クリーニング後、フロッピーディスクを入れても同じ現象が起きるときは、他のフロッピーディスクを入れてみてください。

このとき、他のフロッピーディスクをセットすると内容が表示されるときは、元々のフロッピーディスクの内容がこわれていると考えられます。復旧は困難です。

他のフロッピーディスクをセットしても内容が表示されないときは、フロッピーディスクドライブの故障が考えられます。ご購入元、NECにご相談ください。

参照▶ NECのお問い合わせ先→『メンテナンス&サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』

メ モ

フロッピーディスクドライブのヘッドが汚れると、フロッピーディスクを読むことができなくなります。ひと月に一回を目安にクリーニングディスクを使ってクリーニングしてください。

クリーニングディスクについては、ご購入元、NECにご相談ください。

また、フロッピーディスクがこわれた場合に備えて、フロッピーディスクの内容はバックアップをとっておくようにしましょう。

参照▶ バックアップの方法→「PART1 アプリケーションの概要と削除/追加」「Masty Data Backup」(P.36)、Windowsのヘルプ

「ディスクはフォーマットされていません」と表示されたとき

セットしたフロッピーディスクは、本機では読めないフォーマットのフロッピーディスクか、フォーマットされていません。

フロッピーディスクに必要なファイルが入っていないければ、「はい」ボタンをクリックし、フォーマットしてから使ってください。

参照▶ フロッピーディスクのフォーマット→『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「フロッピーディスクドライブ」、「スーパーディスクドライブ」



フロッピーディスク、スーパーディスク、Zipディスクの読み込みはできるが、書き込み(保存)ができない

「ファイルを保存しようとしたら…」(P.214)をご覧ください。



フロッピーディスクに飲み物をこぼしてしまった

本体の故障の原因になるので、汚れたフロッピーディスクは使わないでください。

フロッピーディスクを汚してしまい、保存しておいたデータが使えなくなってしまったときに備えて、バックアップをとっておくようにしましょう。



本機に添付のフロッピーディスクを修復したい

参照

「添付品の修復、再入手方法について」(P.257)



フォーマットができない

本機で読み書きまたはフォーマットできるフロッピーディスクについては、『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「フロッピーディスクドライブ」、「スーパーディスクドライブ」をご覧ください。



ディスクコピーできない

MS-DOS Ver6.2以前のFORMATコマンドでフォーマットしたフロッピーディスクを「MS-DOSプロンプト」からDISKCOPYコマンドでディスクコピーすることはできません。フロッピーディスクのディスクコピーを行う場合は、「マイコンピュータ」の「3.5インチFD」を右クリックし、表示されたメニューから「ディスクのコピー」をクリックしてください。



ドライブスペース3を使用してフロッピーディスクを圧縮したとき、圧縮されたフロッピーディスクがプログラム上から認識できない

以下の手順により、圧縮されたフロッピーディスクを認識することができます。

- ①「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」の「ドライブスペース」をクリック
- ②「ドライブスペース3」の画面で「このコンピュータのドライブ」に「圧縮フロッピーディスク」を選択する
- ③「詳細」メニューの「マウント」をクリック
- ④ドライブスペース3を終了する

ハードディスクを使っていたら…



ハードディスクの動作速度が遅い

ハードディスクを長い間使っていると、データがディスクの空いている場所にばらばらに保存されるようになります。データが連続していないと、データを読み書きする時間が長くなります。このようなばらばらになったデータを最適な場所に整理するには「デフラグ」を行ってください。

参照

デフラグの方法→『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「ハードディスクドライブ」



ハードディスクに障害がおきた

軽い障害であれば、スキャンディスクプログラムを使って修復することができます。

参照

『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「ハードディスクドライブ」



ハードディスクの空き容量が足りない

ハードディスクの空き容量を増やすには、次の方法があります。

ハードディスクを増設する

ハードディスクの増設の方法は、『ハードウェア拡張ガイド』をご覧ください。

ディスククリーンアップを使う

ディスククリーンアップを実行すると、ハードディスクの空き容量を増やすことができます。ディスククリーンアップはハードディスクの内容を検索し、一時ファイル、インターネット一時ファイル、および削除しても影響のない不要なプログラムファイルの一覧を表示します。

ディスククリーンアップは、次の方法で起動することができます。

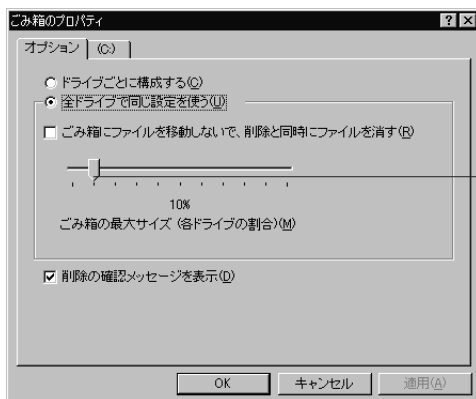
「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「ディスククリーンアップ」をクリック

「ごみ箱」を空にする

削除したファイルは、ハードディスクからすぐに削除されずに、デスクトップの「ごみ箱」に入っています。ごみ箱を空にすると、ごみ箱に入っていたファイルの分だけハードディスクが空きます。ごみ箱を空にするときは、「ごみ箱」を右クリックし、「ごみ箱を空にする」をクリックします。

「ごみ箱」の最大サイズを小さくする

ごみ箱の設定は、「ごみ箱」を右クリックし、「プロパティ」をクリックして、表示される「ごみ箱のプロパティ」で行います。



ここをドラッグして最大
サイズを調整する

「ドライブスペース3」でハードディスクの内容を圧縮する

ドライブスペースを使ってハードディスクの内容を圧縮すると、空き容量を増やすことができます。

ドライブスペース3が動作中に、一般保護違反のエラーが発生する場合は、以下の手順で「スタートアップ」フォルダのすべてのファイルを別のフォルダに移動させた後、ドライブスペース3を実行してください。

- ①「スタート」ボタン→「設定」→「タスクバーと[スタート]メニュー」をクリック
- ②「タスクバーのプロパティ」の画面が表示されたら、「[スタート]メニューの設定」タブの「詳細」ボタンをクリック
- ③「エクスプローラ」が起動するで、「すべてのフォルダ」欄の「プログラム」をクリック

④「ファイル」メニュー→「新規作成」→「フォルダ」をクリック

ここでは、新たに作成したフォルダの名称を「tmp」として説明します。

⑤「すべてのフォルダ」欄の右側に表示されている「スタートアップ」フォルダをクリック

⑥「エクスプローラ」の「編集」メニュー→「すべて選択」をクリック

⑦反転表示した部分を右ボタンでドラッグし、そのまま「すべてのフォルダ」欄の手順④で作成した「tmp」フォルダにドロップして、「ここに移動」をクリックし、「スタートアップ」フォルダのすべてのファイルを「tmp」フォルダに移動させる

⑧「エクスプローラ」を終了させ、「タスクバーのプロパティ」の画面の「OK」ボタンをクリック

⑨Windows 98を再起動する

⑩再起動後、ドライブスペース3を実行する

ドライブの圧縮後、「tmp」フォルダのすべてのファイルを「スタートアップ」フォルダに戻し、「tmp」フォルダを削除後、Windows 98を再起動する

参照

ドライブスペース3→「スタート」ボタン→「ヘルプ」の「キーワード」タブで「ドライブスペース3」

インストールされているアプリケーションを削除する

すぐに使わないアプリケーションをハードディスクから削除すると、ハードディスクの空き容量を増やすことができます。

参照

アプリケーションの削除→「PART1 アプリケーションの概要と削除/追加」(P.1)

別売のアプリケーションの削除については、そのアプリケーションに添付されているマニュアルをご覧ください。



ファイルをごみ箱に捨てても、ハードディスクの空き容量が増えない

削除したり「ごみ箱」にドラッグしたファイルは、ハードディスクからすぐに削除されずに、「ごみ箱」に保管されます。「ごみ箱」に保管されているファイルをハードディスクから削除したいときは、「ごみ箱」を右クリックし、「ごみ箱を空にする」をクリックしてください。



領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない

カタログなどに記載されているハードディスクの容量は、1Mバイト＝1,000,000バイト、1Gバイト＝1,000,000,000で計算しています。これに対し、ハードディスクを領域作成するときには、1Mバイト＝1,048,576バイト、1Gバイト＝1,073,741,824バイトで計算しているので、容量が少なく表示されることがありますが、故障ではありません。



ハードディスクを増設したい

本機に増設できるハードディスクの種類についてはインターネットのホームページ「98Information」で情報を提供しています。次のアドレスにアクセスしてください。

<http://www.nec.co.jp/98/>

CD-ROMを使っていたら…

参照

CD-ROMのセットのしかた、CD-ROMドライブの使用上の注意→『活用ガイドハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「CD-ROMドライブ」



CD-ROMドライブのディスクトレイを出し入れできない

本機の電源は、入っていますか？

本機の電源を入れて、トレイイジェクトボタンを押してください。

電源が切れている状態では、出し入れできません。

電源が入っているのに、CDトレイが出てこない場合は、『活用ガイドハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「CD-ROMドライブ」の「非常時のディスクの取り出し」に従って強制的に出してください。

アクセス中またはアプリケーションの動作中ではありませんか？

アクセス中またはアプリケーションの動作中は、CDトレイイジェクトボタンを押してもすぐに応答しません。



CD-ROMをセットしても自動起動しない

そのCD-ROMは、自動起動に対応していますか？

自動起動に対応していないCD-ROMは自動起動できません。CD-ROMの説明書で確認してください。

対応していないときは、Windows 98のデスクトップ画面の「マイコンピュータ」からCD-ROMドライブをクリックし、表示されるウィンドウの中のアイコンをダブルクリックして起動してください。

CD-ROMのプロパティで自動起動が設定されていますか？

次の手順でCD-ROMドライブのプロパティを確認します。

- ①「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリック
- ②「CD-ROM」の前の  をクリックし、表示されたCD-ROMドライブ名をダブルクリック

③「設定」タブをクリック

④「挿入の自動通知」のチェックボックスがチェックされていない場合は、チェックを付ける



ここにチェックが付いていないとCD-ROMの自動起動ができません。
画面はモデルによって異なります。

⑤「OK」ボタンをクリック

⑥「閉じる」ボタンをクリック

⑦再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
Windowsを再起動してください。



CD-ROMのデータを読み出せない、音楽CDの再生中に音飛びする

CD-ROM、音楽CDは正しくセットされていますか？

CD-ROM、音楽CDの表裏を確認し、本体のCDトレイの中心にセットしてください。

CD-ROM、音楽CDが汚れていませんか？

CD-ROMが汚れているときは、乾いた柔らかい布で内側から外側に向かってふいてから使ってください。

参照

CD-ROMを取り扱うときの注意→『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「CD-ROMドライブ」

CD-ROM、音楽CDに傷が付いていませんか？

傷が付いているCD-ROM、音楽CDは使えないことがあります。

メモ

添付されているCD-ROMに傷が付いて使えなくなったときなどは、有料で交換いたします。

参照

CD-ROMの交換のお問い合わせ先→『メンテナンス&サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』

本機になんらかの振動を与えませんでしたか？

振動を与えないようにして操作をやり直してください。

本機で使えるCD-ROMかどうか確認します

本機で使えるCD-ROMを使ってください。

メモ

アプリケーションなどのCD-ROMは、一般にOSごとに専用のものが用意されています。例えば、Windows 98を使うときは、Windows 98に対応したCD-ROMを使ってください。

音楽CDを再生中にフロッピーディスクを出し入れしませんでしたか？

音楽CDを再生中にフロッピーディスクを出し入れすると、音飛びの原因となります。

音楽CDの再生中はフロッピーディスクを出し入れしないでください。



再生中の動画がとぎれる、なめらかに再生されない

動画データ再生中に、他のアプリケーションを実行していませんか？

他のアプリケーションを終了させてください。



動画データのCD-ROMの再生には、パソコンの処理能力が多く必要になります。このため、複数のアプリケーションを同時に使うと動画データの処理が追いつかなくなり、画像がとぎれたり、なめらかに再生されなくなったりします。

再生中に、ウィンドウの大きさや位置を変えませんでしたか？

動画を再生中にウィンドウの大きさや位置を変えると、音飛びや画像の乱れの原因になります。ウィンドウの大きさや位置を変えるときは、いったん動画の再生を停止してからにしてください。



動画の再生中に画面が消えてしまう

Video CDなど、MPEG形式の動画を再生中にディスプレイの省電力機能が働いたり、スタンバイ状態になった場合、再生画面が消えてしまいます。動画を再生するときはディスプレイの省電力機能や、スタンバイ状態にならないように設定してください。



スタンバイ状態→『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「電源」



CD-ROMドライブのドライブ番号を変えたい

本機に標準で装備されているCD-ROMドライブのドライブ番号は、Qドライブに設定されていますが、別売のCD-ROMドライブを増設したときやCD-ROMドライブの設定を変更したときなどには、特に指定しなければ最後のハードディスクドライブの次の番号が割り当てられます(最後のハードディスクドライブがDドライブの場合はEドライブ)。CD-ROMドライブのドライブ番号を変更する場合は、次のように操作してください。

ここではQドライブに設定する方法を説明します。

- ①「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリック、「デバイスマネージャ」タブをクリック
- ②「CD-ROM」の前の  をクリックし、表示されたCD-ROMドライブ名をダブルクリック
- ③「設定」タブをクリック
- ④「予約ドライブ文字」の「開始ドライブ文字」の  をクリックし、表示された一覧の中から「Q:」を選択する



終了ドライブも自動的に変更されます。

画面はモデルによって異なります。

- ⑤「OK」ボタンをクリック
- ⑥「閉じる」ボタンをクリック

- ⑦再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
Windowsを再起動してください。



MS-DOSモードでCD-ROMドライブを使いたい

工場出荷時の状態のままでは、MS-DOSモードでCD-ROMドライブは使用できませんので、「PART3 他のOSを利用する」の「Windows 98でMS-DOSモードを利用する」(P.134)をご覧くださいの上設定してください。



添付されていたCD-ROMが使えなくなった、こわれた

本機に添付されているCD-ROMに傷が付いて使えなくなったときなどは、有料で交換いたします。

参照

CD-ROMの交換のお問い合わせ先→『メンテナンス&サポートのご案内』
『NEC PC あんしんサポートガイド』

周辺機器を取り付けようとしたら…

周辺機器を取り付けるときは、周辺機器のマニュアルを見て接続してください。

参照 → 周辺機器のマニュアル、『ハードウェア拡張ガイド』



メモリが足りない、増やしたい

いくつものアプリケーションを同時に起動したり、メモリをたくさん使うアプリケーションを使うときは、メモリが足りなくなることがあります。別売の増設RAMサブボードを取り付けることで、メモリを増やすことができます。

参照 → メモリの増設 → 『ハードウェア拡張ガイド』



周辺機器を取り付けたい

『ハードウェア拡張ガイド』や周辺機器のマニュアルをご覧ください。



本機で使っている割り込みレベルを知りたい

- ・工場出荷時の状態は『活用ガイド ハードウェア編』「PART3 付録」の「割り込みレベル一覧」をご覧ください。
- ・現在の割り込みレベルについては「デバイスマネージャ」の「コンピュータのプロパティ」で参照してください。



デバイスマネージャの「PS/2互換マウスポート」のところに黄色い!が付いている

USB接続のキーボードがセットになったモデルの場合は、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックして、「デバイスマネージャ」タブ画面の中の、マウスの下「PS/2互換マウスポート」のところに黄色い!が付いていますが、異常ではありません。その他のところで赤い×や黄色い!が付いている場合は、その周辺機器が何らかの原因で正常に動作していないことを表示しています。Windowsのヘルプや周辺機器のマニュアル、または『ハードウェア拡張ガイド』をご覧の上、正常に動作するように問題を解決してください。



PC-9800シリーズで使用していたプリンタが使用できない

プリンタインターフェース変換アダプタ(PK-CA101)を使うことにより、PC-9800シリーズで使用していたプリンタが使えるようになります。なお、プリンタによっては変換アダプタを使用すると動作しないことがあります。

参照

プリンタインターフェース変換アダプタ→『活用ガイド ハードウェア編』
「PART1 本体の構成各部」「各部の名称」の「パラレルコネクタ」



PC-9800シリーズで使用していた1stシリアル機器が使用できない

RS-232C変換アダプタ(PK-CA102)を使うことにより、PC-9800シリーズで使用していたシリアル機器が使えるようになります。なお、周辺機器によっては、変換アダプタを使用すると動作しないことがあります。

参照

RS-232C変換アダプタ→『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」「各部の名称」の「シリアルコネクタ」または「シリアルコネクタ1,2」



PCIボードを取り付けたが動作しない、PCIボードを取り付けたらパソコンが起動しなくなった、他の機能が使えなくなった

PCIボードをパソコンに取り付けようとしても、割り込みが不足していることがあります。そのときは、BIOSセットアップメニューで、使っていない割り込みデバイスの割り込みを「使用しない」に設定してください。例えば、シリアルポート(B)を「使用しない」に設定すると、それまでシリアルポート(B)に割り当てられていた割り込みをPCIボードで使えるようになります。

参照

BIOSセットアップメニュー→『活用ガイド ハードウェア編』「PART2 システム設定」

メモ

他社の周辺機器を使用する場合、最新のドライバを各メーカーより入手してください。お持ちのドライバが最新かどうか分からないときは、各メーカーへお問い合わせください。



シリアルポート(B)を使いたい

工場出荷時ではシリアルポートBは使用しない設定になっております。使用する場合は以下のように設定してください。

なお、MA40H/S、MA55J/C、MA50J/C、MA45J/C、MA40H/C、MA40H/L、MA35L/Rをお使いの場合は、シリアルポート(B)はサポートしていませんので、使用できません。

- ① 本体の電源を入れる
- ② 「NEC」のロゴの画面で「<F2>:BIOSセットアップメニューを起動します、<F12>:ネットワークブートします。」と表示されたら、【F2】を押して「BIOSセットアップメニュー」を起動させる
- ③ 「BIOSセットアップメニュー」の「詳細」→「周辺機器設定」→「シリアルポートB」の設定を「使用する」にする
- ④ 【F10】を押し、「はい」を選択して「BIOSセットアップメニュー」を終了させ、再起動する
- ⑤ 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリック
- ⑥ 「通信ポート(COM2)」が他のデバイスと競合していないことを確認する



SCSIボードを2枚増設して使用したい

Windows 98では、SCSIボードを複数枚使用することはできません。Windows NT4.0を使用してください。



ハードウェアウィザードを実行すると、「Sound Blaster Pro Compatible」および「ゲームポートジョイスティック」がデバイスマネージャに追加される

ハードウェアウィザードを実行すると、「Sound Blaster Pro Compatible」が組み込まれる場合があります。この場合は、次の手順で削除してください。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「システム」をダブルクリック
- 3 「デバイスマネージャ」タブをクリック
- 4 「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」の「Sound Blaster Pro Compatible」および「ゲームポートジョイスティック」を削除する

アプリケーションを使っていたら…

アプリケーションを使う前、または使っていてトラブルが起きたときはここを見てください。



動作が非常に遅くなった

ハードディスクの中にデータがたくさん蓄積されたため、ハードディスクの空き領域が減り、Windows 98の動作が遅くなった可能性があります。

Windows 98のインストールされているハードディスクのアイコンにマウスポインタを合わせて「プロパティ」を選択し、空き領域を確認してください。空き領域が100MBより少なくなっている場合は、必要のないデータを削除したり、アプリケーションを別のハードディスクにインストールしてCドライブから削除したりしてください。

参照

「ハードディスクを使っていたら…」 「ハードディスクの空き容量が足りない」 (P.225)



フルカラーにするようにというメッセージが表示された

アプリケーションの中には、画面の表示色をフルカラーにしないと正常に動作しないものがあります。このときは、「コントロールパネル」の「画面」を使って画面の表示色を変更してください。



文書を保存せずに電源を切った(またはアプリケーションを終了した)ら、データが消えた

「ファイル、フォルダがおかしい…」 (P.206) の「文書を保存せずに電源を切った(またはアプリケーションを終了した)ら、データが消えた」をご覧ください。



文字を入力できない

「文字を入力しようとしたら…」(P.211)をご覧ください。



起動しなくなった

複数のアプリケーションが起動していませんか？

すでに複数の他のアプリケーションが起動しているときは、それらを終了してから起動してください。それでも起動しないときは、本機を再起動してください。



複数のアプリケーションが起動していると、メモリが不足して新たにアプリケーションを起動できないことがあります。

アプリケーションを起動するために必要なメモリ容量は、そのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。



メモリを増設するには→『ハードウェア拡張ガイド』



スタンバイ状態から復帰しない

そのアプリケーションはスタンバイ機能に対応していますか？

対応していないアプリケーションでスタンバイ機能を使うと、正常に動作しなくなることがあります。対応していないアプリケーションでは、スタンバイ機能は使わないでください。

この機能を使って電源を切ることができなくなったときは、4秒以上電源スイッチを押し続けて強制的に電源を切ってください。



スタンバイ機能→『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「電源」



削除を中断したら使用できなくなった

「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」で、アプリケーションを選択して「追加と削除」ボタンをクリックした後は、途中で中断してもそのままではアプリケーションを使用できない場合があります。その際にはWindowsを再起動後、アプリケーションを使用してください。



工場出荷時にインストールされたアプリケーションを削除したい
「PART1 アプリケーションの概要と削除/追加」(P.1)をご覧ください。

メモ

一度削除すると再セットアップしないかぎり元に戻せない(追加できない)アプリケーションもあります。削除するときは十分注意してください。



アプリケーションをインストールできない、動作しない

アプリケーションがこのパソコンに対応しているか確認します。
アプリケーションによっては、このパソコンでは動作しないものや、別売の周辺機器が必要なものがあります。アプリケーションのマニュアルで「動作環境」や「必要なシステム」を確認してください。

アプリケーションのインストール先がAドライブになっていませんか？

インストール先をハードディスクのドライブ名(工場出荷時の状態ではCドライブ)に変えて、インストールしてください。

デスクトップがWebページで表示されていませんか？

デスクトップをWebページで表示していると、アプリケーションがインストールできない場合があります。その場合は以下の手順を行ってください。

インストールできるときがあります。

- ① デスクトップの任意の場所で右クリック
- ② 表示されたメニューの「アクティブデスクトップ」の「Webページで表示」をクリックし、「Webページで表示」の左に付いているチェックを外す

Windows 98対応と明記されていないMS-DOS用、Windows 3.1用またはWindows 95用のアプリケーションをインストールしようとしていませんか？

MS-DOS、Windows 3.1用またはWindows 95用のアプリケーションの中には、Windows 98にはインストールできないものがあります。Windows 98対応と明記されていないアプリケーションについてはアプリケーションのメーカーにお問い合わせください。



Windows 3.1対応ソフトウェアが起動しない。使っていたら本体が反応しなくなった

以下の内容はWindows 3.1対応アプリケーションが正常に動作しないときの対処方法です。

お使いになっているWindows 3.1対応ソフトウェアの動作環境を確認してください

Windows 3.1用のアプリケーションの中には、Windows 98では動作しないものがあります。詳しくはアプリケーションの製造元にお問い合わせください。

MS-IME98、ATOK12を使っていますか？

MS-IME98、ATOK12を標準でご使用の状態でWindows 3.1用に開発されたアプリケーションを実行すると、まれに(主としてセットアップ時に)プログラムが停止する場合があります。次の方法でWindows 3.1対応アプリケーションのWindows 98への対応を行ってください。なお、通常はWindows 98への対応を行う必要はありません。そのままWindows 3.1対応アプリケーションをお使いください。

また、Windows 3.1対応アプリケーションのWindows 98対応は1つのアプリケーションに対して一度だけ行えば以後毎回有効です。ただし、アプリケーションが異なった場合は、そのアプリケーションのために再度次の方法を行う必要があります。

WIN.INIを変更する前にWIN.INIのコピーをとっておきます。

次の方法ではWIN.INIを変更しますので、「手順」を実行される前にWindows 98のフォルダ(既定値では、C:\WINDOWS)にあるWIN.INIのコピーをとっておくことをおすすめします。

以下の手順でクイックビューアをセットアップします。すでにクイックビューアのセットアップを行っている場合は、手順⑦へお進みください。

- ①「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- ②「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック
- ③「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」の画面の「Windows ファイル」タブをクリック
- ④「ファイルの種類」の中から「アクセサリ」をクリックし、「詳細」ボタンをクリック
- ⑤「ファイルの種類」の中から「クイックビューア」の左に付いているチェックボックスをチェックし、「OK」ボタンをクリック
- ⑥「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」の画面で「OK」ボタンをクリック
クイックビューアのセットアップが行われます。
- ⑦Windows 98のデスクトップの画面を表示して「マイコンピュータ」をダブルクリック
- ⑧症状の起きたWindows 3.1対応アプリケーションのあるドライブまたはフォルダをダブルクリックし、実行プログラムのアイコンを右クリック
セットアップ中に症状が起きた場合は、セットアッププログラムのアイコンを右クリックしてください。
- ⑨メニューから「クイックビューア」をクリック
選択したWindows 3.1対応アプリケーションの情報(テクニカルファイル情報)を表示する画面が開きます。
- ⑩「モジュール名:」の右側に表示されている文字をメモする
ここでは仮に「ABC」とします。
- ⑪「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行(R)…」をクリック
- ⑫「名前(O)」欄に「WIN.INI」と入力する
- ⑬「OK」ボタンをクリック
「メモ帳」が起動して、WIN.INIが表示されます。

- ⑭「検索」メニューから「検索」をクリック
「検索」ダイアログが開きます。
- ⑮「検索する文字列:」欄に「[Compatibility]」と入力する
- ⑯「次を検索」ボタンをクリック
本文内の「Compatibility」が選択されます。
- ⑰「検索」ダイアログ内の[キャンセル]ボタンをクリック
- ⑱【End】を押す
「Compatibility」の後ろにカーソルが移動します。
- ⑲【Enter】を押す
新しい行が作成されます。
- ⑳手順⑩でメモした文字(ここではABC)を入力する
- ㉑手順㉑で入力した文字に続けて「=0x00400000」を入力する(xはアルファベット小文字のエックスです)
手順⑲で作成された行に以下の内容が表示されます。
ABC=0x00400000
- ㉒「メモ帳」の「ファイル」メニューから「上書き保存」をクリック
- ㉓「メモ帳」の「ファイル」メニューから「メモ帳の終了」をクリック
- Windows 3.1対応アプリケーションがご使用になれます。



再セットアップするときに、インストールするアプリケーションを選択したい

アプリケーションを選択して再セットアップすることはできません。ただし、一太郎モデル、Wordモデルや一太郎9&1-2-3 2000モデルでは、再セットアップしてもそれぞれ一太郎9・花子9パック、Word&Excelや一太郎9&1-2-3 2000はセットアップされません。「PART1 アプリケーションの概要と削除 / 追加」(P.1)をご覧ください。インストールを行ってください。インストールしたくないアプリケーションがあるときは、再セットアップした後で削除してください。



本機で動作するアプリケーションについて知りたい

インターネットのホームページ「98Information」の「98AP情報」でアプリケーションの情報を提供しています。次のアドレスにアクセスしてください。

<http://www.nec.co.jp/98/>



別売のアプリケーションについて知りたい

各アプリケーションの製造元にご確認ください。



Internet Explorer3.02を使いたい

Internet Explorer3.02は利用できません。



Windows 95から削除された主な機能を知りたい

削除された主な機能は、次の通りです。

- Microsoft Fax
- Microsoft Exchange
- Internet Mail and News



本機にインストールされているDirect Xのバージョンを知りたい

Direct X6.1です。

タイマ機能を使おうとしたら…



Timer-NXで電源が入らない、Timer-NXを設定しても自動的に電源が入らない

電源ケーブルの接続を確認します

電源ケーブルをACコンセントに接続します。

パスワードが設定されているか確認します

ネットワークの設定やBIOSセットアップメニューなどで、パスワードを設定すると、起動時にパスワードを入力しないと、Windows 98が起動しなくなります。この場合はBIOSセットアップメニューの「起動時のパスワード」を「使用しない」にしてください。

ACPIモードになっていませんか？

ACPIモードになっていると、Timer-NXで電源を入れることができません。APMモードに切り替えてください。

参照

モードの確認、モード切り替え→『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「電源」



Timer-NXで電源を切ったり、スタンバイ状態にできない

終了時に操作の必要なアプリケーションが起動していませんか？

データの保存など、終了時に何か操作をしないと終了できないアプリケーションが起動していると、Timer-NXで自動的に電源を切ることはできません。

Timer-NXの設定を確認します

Timer-NXで「オン」を設定した時間にすでにパソコンの電源が入っているときは、その後「オフ」を設定した時間がきても電源は切れません。

参照

「PART1 アプリケーションの概要と削除 / 追加」の「Timer-NX」(P.44)

日付の設定を変えようとしたら…

日付や時刻が合っていないと、保存したファイルの時間がずれたり、インターネットで送信したメールの日付がおかしくなったりします。



日付と時刻を合わせたい

「コントロールパネル」の「日付と時刻」で設定してください。



本機内蔵のカレンダー時計は、電池(交換不要)により電源を供給されており、電源を切っても動いています。日付と時刻を設定してもなお日付や時刻がずれる場合は、ご購入元にご連絡ください。



コンピュータウイルス対策について

コンピュータを回線やネットワークにつないでデータのやりとりが多くなると心配なのがコンピュータウイルス(以降ウイルス)です。

ここでは、ウイルスとはどんなものか、またウイルスの予防法と検査するためのアプリケーションについて説明しています。



コンピュータウイルスとは…

コンピュータウイルスとはプログラムの一種です。ユーザ(使用者)が気が付かないうちにシステムに入り込み、異常なメッセージを表示するものや、プログラムやデータの一部を破壊するものなど、さまざまなものがあります。

用語 ウイルス

コンピュータウイルスが「ウイルス」と呼ばれるのは、外部から正常なシステムに入り込んだり、障害が発生するまで潜伏期間があったりするところが、本物のウイルスと類似しているからです。システムに入り込まれてしまうことを感染、プログラムに障害が発生することを発病といいます。

ウイルスは、その感染方法によって次の三種類に分けられます。

ファイル感染型ウイルス

一般に、実行型ファイル(拡張子がEXEやCOM)に感染するタイプのウイルスです。ファイル感染型ウイルスに感染したファイルを実行すると、他の実行型ファイルにウイルスプログラムの本体であるウイルスコードを付着させます。

マクロ感染型ウイルス

アプリケーションのマクロ機能を使って作られたウイルスのことです。マクロ機能は、ワープロ文書や表計算ソフトなどでいくつかの操作をまとめて、データを一括して処理する機能のことです。マクロ感染型ウイルスは、マクロ機能が実行されることで他のデータファイルに感染します。

ブートセクタ型ウイルス

コンピュータの起動時に最初に読み込まれるハードディスクやフロッピーディスクの領域をブートセクタ(IPL)といいます。ブートセクタ型ウイルスは、この領域に感染するタイプのウイルスです。本来のブートセクタの内容をウイルス自体と置き換えることにより、コンピュータ起動時にメモリの中に常駐して感染活動を行います。

コンピュータウイルスの感染を防ぐために

フロッピーディスク、スーパーディスクまたはネットワークを利用して、プログラムやデータのやりとりを繰り返していると、ウイルスに感染したプログラムやデータを受け取る可能性があります。ウイルスの感染を少しでも防止するために、次の方法を参考にしてください。

- ・ フロッピーディスクのマスター(オリジナル)は、ライトプロテクト(書き込み防止)をして保管する。
- ・ 出所が不明なフロッピーディスクやプログラムは使用しない。
- ・ 入手したプログラムはウイルス検査をすませてから使用する。
- ・ パーソナルコンピュータのウイルス検査は定期的に行う。

本機には「VirusScan」が用意されています

NCSA認定スキャナであるVirusScanは、「イン・ザ・ワイルド」ウイルスを検出することができます。認定状況については、NCSAのWebサイト(<http://www.ncsa.com>)をご覧ください。

VirusScanを定期的に利用して、ウイルスに感染していないかどうかチェックすることをおすすめします。



チェック!!

VirusScanは工場出荷時の状態ではインストールされていません。

お使いになる場合は「PART1 アプリケーションの概要と削除/追加」の「VirusScan」(P.24)を参照してVirusScanをインストールしてください。

コンピュータウイルスを発見したら

ウイルスの駆除には、該当ファイルを削除して、アプリケーションのオリジナル媒体またはバックアップから再インストールすることが一番安全で確実な方法です。なお、感染したウイルスがブートセクタ型の場合、またはブートセクタがウイルスに感染した可能性がある段階ではこの方法は使えません。

また、二次感染を防ぐため、ウイルスが発見された場合は、使用した媒体(フロッピーディスク、スーパーディスク、ハードディスク、MOディスクなど)をすべてウイルス検査する必要があります。

コンピュータウイルスの被害届について

日本では、企業でも個人でもウイルスを発見した場合は、所定の機関に届けることが義務付けられています。ウイルスの届け出先として、情報処理振興事業協会という通産省の外郭団体(通称IPA)がセキュリティーセンターウイルス対策室を設置しており、そこを届け出先として指定しています。これは、ウイルスの対策基準として平成7年7月に通産省から官報で告知されたもので(平成7年7月7日付通商産業省告示第429号)、届け出をしなくても罰則の規定はありませんが、今後の対策や被害状況を正しく把握するためにも積極的に報告してください。届け出の内容は、今後の被害対策のための貴重な情報となります。

届け出先：情報処理振興事業協会(IPA)

本部：〒113-6591 東京都文京区本駒込 2-28-8
文京グリーンコート センターオフィス16階
IPセキュリティーセンターウイルス対策室

電話 03-5978-7509 FAX 03-5978-7518

ホームページアドレス <http://www.ipa.go.jp/>

その他

これ以前のところで質問が見つからなかったときは、ここを見てください。



西暦2000年問題について知りたい

NECでは、インターネットのホームページ「98information」の「西暦2000年対応状況」や「98AP情報」で、2000年問題についての情報を提供しています。次のアドレスにアクセスしてください。

<http://www.nec.co.jp/98/>

なお、記載されている情報は更新されますので、定期的にアクセスして確認してください。

各アプリケーションが2000年問題に対応しているかどうかは、アプリケーションの製造元にお問い合わせください。



用語 西暦2000年問題

慣習的に西暦年号は2桁で表現され、同様にコンピュータの世界でも2桁の年号が多く使われてきました。

西暦2000年を迎えたときに、アプリケーションによっては、年号が00年になってしまい、日付をキーにする期間計算等の結果が不正となり、業務システム等に多大な影響を与えることが考えられます。

これがコンピュータの西暦2000年問題です。

本機に添付されているアプリケーションは西暦2000年問題に対応しています。



マニュアルをなくしてしまった

本機に添付されているNEC製のマニュアル『はじめにお読みください』、『安全にお使いいただくために』、『活用ガイド ハードウェア編』、『ハードウェア拡張ガイド』、『活用ガイド ソフトウェア編』は、購入することができます。なお、在庫状況によっては、ご期待に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

お買い求めの際は、NEC PCマニュアルセンターへお問い合わせください。

- ・ 販売方法：電話・FAXによる通信販売
いただいたFAXに対するご回答は、翌営業日以降となります。
- ・ お申し込み先：NEC PCマニュアルセンター

(電話) 03-5476-1900

(FAX) 03-5476-1967

営業時間：月～金曜日

AM10:00～12:00 PM1:00～4:00

(土日祝日年末年始を除く / FAXは24時間受付)

取り扱い品目などの詳細はホームページ上でご案内しております。

ホームページアドレス：<http://www.pcmanual.nedox.co.jp/nedox/>

なお、再セットアップに必要なプロダクトキーが印刷されているマニュアル(『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』など)は再入手できませんので、紛失しないように十分ご注意ください。

マニュアルの書名やパソコンの型名、プロダクト キーなどは、紛失に備えて控えておくことをおすすめします。



次のホームページ(PICROBO)では、NEC製のマニュアルを電子マニュアル化し、ダウンロードできるサービスを行っています。

<http://download.pc98.nec.co.jp/m/NX/index.htm>



本機を海外で使いたい

海外では使えません。



テレビやラジオに雑音が入る

テレビ、ラジオや他の電子機器は、本機から遠ざけてください。また、本機は、それらの機器とは別のACコンセントにつないでください。



本機を廃棄したい

本機の所有者が事業者の場合には、本機を廃棄するときにマニフェスト（廃棄物管理票）の発行が義務づけられています。廃棄方法およびマニフェストに関しましては、各都道府県産業廃棄物協会へお問い合わせください。

なお、本機の所有者が個人の場合には、マニフェストの発行義務はありません。廃棄方法に関しては、市町村等の各自治体にお問い合わせください。



トラブルを予防するには…

●電源は、正しい順序で入れる／切る

『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「電源」をご覧ください。

●大切なデータはバックアップをとっておく

パソコンを使っていると、うっかりファイルを消してしまったり、ドライブが故障してしまったりと、大切なデータをなくしてしまうことがあります。そんなときにもフロッピーディスクやMOディスクにデータをコピーして予備のデータをとっておくと安心です。

また、本機に添付されている「バックアップCD-ROM」を使用して再セットアップする場合には、ご自分でハードディスク内に作成されたデータやインストールされたアプリケーションソフトは、すべて消去されます。必ず再セットアップする前に、これらのデータをバックアップしてください。

バックアップをとる方法は、「Masty Data Backup」(P.36)またはWindowsのヘルプをご覧ください。

●メンテナンスウィザードを使って定期的にメンテナンスを行う

メンテナンスウィザードを使って、ハードディスクの軽い障害を修復するスキャンディスク、プログラムをより速く実行するデフラグ、ハードディスクの空き容量をより多くするディスククリーンアップなどのシステムツールを定期的に実行させるようにできます。

設定されたシステムツールは、「マイコンピュータ」の「タスク」フォルダに登録されます。ここで、登録された日時や曜日は後で変更することができます。

メンテナンスウィザードは、次の方法で起動することができます。

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」の「メンテナンスウィザード」をクリック

●改造をしない

本機用のマニュアルに記載されている方法以外で、本機の改造や修理をしないでください。マニュアルに記載されている方法以外で改造や修理をした製品については、当社のサービスの対象外となることがあります。

● あらかじめ起動ディスクを作っておく

Windows 98の調子が何かおかしくなったり、ちょっと設定を変更したらWindows 98そのものが起動しなくなってしまうことがあります。

こんなときに、起動ディスク(Windows 98を起動するフロッピーディスク)を使って本機を起動して、本機を検査したり、設定を変更したりすると解決に役立つことがあります。

起動ディスクは、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」の「起動ディスク」タブの「ディスクの作成」ボタンで作成できます。

アフターケアについて



保守サービスについて

お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、ご購入元、Bit-INN、NECのサービスセンター、サービスステーションで承っております。お問い合わせ窓口やお問い合わせの方法など、詳しくは『メンテナンス&サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』または本書をご覧ください。



消耗品と消耗部品について

本機の添付品のうち、消耗品と消耗部品は次の通りです。

種類	概要	本機の場合
消耗品	使用頻度あるいは経過年数により消耗し、一般的には再生が不可能なもので、お客様ご自身で購入し、交換していただくものです。保証期間内であっても、有料です。	フロッピーディスク CD-ROM
消耗部品 (有償交換部品)	使用頻度あるいは経過年数により消耗、摩耗または劣化し、修理再生が不可能な部分です。NECサービスステーションなどで交換し、お客さまに部品代を請求するものです。保証期間内であっても有料の場合があります。	CRTディスプレイ (ブラウン管) 液晶ディスプレイ ※いずれもディスプレイがセットになっているモデルのみ。

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後7年です。



添付品の修復、再入手方法について

本機の添付品のうち、次のものについては、修復または再入手が可能です(有料)。

フロッピーディスクの修復、CD-ROMの再入手についてのお問い合わせ先は、添付の『メンテナンス&サポートのご案内』『NEC PC あんしん サポートガイド』をご覧ください。

- ・ フロッピーディスク
- ・ CD-ROM



本製品の譲渡について

本製品を第三者に譲渡される場合は、所定の条件に従ってください。
また、譲渡を受けられた場合には、所定の手続きに従って、「正規登録ユーザ(98OFFICIAL PASSメンバー)」へのご登録を行ってください。
パソコン内のデータには個人的に作成した情報が多く含まれています。
第三者に情報が漏れないように譲渡の際には、これらの情報を削除することをおすすめします。

譲渡されるお客様へ

本製品を第三者に譲渡(売却)される場合は、以下の条件を満たす必要があります。

- ① 本体に添付されているすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと
- ② 各ソフトウェアに添付されている『ソフトウェアのご使用条件』の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
- ③ 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除した後、譲渡すること(本体に添付されている『ソフトウェア使用条件適用一覧』をご覧ください)

※第三者に譲渡(売却)される製品をご登録されている場合は、98OFFICIAL PASS登録センター(TEL:042-333-5516)までご連絡のうえ、必ず登録削除の手続きをお願いいたします。

譲渡を受けられるお客様へ

「正規登録ユーザ(98OFFICIAL PASSメンバー)」へのご登録に必要な以下の事項を記入し、お手数ですが官製ハガキまたは封書でお送りください。ただし、『98OFFICIAL PASSお客様登録申込書』が未使用で残っている場合は、その申込書をご返送ください。

記載内容

- ① 本体型名および保証書番号
(本機背面に記載の型名および製造番号)
または
(本機底部に記載の型名および製造番号)
- ② 以前に使用されていた方の氏名、住所、電話番号もしくは中古購入されたお店の名称、住所、電話番号
- ③ あなたの氏名、住所、電話番号

返送先

〒108-8001 東京都港区芝五丁目7-1(NEC本社ビル)

NEC

98OFFICIAL PASS登録センター係行



活用ガイド ソフトウェア編

PC98-**NX** シリーズ

Mate NX Mate NX[®]

(Windows 98 インストールモデル)

第二版 1999年7月

NEC

P



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙（古紙率：表紙50%、本文100%）を使用しています。